

平成 27 年度 医学部

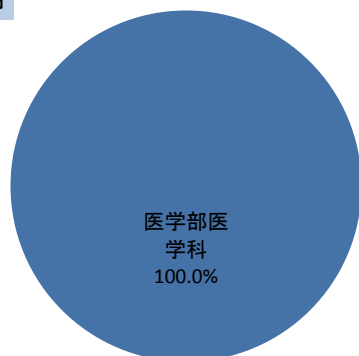
学生生活・学修実態調査結果報告書



藤田保健衛生大学 I R 委員会 医学部 IR 部門

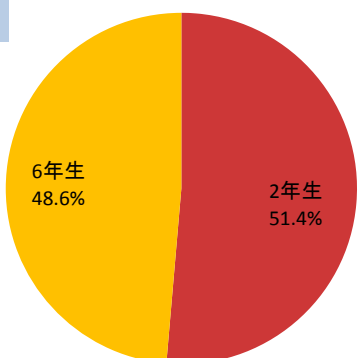
F1～4. 【基本属性】

所属



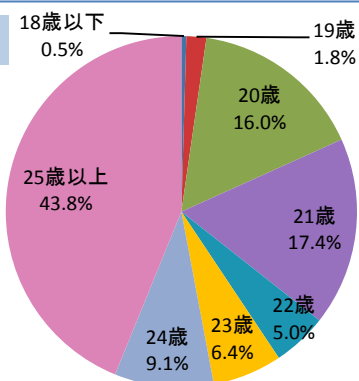
F1：所属	件数	割合
医学部医学科	220	100.0%
臨床検査学科	0	0.0%
看護学科	0	0.0%
放射線学科	0	0.0%
理学療法専攻	0	0.0%
作業療法専攻	0	0.0%
臨床工学科	0	0.0%
医療経営情報学科	0	0.0%
看護専門学校	0	0.0%
合計	220	100.0%

学年



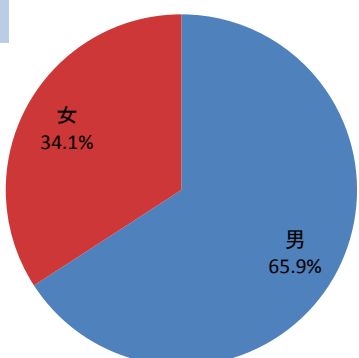
F2：学年	件数	割合
1年生	0	0.0%
2年生	113	51.4%
3年生	0	0.0%
4年生	0	0.0%
5年生	0	0.0%
6年生	107	48.6%
合計	220	100.0%

年齢



F3：年齢	件数	割合
18歳以下	1	0.5%
19歳	4	1.8%
20歳	35	16.0%
21歳	38	17.4%
22歳	11	5.0%
23歳	14	6.4%
24歳	20	9.1%
25歳以上	96	43.8%
合計	219	100.0%

性別

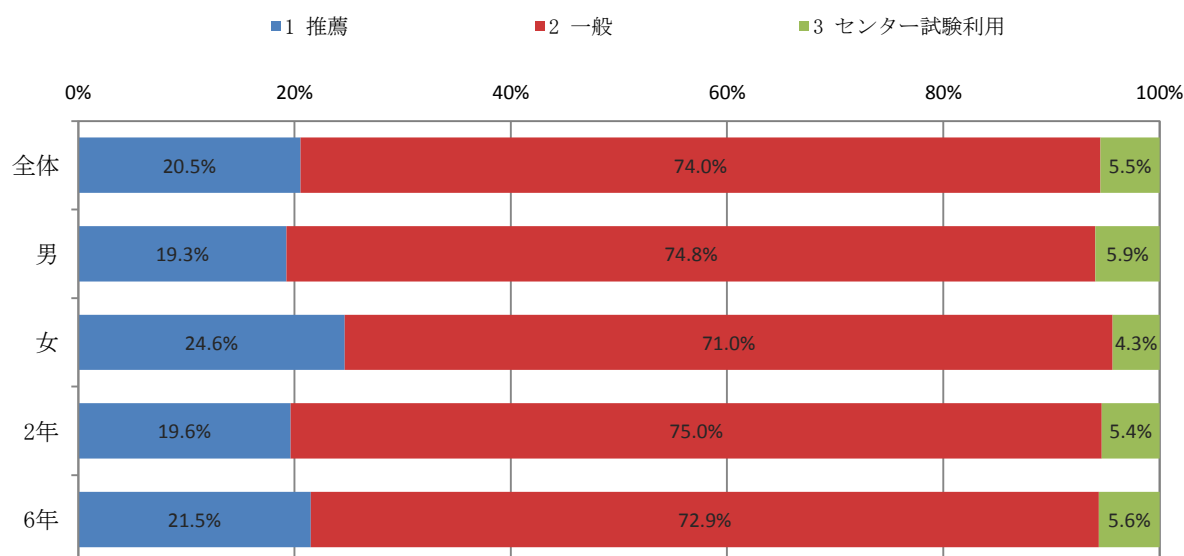


F4：性別	件数	割合
男	135	65.9%
女	70	34.1%
合計	205	100.0%

1. 入試区分

全体の3/4が一般入試による入学者。

全体の74.0%が一般入試、20.5%が推薦入試、5.5%がセンター試験利用入試の入学者です。
性別、学年で大きな傾向の違いは認められませんでした。



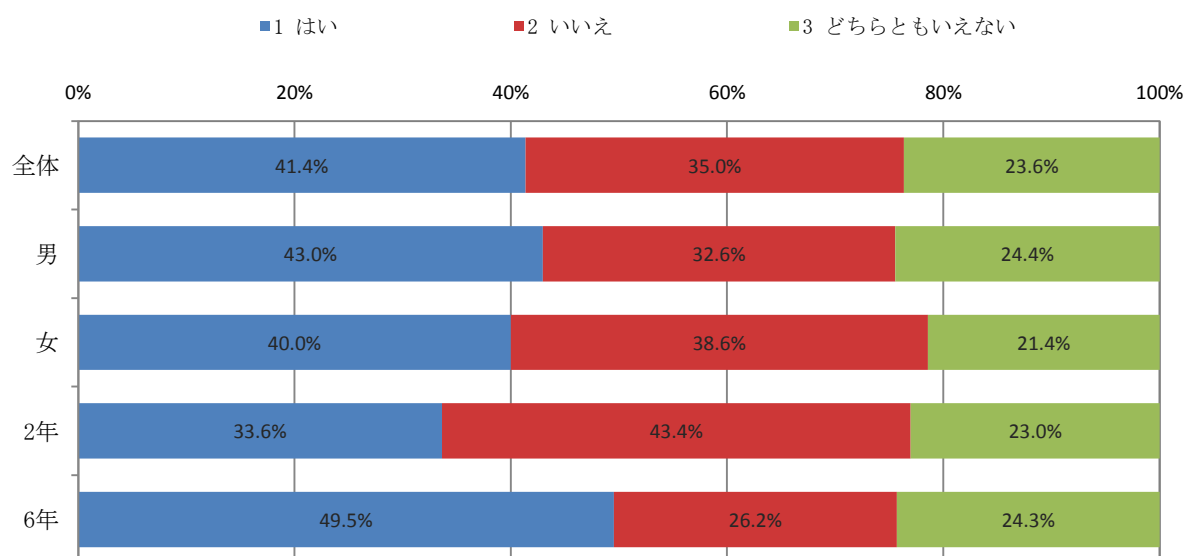
		有効回答者数	大学（又は看護専門学校）の入学方法は		
			推薦	一般	センター試験利用
※「センター試験利用」は大学のみ回答					
全体		219	45	162	12
			20. 5%	74. 0%	5. 5%
性別	男	135	26	101	8
			19. 3%	74. 8%	5. 9%
	女	69	17	49	3
			24. 6%	71. 0%	4. 3%
学年別	2年	112	22	84	6
			19. 6%	75. 0%	5. 4%
	6年	107	23	78	6
			21. 5%	72. 9%	5. 6%

※「センター試験利用」は大学のみ回答

2. 入学時希望順位

高学年では希望の大学に入学できたと答える学生が増加。

希望の大学に入学できたと答える学生が2年生（33.6%）に比べ、6年生（49.5%）のほうが高い結果でした。入試制度の変化などの影響が現れた結果かもしれませんし、高学年では国家試験をひかえ、医師になるという目標が現実になるためかもしれません。

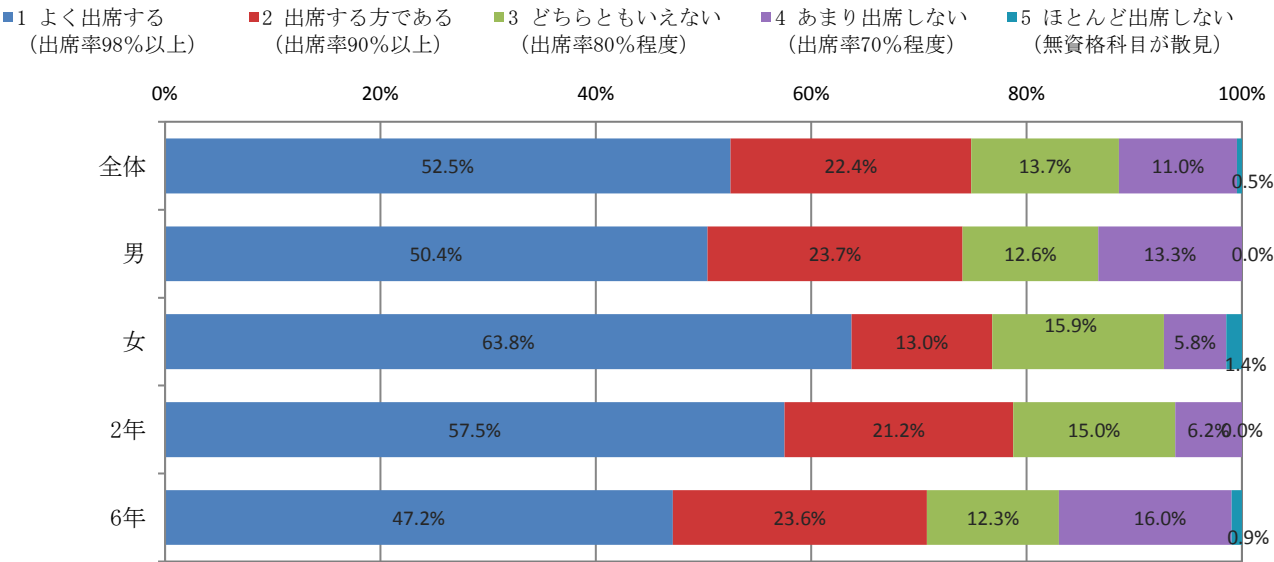


		有効回答者数	希望の大学（又は看護専門学校）へ入学できましたか		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		220	91	77	52
			41.4%	35.0%	23.6%
性別	男	135	58	44	33
			43.0%	32.6%	24.4%
	女	70	28	27	15
			40.0%	38.6%	21.4%
学年別	2年	113	38	49	26
			33.6%	43.4%	23.0%
	6年	107	53	28	26
			49.5%	26.2%	24.3%

3. 授業出席率

講義への出席率が高い。

2年生は出席する方であると答えた学生の比率は78.7%程度と高い値でした。6年生の出席が2年生より低いのは、自主学習を重視し、必ずしも出席を義務付けないカリキュラムのためと推測されました。



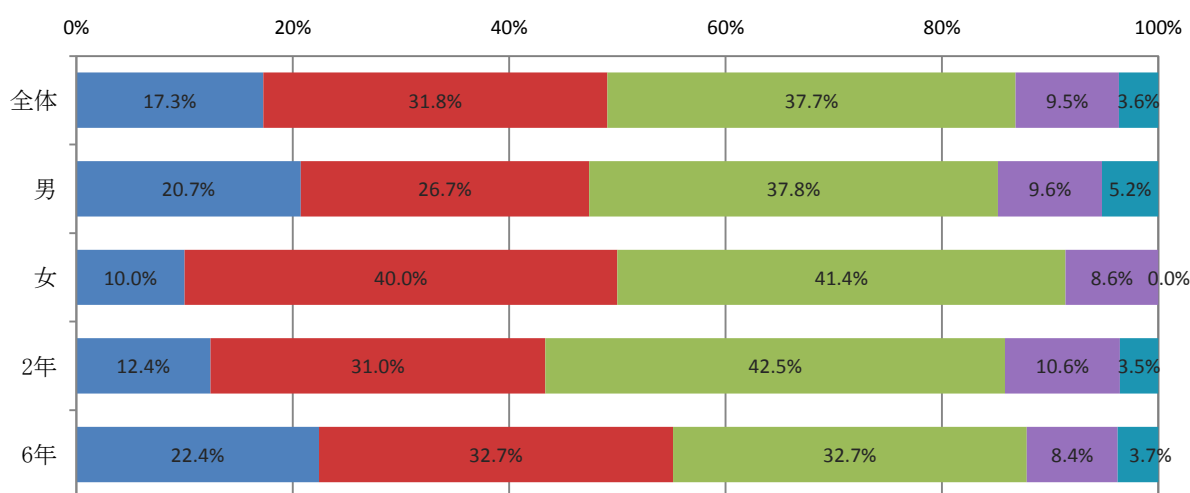
		有効回答者数	授業の出席状況について				
			よく出席する (出席率98%以上)	出席する方である (出席率90%以上)	どちらともいえない (出席率80%程度)	あまり出席しない (出席率70%程度)	ほとんど出席しない (無資格科目が散見)
全体		219	115 52.5%	49 22.4%	30 13.7%	24 11.0%	1 0.5%
性別	男	135	68 50.4%	32 23.7%	17 12.6%	18 13.3%	0 0.0%
	女	69	44 63.8%	9 13.0%	11 15.9%	4 5.8%	1 1.4%
学年別	2年	113	65 57.5%	24 21.2%	17 15.0%	7 6.2%	0 0.0%
	6年	106	50 47.2%	25 23.6%	13 12.3%	17 16.0%	1 0.9%

4. 学生生活充実度…学習面

学習面で充実していると答えた学生は多い。

2年生、6年生とも学習面で学生生活が充実している～普通と答えた学生は約87%に達します。2年生に比べ、6年生では充実していると答える学生の比率が高いという結果でした。やはり国家試験という目標を明確に意識して学習に臨んでいることが大きいと考えられます。

■ 1 大変充実している ■ 2 充実している ■ 3 普通 ■ 4 あまり充実していない ■ 5 全く充実していない



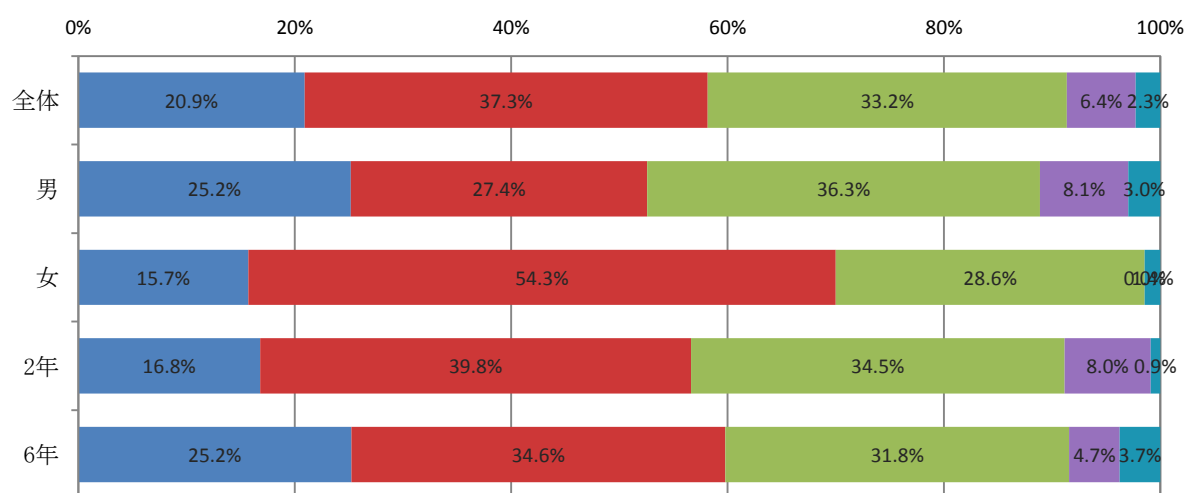
		有効回答者数	学生生活の充実度について…学習面では				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	38 17.3%	70 31.8%	83 37.7%	21 9.5%	8 3.6%
性別	男	135	28 20.7%	36 26.7%	51 37.8%	13 9.6%	7 5.2%
	女	70	7 10.0%	28 40.0%	29 41.4%	6 8.6%	0 0.0%
学年別	2年	113	14 12.4%	35 31.0%	48 42.5%	12 10.6%	4 3.5%
	6年	107	24 22.4%	35 32.7%	35 32.7%	9 8.4%	4 3.7%

5. 学生生活充実度…クラブ等

クラブ活動等へも積極的に参加。

学生生活（クラブ等）が充実している～普通と答えた学生は全体で91.3%と高く、この傾向は特に女子学生で顕著でした。

■ 1 大変充実している ■ 2 充実している ■ 3 普通 ■ 4 あまり充実していない ■ 5 全く充実していない

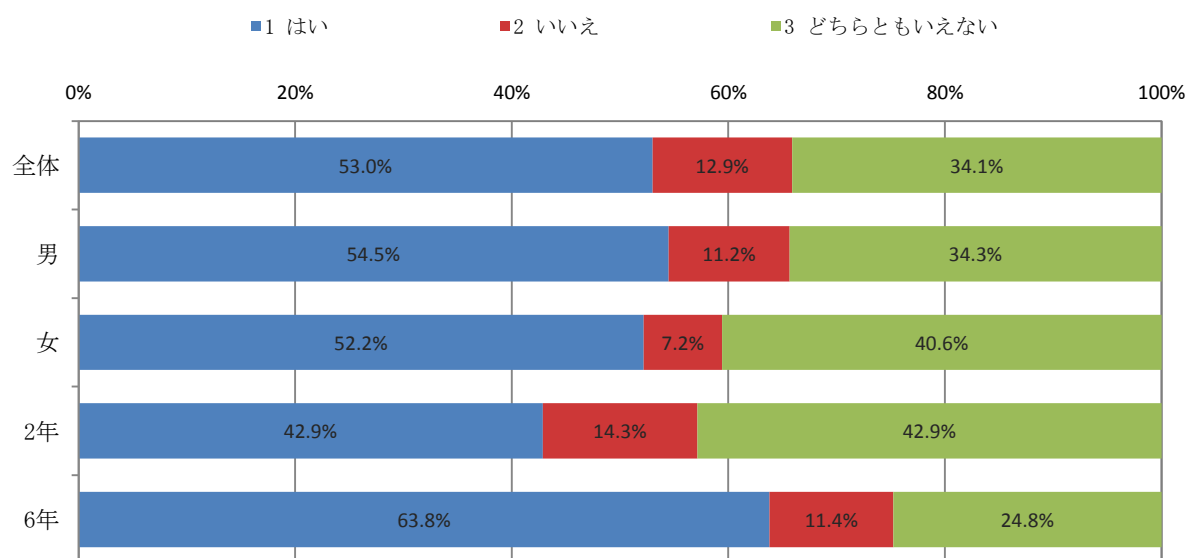


		有効回答者数	学生生活の充実度について…クラブ・学外活動など				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	46	82	73	14	5
			20.9%	37.3%	33.2%	6.4%	2.3%
性別	男	135	34	37	49	11	4
			25.2%	27.4%	36.3%	8.1%	3.0%
	女	70	11	38	20	0	1
			15.7%	54.3%	28.6%	0.0%	1.4%
学年別	2年	113	19	45	39	9	1
			16.8%	39.8%	34.5%	8.0%	0.9%
	6年	107	27	37	34	5	4
			25.2%	34.6%	31.8%	4.7%	3.7%

6. 学生生活充実度…総合

忙しくても学生生活は充実。

全体では53.0%の学生が学生生活が総合的に充実していると回答し、していないと答えた学生（12.9%）を上回っていました。この割合は6年生で63.8%と最も高く、2年生で42.9%と最も低い結果でした。男女で「充実している」の割合に大差はありませんでしたが、「いいえ」と回答した割合男性の方が女性よりも高い結果でした。

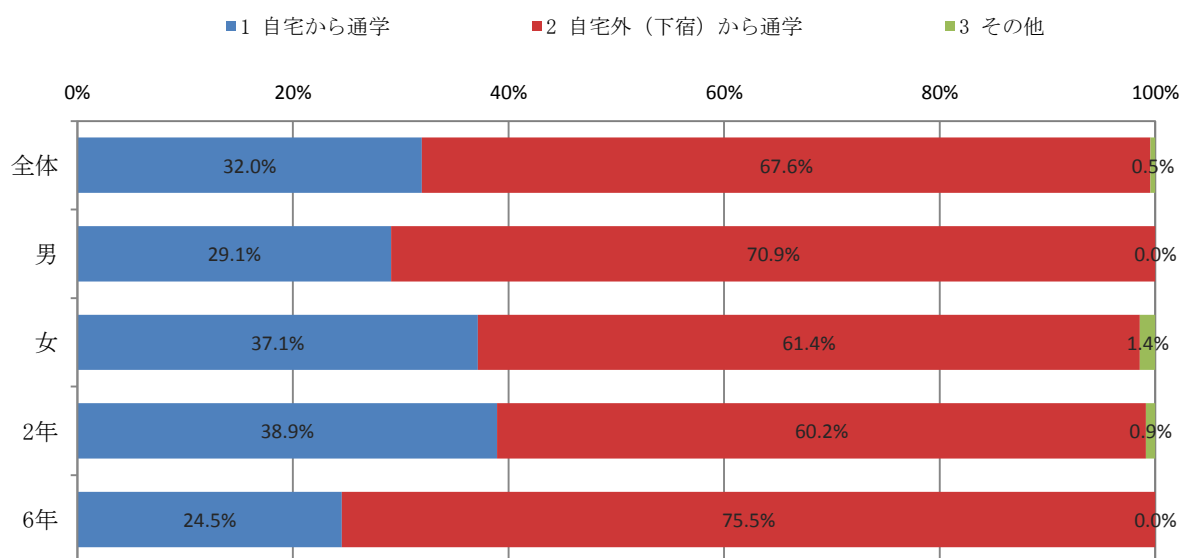


		有効回答者数	総合的にみて学生生活に満足していますか		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		217	115 53.0%	28 12.9%	74 34.1%
性別	男	134	73 54.5%	15 11.2%	46 34.3%
	女	69	36 52.2%	5 7.2%	28 40.6%
学年別	2年	112	48 42.9%	16 14.3%	48 42.9%
	6年	105	67 63.8%	12 11.4%	26 24.8%

7. 通学形態

自宅生と下宿生の比率は1：2。

全体では自宅生が32.0%、下宿生が67.6%である。2年生に比べ、6年生では自宅生の比率が低下し、下宿生の比率が増えています。高学年では学習や実習の時間を確保するため、自宅から大学に通いやすい下宿に移動したのではないかと思います。

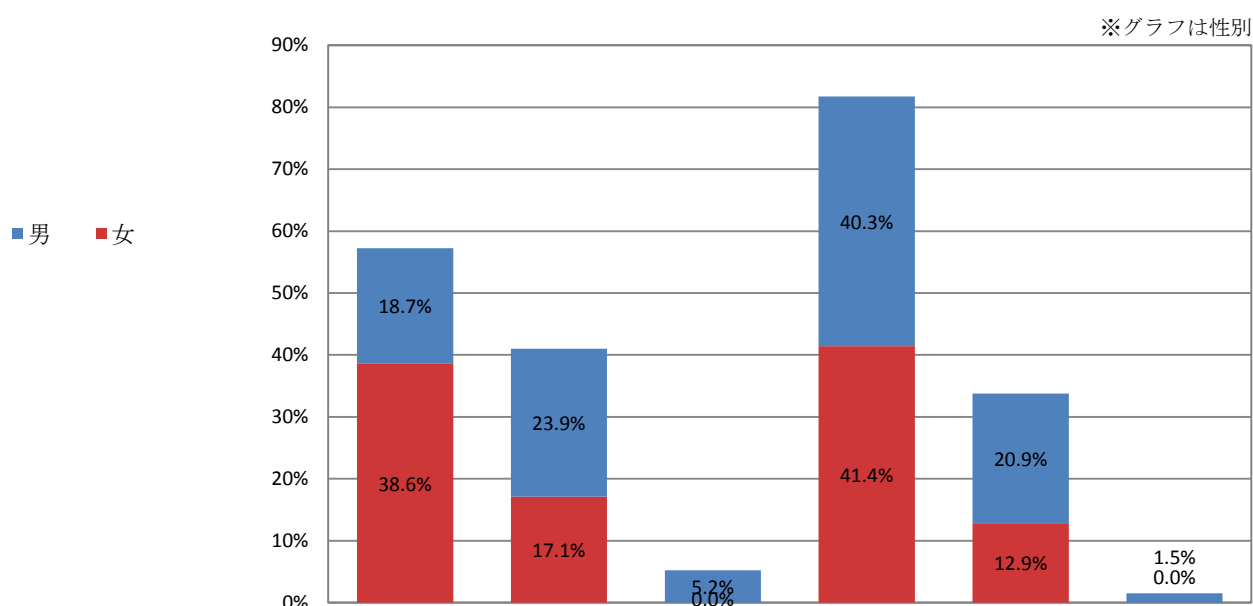


		有効回答者数	通学の住居について		
			自宅から通学	自宅外（下宿）から通学	その他
全体		219	70 32.0%	148 67.6%	1 0.5%
性別	男	134	39 29.1%	95 70.9%	0 0.0%
	女	70	26 37.1%	43 61.4%	1 1.4%
学年別	2年	113	44 38.9%	68 60.2%	1 0.9%
	6年	106	26 24.5%	80 75.5%	0 0.0%

8. 通学手段（複数回答） - 性別 -

約4割の学生が通学手段として自動車を使用。

自動車を通学手段として使う学生は全体の42.0%、公共交通機関23.7%、自転車22.4%、徒歩17.4%となっています。男女別では自動車では同程度、女性では公共交通機関を使っている比率がやや高い。結果でした。

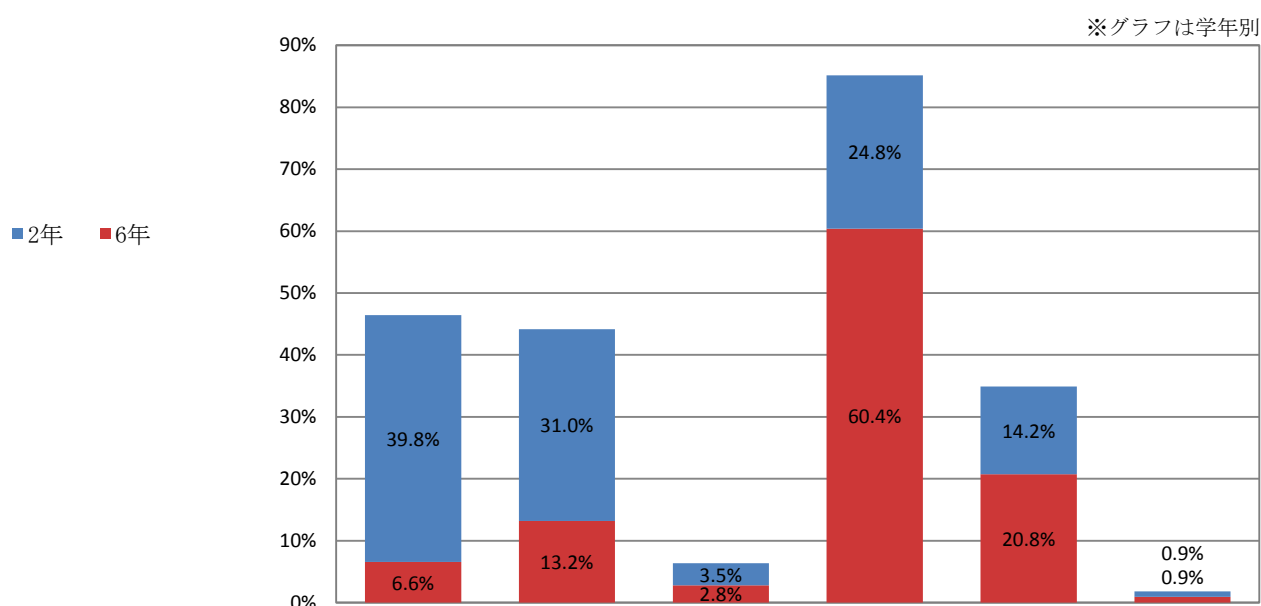


		有効回答者数	通学手段は何ですか					
			公共交通機関 （バス・電車等）	自転車	単車 （バイク）	自動車	徒歩	その他
全体		219	52	49	7	92	38	2
			23.7%	22.4%	3.2%	42.0%	17.4%	0.9%
性別	男	134	25	32	7	54	28	2
			18.7%	23.9%	5.2%	40.3%	20.9%	1.5%
	女	70	27	12	0	29	9	0
			38.6%	17.1%	0.0%	41.4%	12.9%	0.0%
学年別	2年	113	45	35	4	28	16	1
			39.8%	31.0%	3.5%	24.8%	14.2%	0.9%
	6年	106	7	14	3	64	22	1
			6.6%	13.2%	2.8%	60.4%	20.8%	0.9%

8. 通学手段（複数回答） - 学年別 -

高学年では自動車を使用する学生が増加、一方で徒歩で通学する人も微増。

6年生では自動車を通学手段として使う学生が60.4%、2年生では24.8%と、高学年では通学手段が公共交通機関や自転車から自動車に移行していることがうかがえます。一方で徒歩の比率がやや増加しており、大学に近い場所に下宿したことを反映した結果と考えられました。

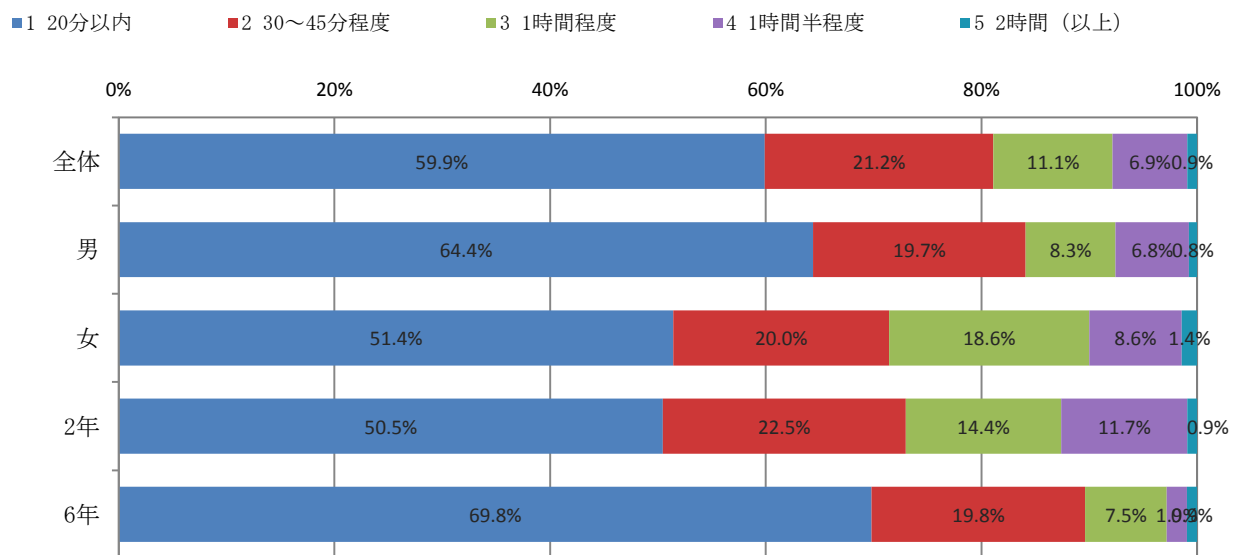


		有効回答者数	通学手段は何ですか					
			公共交通機関 （バス・電車等）	自転車	単車 （バイク）	自動車	徒歩	その他
全体		219	52 23.7%	49 22.4%	7 3.2%	92 42.0%	38 17.4%	2 0.9%
性別	男	134	25 18.7%	32 23.9%	7 5.2%	54 40.3%	28 20.9%	2 1.5%
	女	70	27 38.6%	12 17.1%	0 0.0%	29 41.4%	9 12.9%	0 0.0%
学年別	2年	113	45 39.8%	35 31.0%	4 3.5%	28 24.8%	16 14.2%	1 0.9%
	6年	106	7 6.6%	14 13.2%	3 2.8%	64 60.4%	22 20.8%	1 0.9%

9. 通学時間

通学時間は1時間程度までの学生がほとんど。

全体では通学時間が1時間程度までの学生が92.2%と大多数を占める。おそらく多くの学生が、学習や課外活動、アルバイト等を含めて充実した生活を送るためには、通学時間は1時間程度までがよいと考えていることを反映した結果かもしれません。6年生では「通学時間20分以内の学生の比率が69.8%と、2年生（50.5%）に比べて増えています。やはり高学年では学習や実習の時間を確保するため、通学手段を変えたり、下宿するなどしていると思われます。

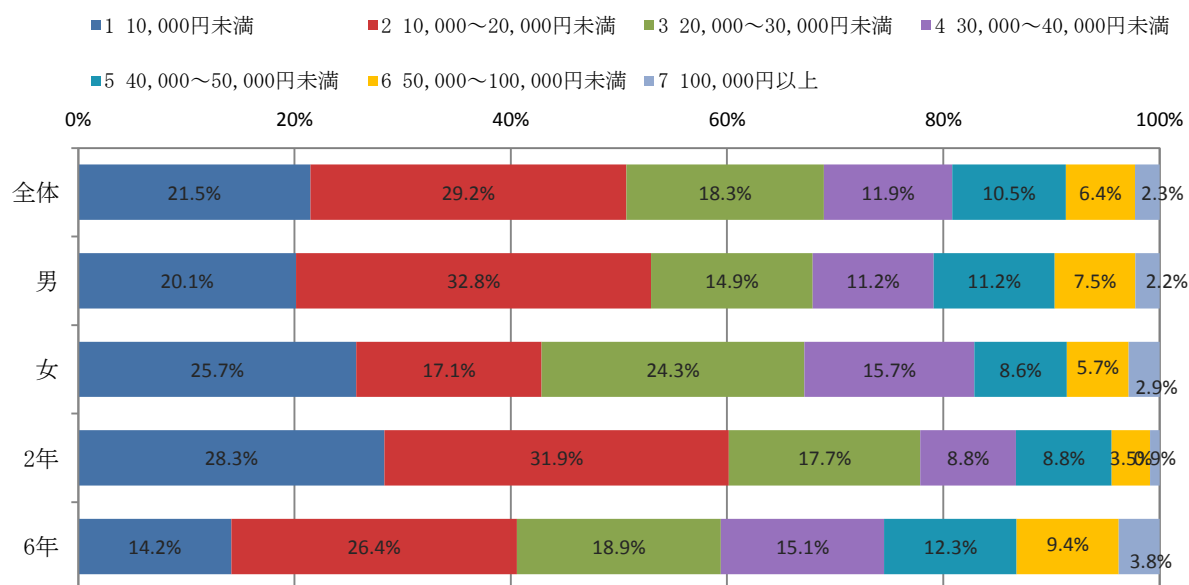


		有効回答者数	通学の所要時間（片道）について				
			2 0 分 以 内	3 0 ～ 4 5 分 程 度	1 時 間 程 度	1 時 間 半 程 度	2 時 間 （ 以 上 ）
全体		217	130	46	24	15	2
			59.9%	21.2%	11.1%	6.9%	0.9%
性別	男	132	85	26	11	9	1
			64.4%	19.7%	8.3%	6.8%	0.8%
	女	70	36	14	13	6	1
			51.4%	20.0%	18.6%	8.6%	1.4%
学年別	2年	111	56	25	16	13	1
			50.5%	22.5%	14.4%	11.7%	0.9%
	6年	106	74	21	8	2	1
			69.8%	19.8%	7.5%	1.9%	0.9%

10. お小遣い

学年の上昇とともに増えるお小遣いの額

お小遣いの額は学生により様々であることが分かりますが、特徴的な点は、2年と6年では、回答数をどの額未満の区切りで行っても明確な差がみられ、6年の方が額が大きくなっています。これより、学年の上昇とともに必要となる、または手に入るお小遣いの額が増える傾向にあることが予想されますが、その理由なども含めて、今後の調査が必要と思われます。なお、男女別の違いについては特にみられません。

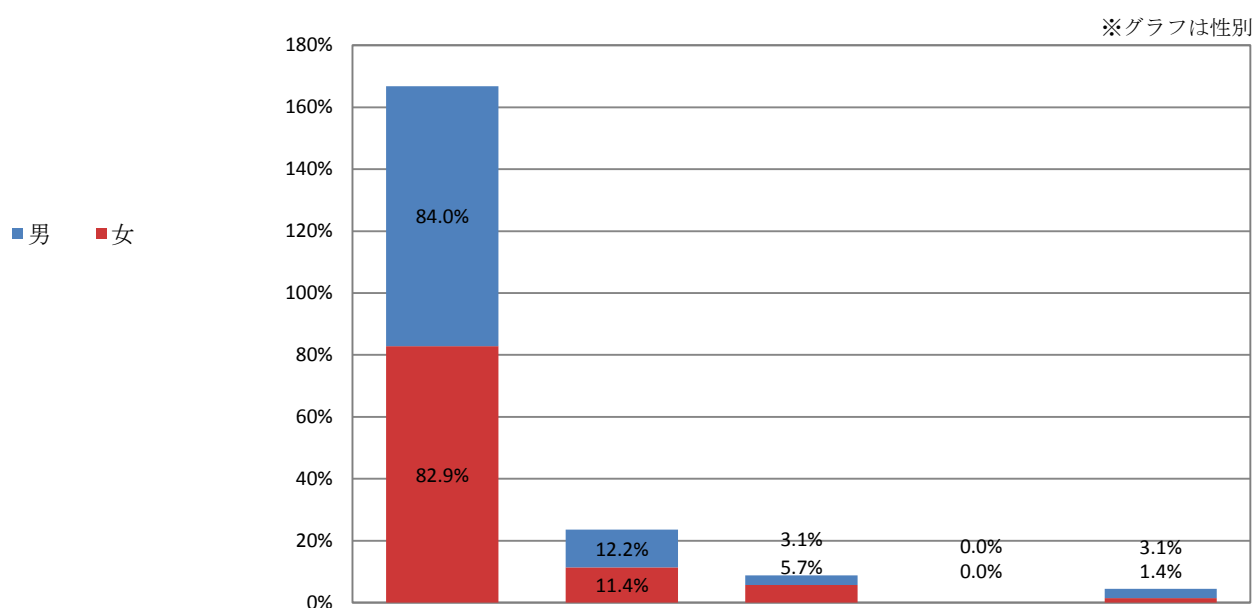


		有効 回答 者数	1 か月の趣味や娯楽費等に掛ける費用はいくらですか						
			1 0 、 0 0 円 未 満	2 1 0 0 、 0 0 0 円 〃 未 満	3 2 0 0 、 0 0 0 円 〃 未 満	4 3 0 0 、 0 0 0 円 〃 未 満	5 4 0 0 、 0 0 0 円 〃 未 満	1 5 0 0 、 0 0 0 円 〃 未 満	1 0 、 0 0 円 以 上
全体		219	47	64	40	26	23	14	5
			21.5%	29.2%	18.3%	11.9%	10.5%	6.4%	2.3%
性別	男	134	27	44	20	15	15	10	3
			20.1%	32.8%	14.9%	11.2%	11.2%	7.5%	2.2%
	女	70	18	12	17	11	6	4	2
			25.7%	17.1%	24.3%	15.7%	8.6%	5.7%	2.9%
学年別	2年	113	32	36	20	10	10	4	1
			28.3%	31.9%	17.7%	8.8%	8.8%	3.5%	0.9%
	6年	106	15	28	20	16	13	10	4
			14.2%	26.4%	18.9%	15.1%	12.3%	9.4%	3.8%

11. 奨学金（複数回答） - 性別 -

8割強が奨学金を受けず、奨学金の授与率に男女差みられず

全体で8割強の学生が奨学金を受けていないことや、民間育英団体等の奨学金を受けている者は一人もいないことが分かります。なお、奨学金の授与率や、各奨学金の授与率に、男女の別で明らかな差は認められず、適切な配分がなされているものと推測できそうです。



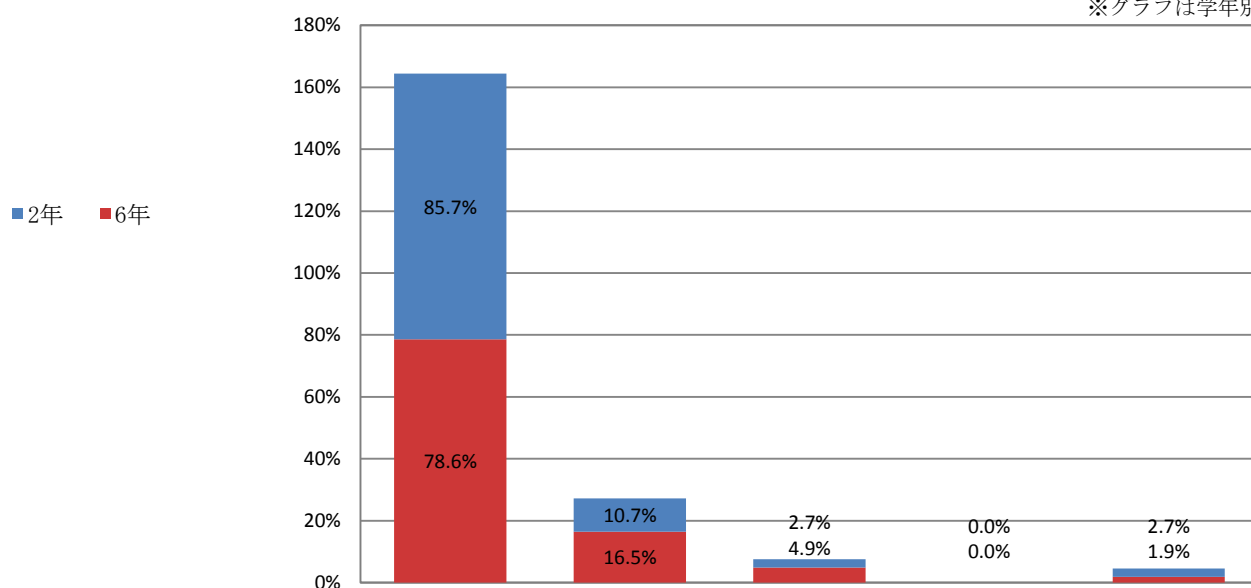
		有効回答者数	奨学金を受けていますか				
			受けていない	日本学生支援機構の奨学金を受けている	地方公共団体の奨学金を受けている	民間育英団体等の奨学金を受けている	その他
全体		215	177	29	8	0	5
			82.3%	13.5%	3.7%	0.0%	2.3%
性別	男	131	110	16	4	0	4
			84.0%	12.2%	3.1%	0.0%	3.1%
	女	70	58	8	4	0	1
			82.9%	11.4%	5.7%	0.0%	1.4%
学年別	2年	112	96	12	3	0	3
			85.7%	10.7%	2.7%	0.0%	2.7%
	6年	103	81	17	5	0	2
			78.6%	16.5%	4.9%	0.0%	1.9%

11. 奨学金（複数回答） - 学年別 -

奨学金の授与率に学年別の差みられず

各奨学金の授与率、全体としての授与率に、学年による明確な差はいずれもみられず、適切な配分がなされているものと推測できそうです。ただし、これらの奨学金の授与率が他大学と同水準なのかどうか、奨学金を受けていない学生は修学のための資金が足りているのかどうか等の調査が今後必要と思われます。

※グラフは学年別

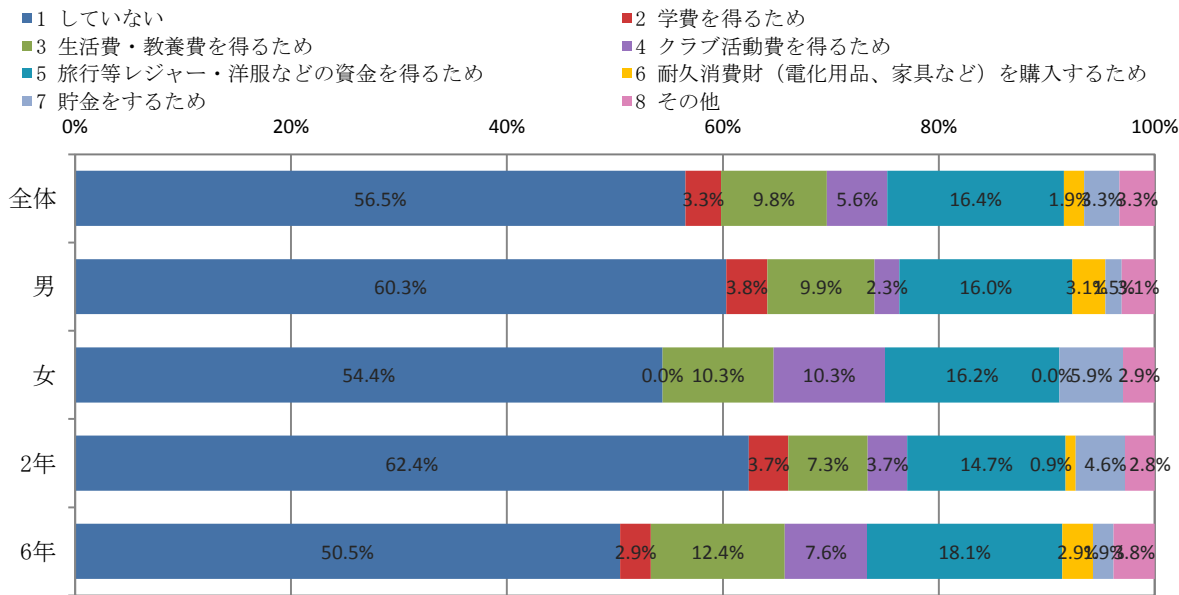


		有効回答者数	奨学金を受けていますか				
			受けていない	日本学生支援機構の奨学金を受けている	地方公共団体の奨学金を受けている	民間英団体等の奨学金を受けている	その他
全体		215	177	29	8	0	5
			82.3%	13.5%	3.7%	0.0%	2.3%
性別	男	131	110	16	4	0	4
			84.0%	12.2%	3.1%	0.0%	3.1%
	女	70	58	8	4	0	1
			82.9%	11.4%	5.7%	0.0%	1.4%
学年別	2年	112	96	12	3	0	3
			85.7%	10.7%	2.7%	0.0%	2.7%
	6年	103	81	17	5	0	2
			78.6%	16.5%	4.9%	0.0%	1.9%

12. アルバイト有無と目的

半数以上がアルバイトせず、学年の上昇とともにアルバイトしていない学生減少

全体では半数以上の学生がアルバイトをしていませんが、2年生に比べ6年生におけるアルバイトを「していない」学生の割合は、10%ポイント以上も低かった点は特筆すべき結果でした。学年の上昇とともに、貯金の目的が減少し、生活費や耐久消費財の購入費等の目的が増大するなど、アルバイトの必要に迫られることが示唆されますが、アルバイトをしている学生数が少ないため、明確な差かどうかの判断は困難でした。男女別では、男子でみられる学費や耐久消費財の購入の目的が女子ではなく、逆に貯金目的の割合が男子より女子で高いことから、女子学生の方がアルバイトの必要に迫られている程度は小さいと予想されます。

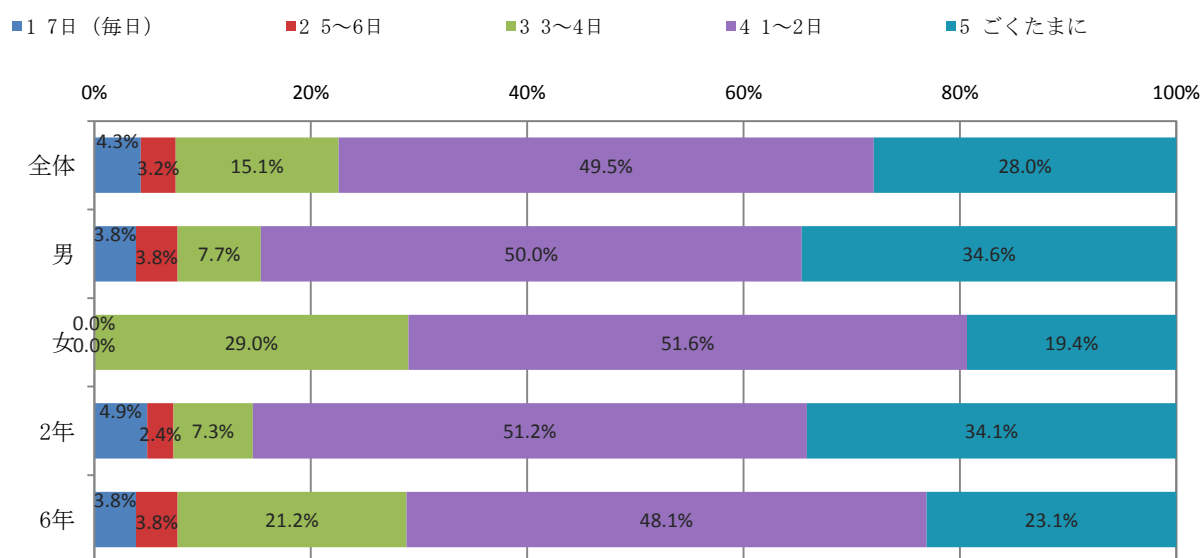


		有効回答者数	現在の学生生活におけるアルバイト経験の有無と目的について							
			していない	学費を得るため	生活費・教養費を得るため	クラブ活動費を得るため	旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため	耐久消費財（電化用品、家具など）を購入するため	貯金をするため	その他
全体		214	121	7	21	12	35	4	7	7
			56.5%	3.3%	9.8%	5.6%	16.4%	1.9%	3.3%	3.3%
性別	男	131	79	5	13	3	21	4	2	4
			60.3%	3.8%	9.9%	2.3%	16.0%	3.1%	1.5%	3.1%
	女	68	37	0	7	7	11	0	4	2
			54.4%	0.0%	10.3%	10.3%	16.2%	0.0%	5.9%	2.9%
学年別	2年	109	68	4	8	4	16	1	5	3
			62.4%	3.7%	7.3%	3.7%	14.7%	0.9%	4.6%	2.8%
	6年	105	53	3	13	8	19	3	2	4
			50.5%	2.9%	12.4%	7.6%	18.1%	2.9%	1.9%	3.8%

13. アルバイト日数

週1～2日が約半数、週5以上の回答は男子のみ

アルバイト日数で最も多いのは「1～2日」で、全体の約半数を占めています。2年に比べて6年の方が日数が多い傾向がありますが、明確な差とまでは言えません。男女の比較では、「毎日」「5～6日」の回答は男子にだけみられ、前問の結果も考慮すると、アルバイトの必要に強く迫られている可能性のある学生が一部にみられ、それは男子のみであるということが示唆されます。今後詳細な調査が必要と思われます。



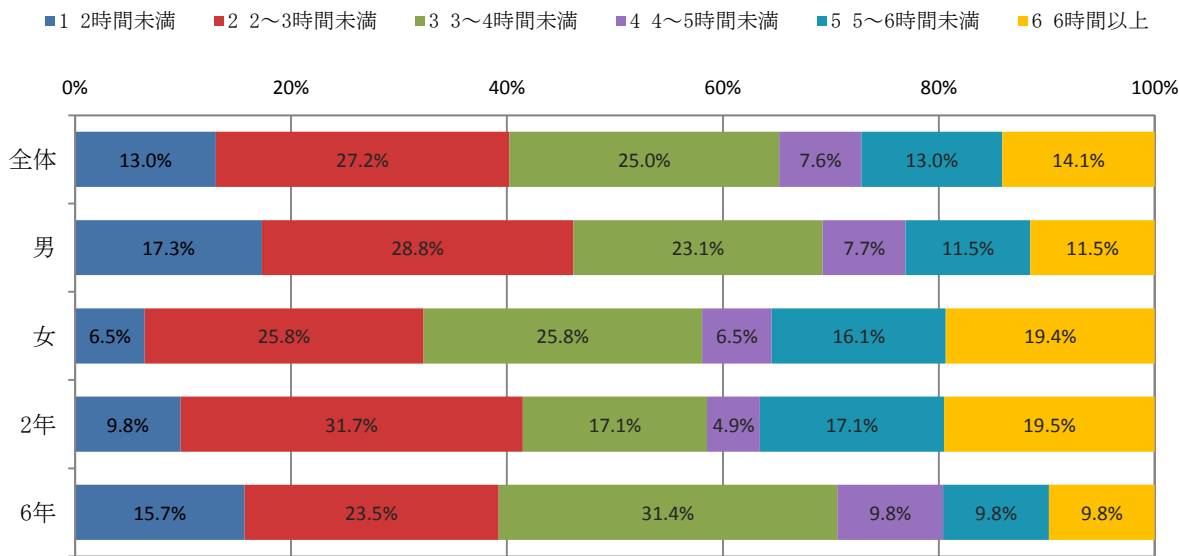
		有効回答者数	アルバイトは1週間に何日しますか（していましたか）				
			7日（毎日）	5～6日	3～4日	1～2日	ごくたまに
全体		93	4	3	14	46	26
			4.3%	3.2%	15.1%	49.5%	28.0%
性別	男	52	2	2	4	26	18
			3.8%	3.8%	7.7%	50.0%	34.6%
	女	31	0	0	9	16	6
			0.0%	0.0%	29.0%	51.6%	19.4%
学年別	2年	41	2	1	3	21	14
			4.9%	2.4%	7.3%	51.2%	34.1%
	6年	52	2	2	11	25	12
			3.8%	3.8%	21.2%	48.1%	23.1%

※アルバイトをしている人のみ回答

14. アルバイト時間

一日あたり5時間以上は低学年に多く、女子の方が長い傾向

一日あたりのアルバイト時間は様々ですが、4時間以上アルバイトをする学生の割合は、2年の方が6年より10ポイント以上高くなっています。学年の上昇とともに長時間のアルバイトが難しくなることなどの理由が予想されますが、今後の調査が必要と思われます。男女別では、女子の方がアルバイト時間が長い傾向がみられます。

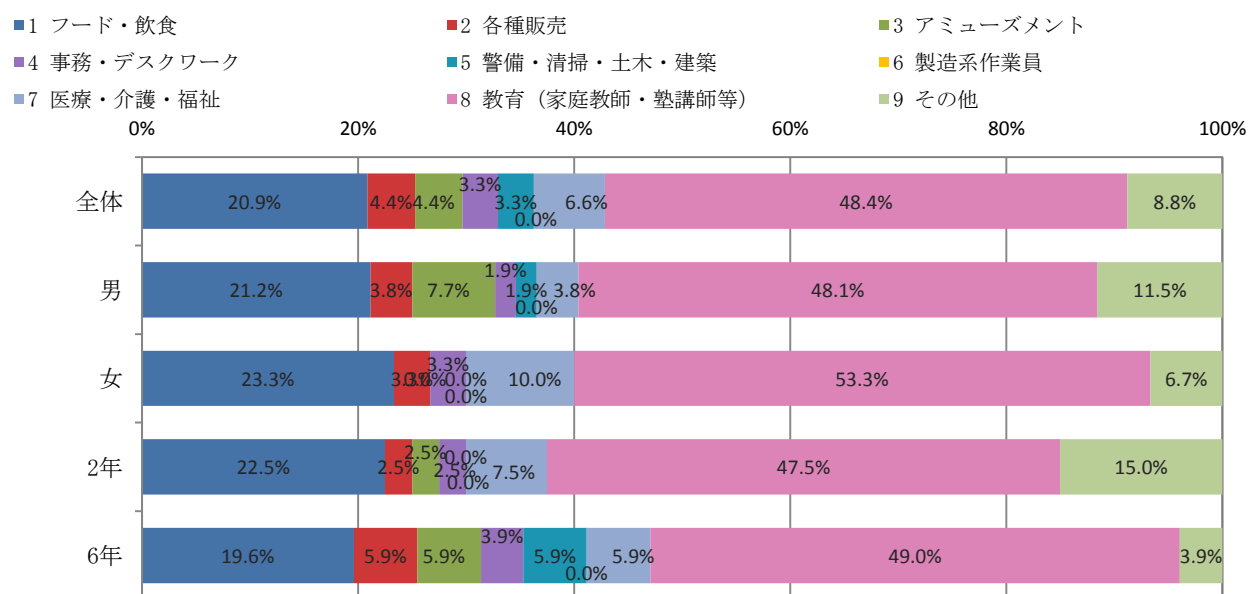


		有効回答者数	アルバイトは、主に一日あたり何時間していますか					
			2時間未満	2 ～ 3時間未満	3 ～ 4時間未満	4 ～ 5時間未満	5 ～ 6時間未満	6時間以上
※アルバイトをしている人のみ回答								
全体		92	12	25	23	7	12	13
			13.0%	27.2%	25.0%	7.6%	13.0%	14.1%
性別	男	52	9	15	12	4	6	6
			17.3%	28.8%	23.1%	7.7%	11.5%	11.5%
	女	31	2	8	8	2	5	6
			6.5%	25.8%	25.8%	6.5%	16.1%	19.4%
学年別	2年	41	4	13	7	2	7	8
			9.8%	31.7%	17.1%	4.9%	17.1%	19.5%
	6年	51	8	12	16	5	5	5
			15.7%	23.5%	31.4%	9.8%	9.8%	9.8%

15. アルバイト職種

教育が半数弱、重労働は高学年の男子のみ、アミューズメントは男子のみ

性別、学年によらず家庭教師・塾講師等の教育に関するアルバイトが半数程度と主なものとなっています。特徴的な点としては、2年生には回答がなかった「警備・清掃・土木・建築」の回答が6年生で6%程あったことです。この回答は男子にのみ認められましたが、教育に比べ重労働で時給も低いと思われるこの職種を選んだ理由について、今後調査する必要があると思われます。他には、「アミューズメント」も男子にのみみられることも特徴的です。それら以外の職種の男女別、学年別の明確な差はみられませんでした。



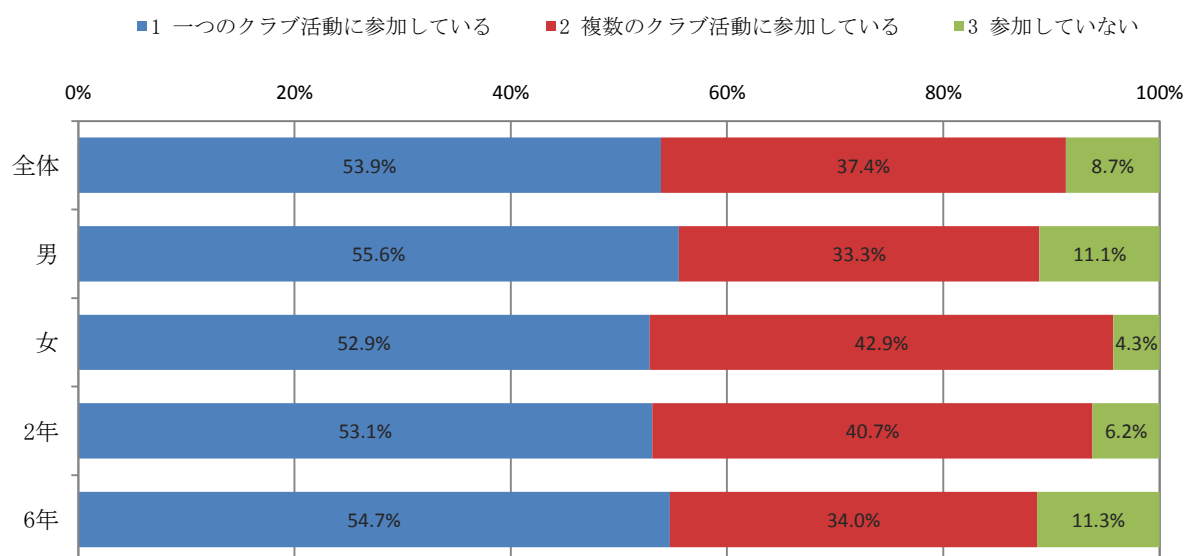
※アルバイトをしている人のみ回答		有効回答者数	アルバイトの主な職種								
			フード・飲食	各種販売	アミューズメント	事務・デスクワーク	警備・清掃・土木・建築	製造系作業員	医療・介護・福祉	教育（家庭教師・塾講師等）	その他
全体		91	19	4	4	3	3	0	6	44	8
			20.9%	4.4%	4.4%	3.3%	3.3%	0.0%	6.6%	48.4%	8.8%
性別	男	52	11	2	4	1	1	0	2	25	6
			21.2%	3.8%	7.7%	1.9%	1.9%	0.0%	3.8%	48.1%	11.5%
	女	30	7	1	0	1	0	0	3	16	2
			23.3%	3.3%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	10.0%	53.3%	6.7%
学年別	2年	40	9	1	1	1	0	0	3	19	6
			22.5%	2.5%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	7.5%	47.5%	15.0%
	6年	51	10	3	3	2	3	0	3	25	2
			19.6%	5.9%	5.9%	3.9%	5.9%	0.0%	5.9%	49.0%	3.9%

※アルバイトをしている人のみ回答

16. クラブ活動参加有無

9割以上が参加、男子および高学年の方が不参加割合高い

全体で9割以上の学生が一つ以上のクラブ活動に参加していることが分かります。参加していない学生の割合は、男子の方が女子より、6年生の方が2年生より高くなっており、それぞれ1割強を占めますが、全般的には、ほぼ同様の参加状況と言えます。学年が上昇するにつれて何らかの理由で特に男子が参加をやめる可能性も示唆され、今後の調査が必要と思われます。

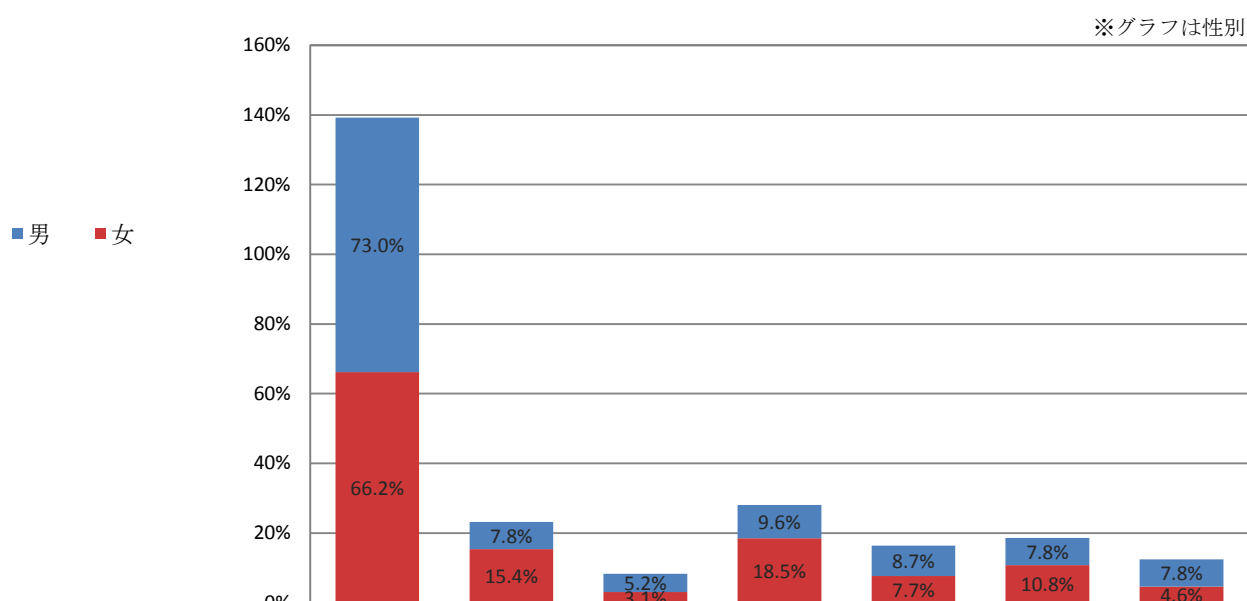


		有効回答者数	あなたはクラブ活動に参加していますか		
			加一つのクラブ活動に参加している	加複数のクラブ活動に参加している	参加していない
全体		219	118	82	19
			53.9%	37.4%	8.7%
性別	男	135	75	45	15
			55.6%	33.3%	11.1%
	女	70	37	30	3
			52.9%	42.9%	4.3%
学年別	2年	113	60	46	7
			53.1%	40.7%	6.2%
	6年	106	58	36	12
			54.7%	34.0%	11.3%

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答） - 性別 -

「活動が楽しそう」が7割弱、友人や他学の学生との交流という理由は女子に多い

クラブ活動への参加のきっかけは、男女とも、圧倒的に「活動が楽しそう」を選んだ者が多く、その割合は約7割となっています。他の回答を選んだ割合はずっと小さくなりますが、その中で男女で回答率に違いが認められたものは「友人との交流をもちたい」、「他学の学生と交流をもちたい」の2つで、どちらも女子の回答割合が男子の2倍程度となっています。

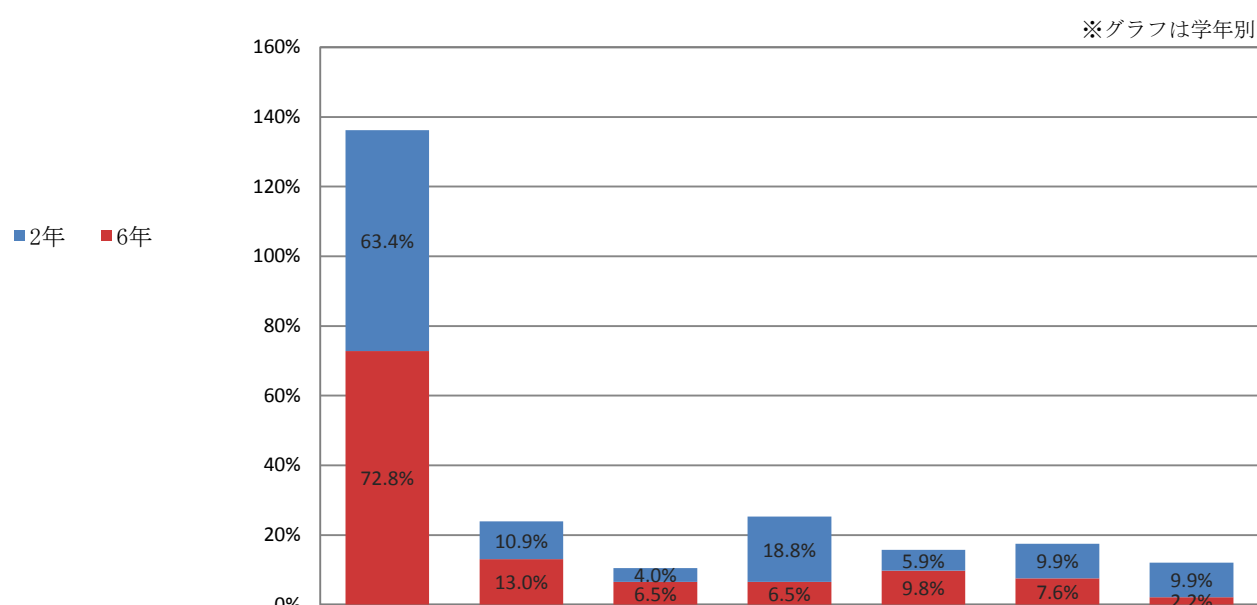


※クラブ参加者のみ回答		有効回答者数	あなたがクラブ活動に参加した理由やきっかけは何ですか						
			活動が楽しそう	他学の学生と交流をもちたい	友人に誘われて	友人との交流をもちたい	学内で誘われて何とな	活動が自由	その他
全体		193	131 67.9%	23 11.9%	10 5.2%	25 13.0%	15 7.8%	17 8.8%	12 6.2%
性別	男	115	84 73.0%	9 7.8%	6 5.2%	11 9.6%	10 8.7%	9 7.8%	9 7.8%
	女	65	43 66.2%	10 15.4%	2 3.1%	12 18.5%	5 7.7%	7 10.8%	3 4.6%
学年別	2年	101	64 63.4%	11 10.9%	4 4.0%	19 18.8%	6 5.9%	10 9.9%	10 9.9%
	6年	92	67 72.8%	12 13.0%	6 6.5%	6 6.5%	9 9.8%	7 7.6%	2 2.2%

17. クラブ活動参加きっかけ（複数回答） - 学年別 -

「友人との交流をもちたい」の割合は低学年の方が高い

クラブ活動への参加のきっかけについての回答で、学年による違いが認められたものは「活動が楽しそう」と「友人との交流をもちたい」の二項目で、前者は6年生の方が2年生より、後者は2年生の方が6年生より回答の割合が高くなっております。クラブ活動を通じて友人との交流をもちたいと考える傾向が最近高まっている可能性が示唆されました。

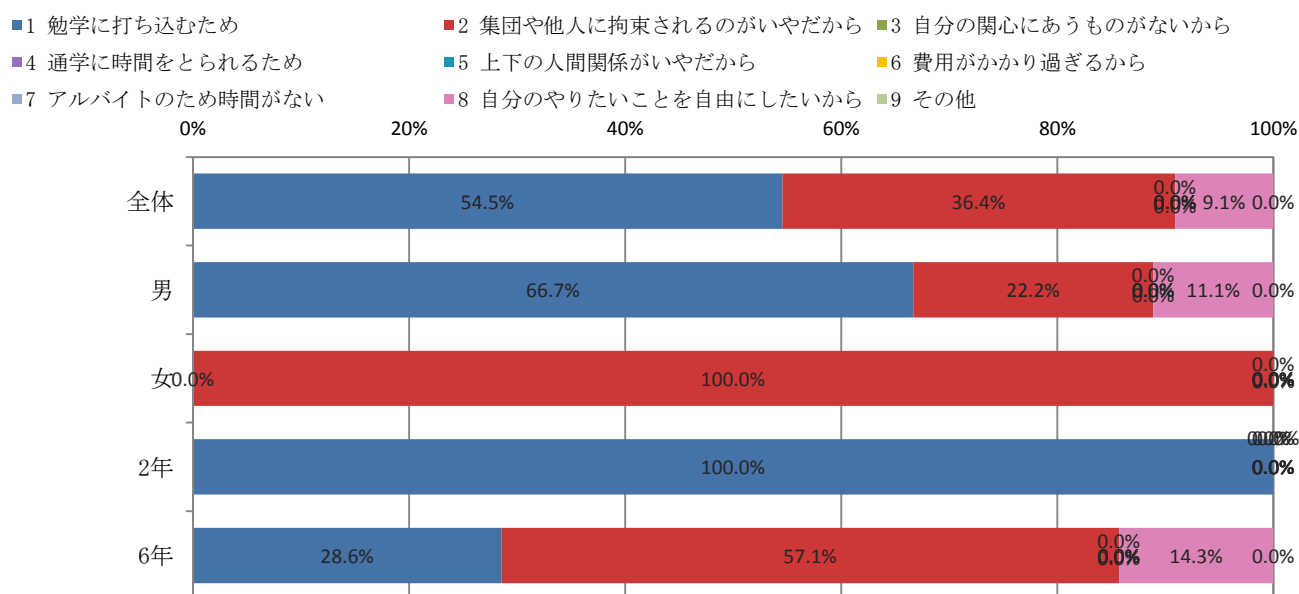


※クラブ参加者のみ回答		有効回答者数	あなたがクラブ活動に参加した理由やきっかけは何ですか						
			活動が楽しそう	他学の学生と交流をもちたい	友人に誘われて	友人との交流をもちたい	校内で誘われて何とな	活動が自由	その他
全体		193	131	23	10	25	15	17	12
			67.9%	11.9%	5.2%	13.0%	7.8%	8.8%	6.2%
性別	男	115	84	9	6	11	10	9	9
			73.0%	7.8%	5.2%	9.6%	8.7%	7.8%	7.8%
	女	65	43	10	2	12	5	7	3
			66.2%	15.4%	3.1%	18.5%	7.7%	10.8%	4.6%
学年別	2年	101	64	11	4	19	6	10	10
			63.4%	10.9%	4.0%	18.8%	5.9%	9.9%	9.9%
	6年	92	67	12	6	6	9	7	2
			72.8%	13.0%	6.5%	6.5%	9.8%	7.6%	2.2%

18. クラブ活動参加しない理由

勉学に打ち込むためと、拘束されたくない（自由にしたい）という理由に限られる

有効回答は11と少ないですが、クラブ活動に参加しない理由は「勉学に打ち込むため」「集団や他人に拘束されるのがいやだから（自分のやりたいことを自由にしたいから）」の二者に限られ、費用、時間、関心といったものが理由ではないことが分かります。

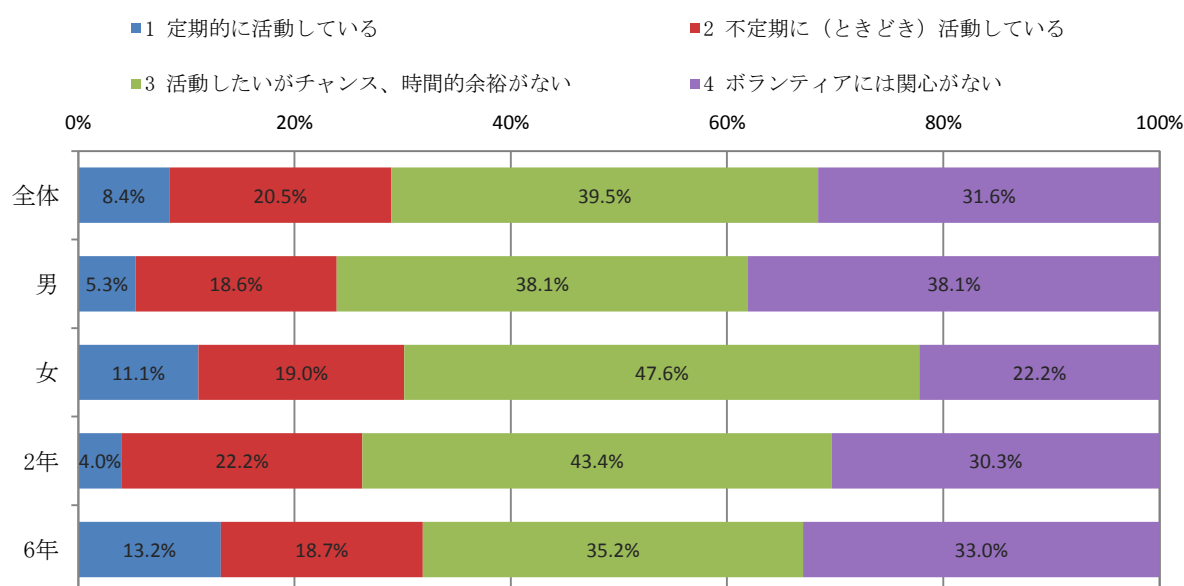


※クラブ不参加者のみ 回答		有効 回答者数	クラブ活動に参加しない主な理由								
			勉学に打ち込むため	集団や他人に拘束される	自分の関心にあうものがないから	通学に時間をとられるため	上下の人間関係がイヤだから	費用がかかり過ぎるか	アルバイトのため時間がない	自分のやりたいことを自由にしたいから	その他
全体		11	6	4	0	0	0	0	0	1	0
			54. 5%	36. 4%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	9. 1%	0. 0%
性別	男	9	6	2	0	0	0	0	0	1	0
			66. 7%	22. 2%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	11. 1%	0. 0%
	女	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
			0. 0%	100. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%
学年別	2年	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0
			100. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%
	6年	7	2	4	0	0	0	0	0	1	0
28. 6%			57. 1%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	0. 0%	14. 3%	0. 0%	

19. ボランティア活動参加有無

関心ある7割弱のうちの6割弱程が機会・時間なし、定期的な活動は高学年に多い

ボランティアに関心を持っている者は7割弱いるものの、そのうちの6割弱程が「活動したいがチャンス、時間的余裕がない」と答えており、ボランティアの機会、時間の確保が課題であることが分かります。なお、「定期的に活動している」と回答した者の割合は、6年生で13.2%と2年生の4.0%の3倍以上、女子で11.1%と男子の5.3%の約2倍となっています。ボランティアを探すのに年単位の時間を要している可能性も示唆され、今後の調査が必要と思われます。

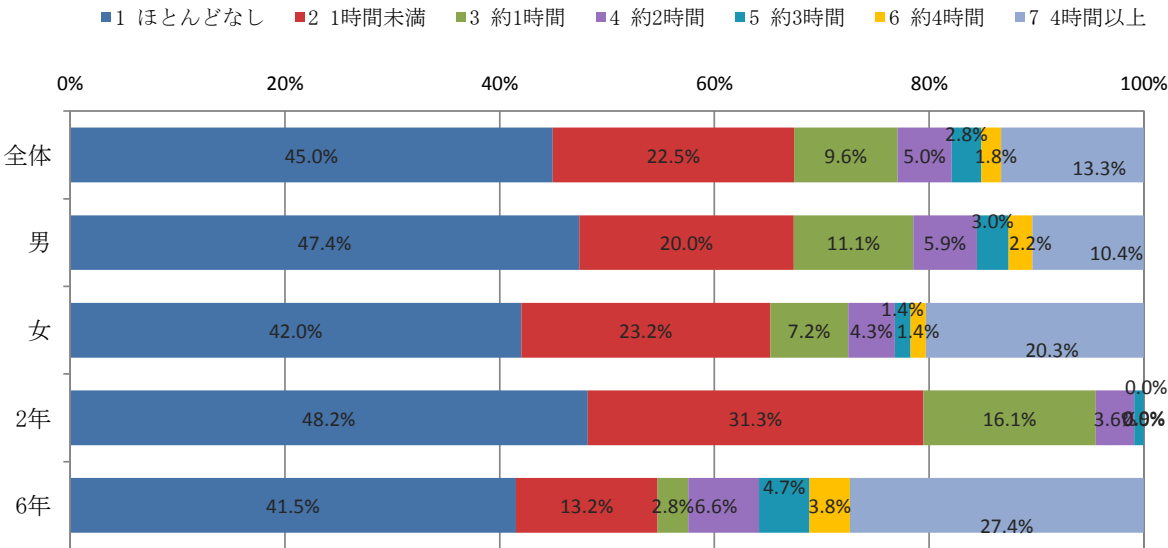


		有効回答者数	ボランティア活動をしたことがありますか			
			定期的に活動している	活動し不定期に（ときどき）している	活動したいがチャンス、時間的余裕がない	ボランティアには関心がない
全体		190	16	39	75	60
			8.4%	20.5%	39.5%	31.6%
性別	男	113	6	21	43	43
			5.3%	18.6%	38.1%	38.1%
	女	63	7	12	30	14
			11.1%	19.0%	47.6%	22.2%
学年別	2年	99	4	22	43	30
			4.0%	22.2%	43.4%	30.3%
	6年	91	12	17	32	30
			13.2%	18.7%	35.2%	33.0%

20. 予習時間

低学年は約半数が予習。高学年は約60%の学生が予習、時間も長い。

低学年にくらべ、高学年の学生の方が約60%と予習を行っている学生が多かった。予習時間は低学年では1時間未満が約30%と最も多かったが、高学年では4時間以上が約27%と最も多かった。臨床教科、臨床実習の勉学に取り組む学生の姿勢の現れと考えます。女子の方が男子よりも予習を行っている学生が多かった。

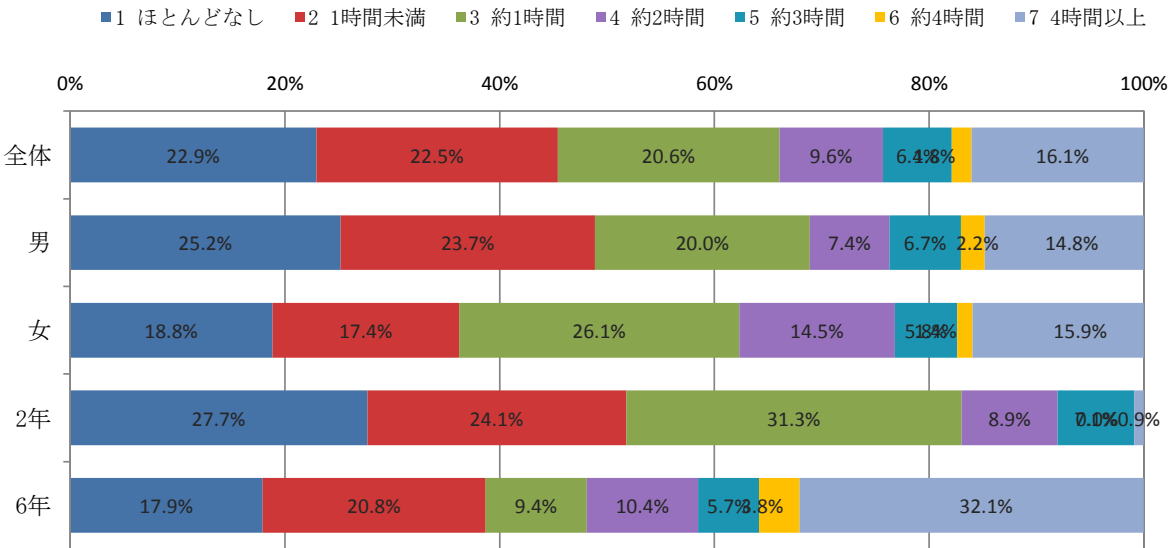


		有効回答者数	1日の平均予習時間はどれくらいですか						
			ほとんどなし	1時間未満	約1時間	約2時間	約3時間	約4時間	4時間以上
全体		218	98	49	21	11	6	4	29
			45.0%	22.5%	9.6%	5.0%	2.8%	1.8%	13.3%
性別	男	135	64	27	15	8	4	3	14
			47.4%	20.0%	11.1%	5.9%	3.0%	2.2%	10.4%
	女	69	29	16	5	3	1	1	14
			42.0%	23.2%	7.2%	4.3%	1.4%	1.4%	20.3%
学年別	2年	112	54	35	18	4	1	0	0
			48.2%	31.3%	16.1%	3.6%	0.9%	0.0%	0.0%
	6年	106	44	14	3	7	5	4	29
			41.5%	13.2%	2.8%	6.6%	4.7%	3.8%	27.4%

21. 復習時間

予習時間よりも復習時間が長い。高学年は約80%が復習。

低学年、高学年の学生ともに予習より復習を行っている学生の割合が高かったです。医学部は授業数が多く、理解して記憶する科目が多いため、復習を中心に学習している学生が多いと考えられます。また、低学年に比べ、高学年の学生の方が約82%と復習を行っている学生の割合が高かったです。復習時間は低学年では約1時間が約31%と最も高かったですが、高学年では4時間以上が約32%と最も高かったです。男女別では、女子の方が男子よりも復習を行っている学生の割合が高かったです。

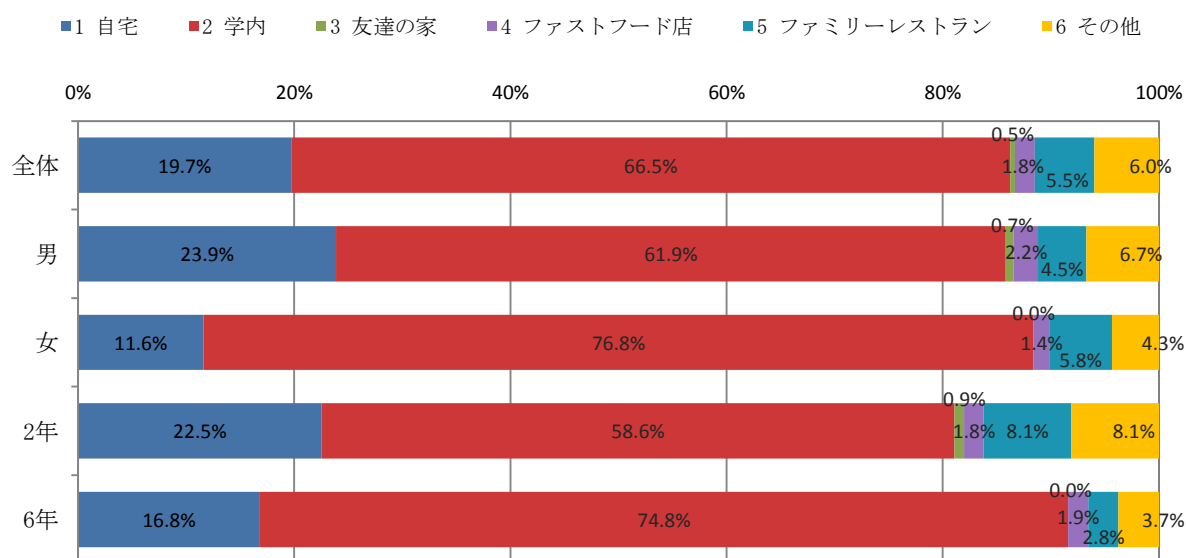


		有効回答者数	1日の平均復習時間はどれくらいですか						
			ほとんどなし	1時間未満	約1時間	約2時間	約3時間	約4時間	4時間以上
全体		218	50	49	45	21	14	4	35
			22.9%	22.5%	20.6%	9.6%	6.4%	1.8%	16.1%
性別	男	135	34	32	27	10	9	3	20
			25.2%	23.7%	20.0%	7.4%	6.7%	2.2%	14.8%
	女	69	13	12	18	10	4	1	11
			18.8%	17.4%	26.1%	14.5%	5.8%	1.4%	15.9%
学年別	2年	112	31	27	35	10	8	0	1
			27.7%	24.1%	31.3%	8.9%	7.1%	0.0%	0.9%
	6年	106	19	22	10	11	6	4	34
			17.9%	20.8%	9.4%	10.4%	5.7%	3.8%	32.1%

22. 自主学習場所

「約70%の学生が学内で自主学習、高学年の方が多い。」

学内で行う学生が約67%と最も多く、次に自宅が約20%と多かったです。友達の家、ファーストフード店、ファミレスは少数でした。また、男女差は明らかではありませんでした。さらに、低学年よりも高学年において学内で行う学生が多く認められました。本学では学内で自主学習する場所は比較的多く、特に高学年には学習できる場所が充実しているためと考えられます。

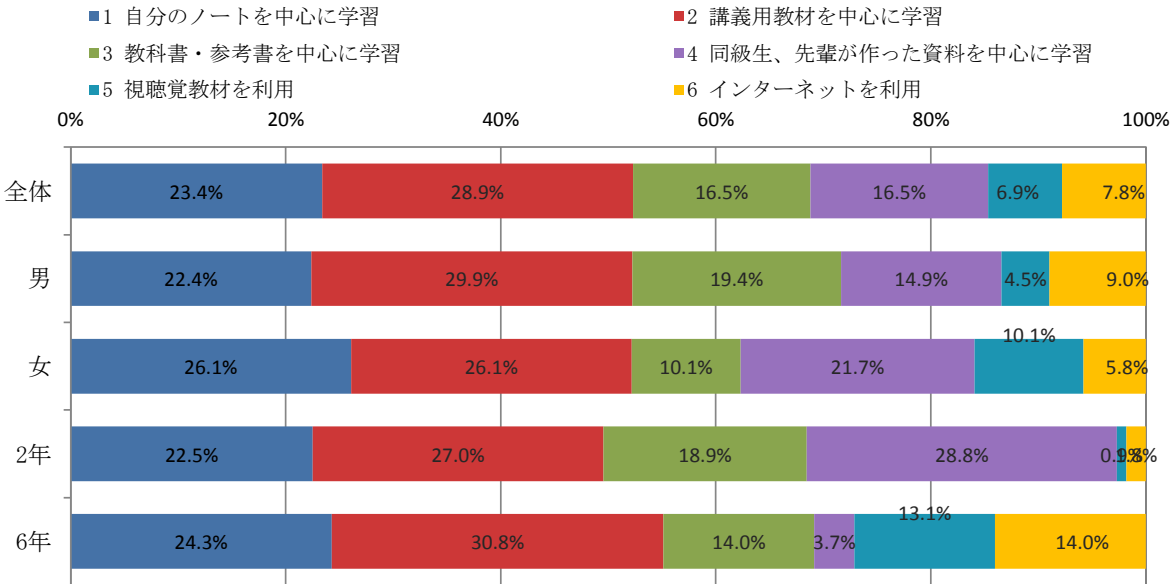


		有効回答者数	自主学習をする場所について学習することが最も多い場所はどこですか					
			自宅	学内	友達の家	ファーストフード店	ファミリーレストラン	その他
全体		218	43	145	1	4	12	13
			19.7%	66.5%	0.5%	1.8%	5.5%	6.0%
性別	男	134	32	83	1	3	6	9
			23.9%	61.9%	0.7%	2.2%	4.5%	6.7%
	女	69	8	53	0	1	4	3
			11.6%	76.8%	0.0%	1.4%	5.8%	4.3%
学年別	2年	111	25	65	1	2	9	9
			22.5%	58.6%	0.9%	1.8%	8.1%	8.1%
	6年	107	18	80	0	2	3	4
			16.8%	74.8%	0.0%	1.9%	2.8%	3.7%

23. 自主学習方法

自主学習は講義用教材、自分のノート中心が多い、高学年は視聴覚教材、インターネットを利用。

講義用教材、自分のノートを中心に学習する学生が多く、教科書・参考書を中心に学習する学生よりも多い結果でした。医学部は授業科目が多く時間が足りないため、復習を中心に学習しているためと考えられます。高学年では視聴覚教材、インターネットを利用する学生が多く、医師国家試験対策の学習が増えるためと考えられます。

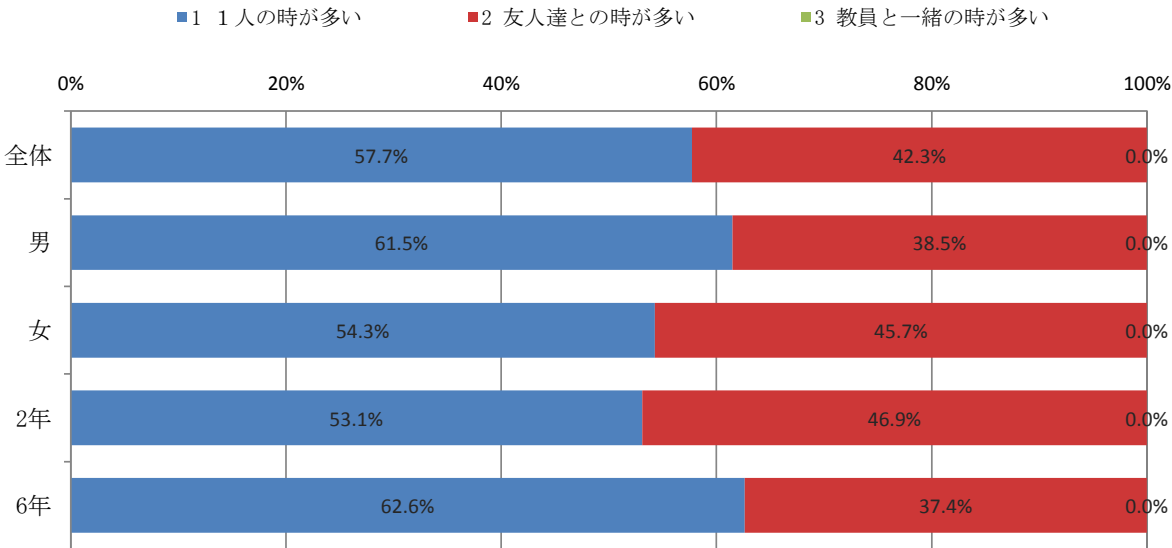


		有効回答者数	自主学習の方法について最もよく行う学習方法は何ですか					
			学習 自分の ノート を中心 に	習講 義用 教材 を中心 に学	に教科 書・参 考書 を中心	資料 同級生 、先輩 が作 った	視聴 覚教材 を利用	イン ター ネッ トを利用
全体		218	51	63	36	36	15	17
			23.4%	28.9%	16.5%	16.5%	6.9%	7.8%
性別	男	134	30	40	26	20	6	12
			22.4%	29.9%	19.4%	14.9%	4.5%	9.0%
	女	69	18	18	7	15	7	4
			26.1%	26.1%	10.1%	21.7%	10.1%	5.8%
学年別	2年	111	25	30	21	32	1	2
			22.5%	27.0%	18.9%	28.8%	0.9%	1.8%
	6年	107	26	33	15	4	14	15
			24.3%	30.8%	14.0%	3.7%	13.1%	14.0%

24. 誰と自主学習

1人で自主学習が約60%、高学年の方が多い。

1人で学習している学生が約60%と多く、その割合は低学年よりも高学年の方で高い結果でした。本学では高学年用の勉強部屋が整備されていますが、友人と一緒にグループ学習するよりも、個別で学習している学生が多いと考えられます。また、男子の方がその傾向が強いようです。なお、教員と学習している学生は一人もいませんでした。

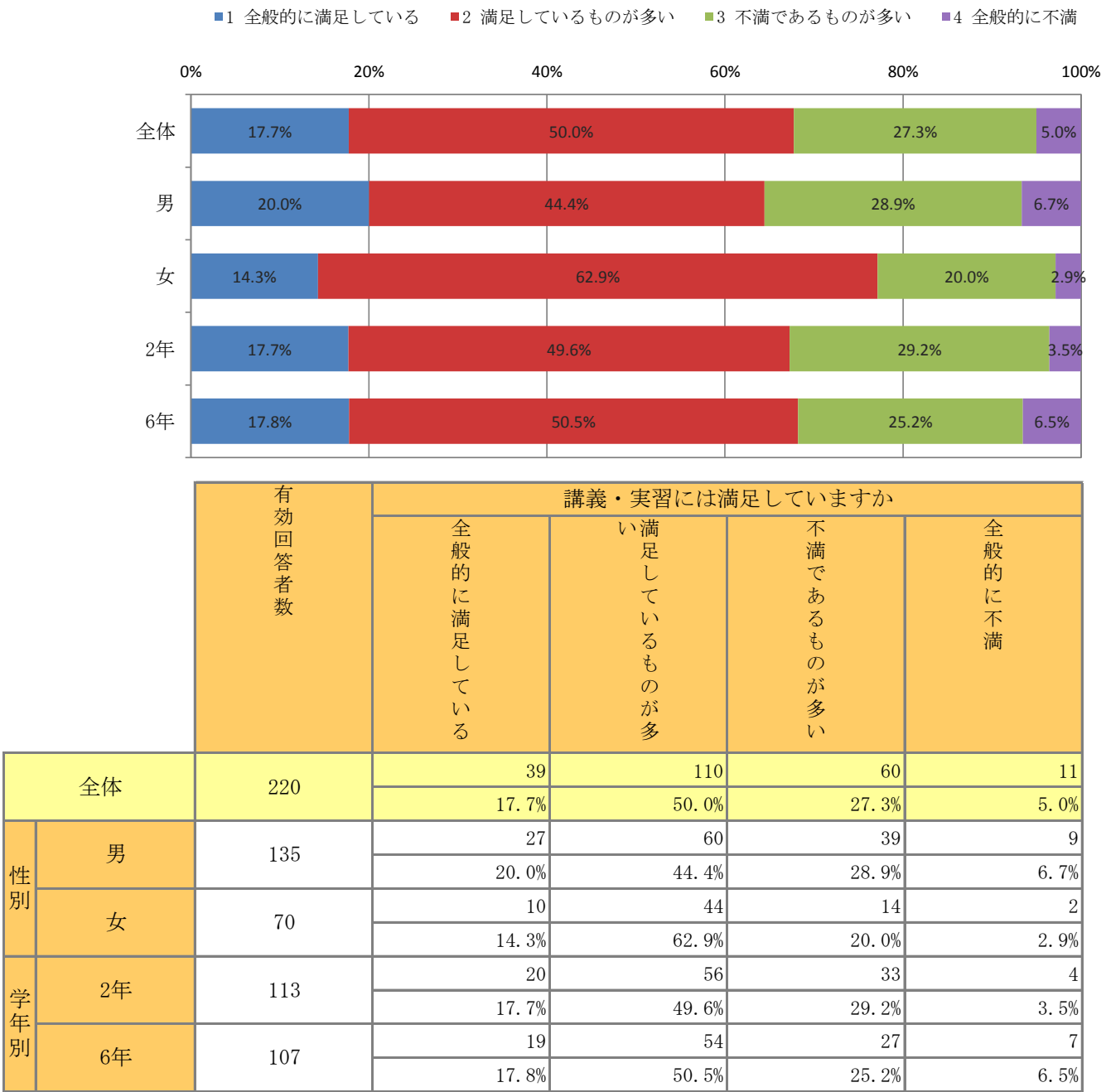


		有効回答者数	誰と一緒に学習していますか		
			1人の時が多い	友人達との時が多い	教員と一緒に時が多い
全体		220	127	93	0
			57.7%	42.3%	0.0%
性別	男	135	83	52	0
			61.5%	38.5%	0.0%
	女	70	38	32	0
			54.3%	45.7%	0.0%
学年別	2年	113	60	53	0
			53.1%	46.9%	0.0%
	6年	107	67	40	0
			62.6%	37.4%	0.0%

25. 講義実習満足度

講義実習満足度は約20%と低学年、高学年ともに低い。

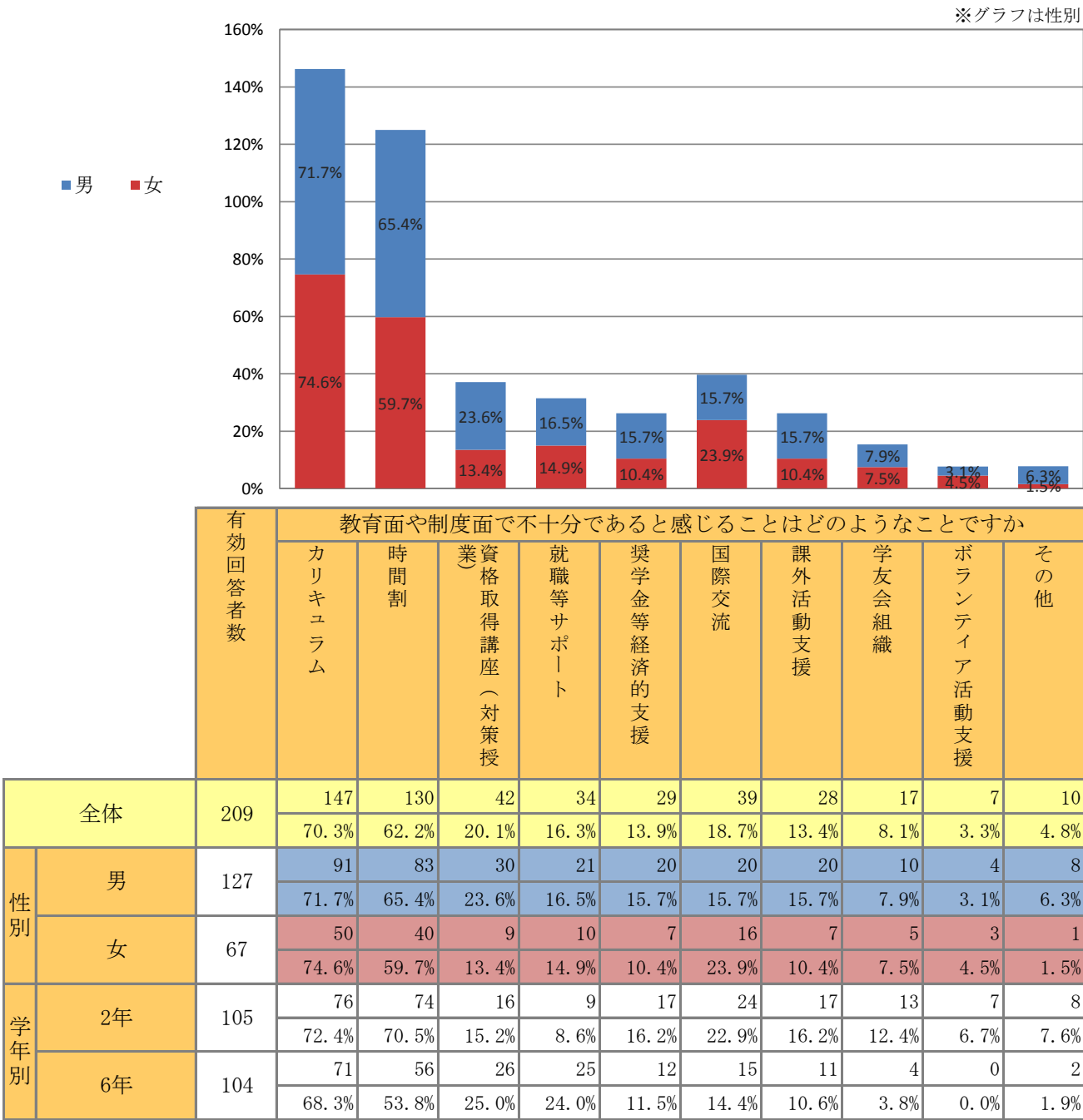
全般的に満足している学生が約18%と少なく、低学年、高学年とも同様の結果です。男女別では、女子で約14%と男子の20%よりも低い結果でした。一方、不満であるものが多いと回答した学生は男子約29%、女子20%と男子の方が高い結果でした。本学の教育成果を上げるために重要な問題であり、改善していくための対策が必要であると考えられます。



26. 教育制度不十分点（複数回答3つ） - 性別 -

カリキュラムは約70%の学生、特に女子、時間割は約60%の学生、特に男子が不満。

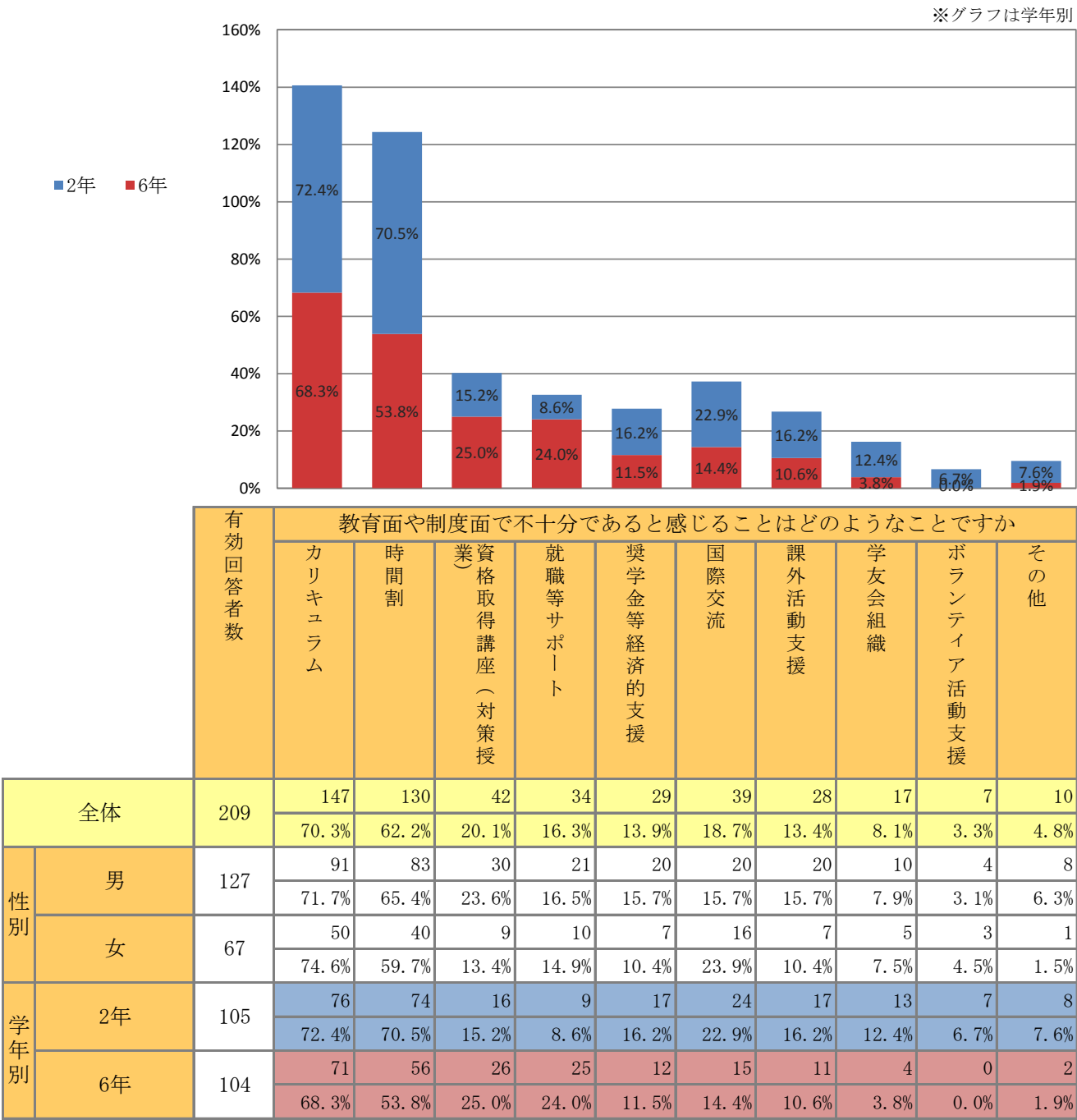
カリキュラムが不十分と感じている学生が多く、約70%の学生が指摘し、女子の方でやや多いという結果でした。時間割についてが次に多く、男子の方でやや多いものの男女とも約60%の学生が指摘しました。授業に対する不満が多いのは問題であり、具体的な不満の内容について検討する必要がありますと考えられます。対策授業、就職などサポート、奨学金など経済的支援、国際交流、課外活動支援については約10～20%の指摘でしたが、国際交流を除いて、男子からの指摘の方が多いという結果でした。学友会活動、ボランティア活動支援についての指摘はわずかでした。学業をこなすのに忙しく、学生生活についての不満は少ないと考えます。全般的に男女差には大きな傾向はないと考えます。



26. 教育制度不十分点（複数回答3つ） - 学年別 -

カリキュラム、時間割は約70%の低学年学生が不満。

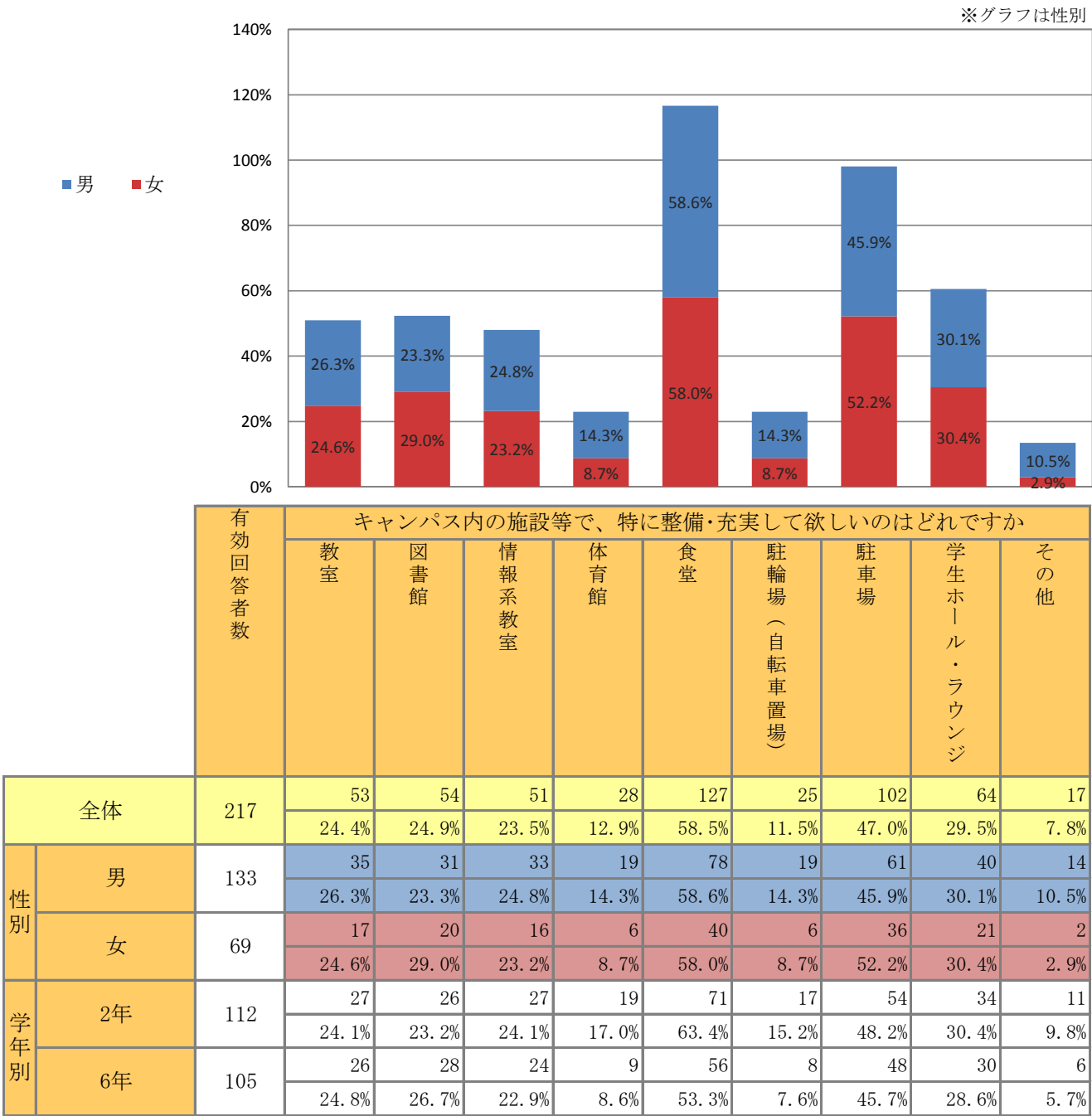
低学年、高学年ともにカリキュラムが不十分と約70%の学生が指摘しましたが、低学年の方でその割合は若干高いという結果でした。時間割についての不満も低学年で約70%と高学年の約50%より高かったです。低学年のカリキュラムの不満については具体的に検討する必要があると考えられます。対策授業、就職などサポートは高学年の方が不十分と感じているのは国家試験対策、研修病院の選択の問題があるため高学年に多いと考えられます。奨学金など経済的支援、国際交流、課外活動支援、学友会組織、ボランティア活動支援は学生生活に関する問題であり、低学年の方が多いという結果でした。



27. キャンパス設備改善要望点（複数回答3つ） - 性別 -

約60%の学生が男女とも食堂に不満

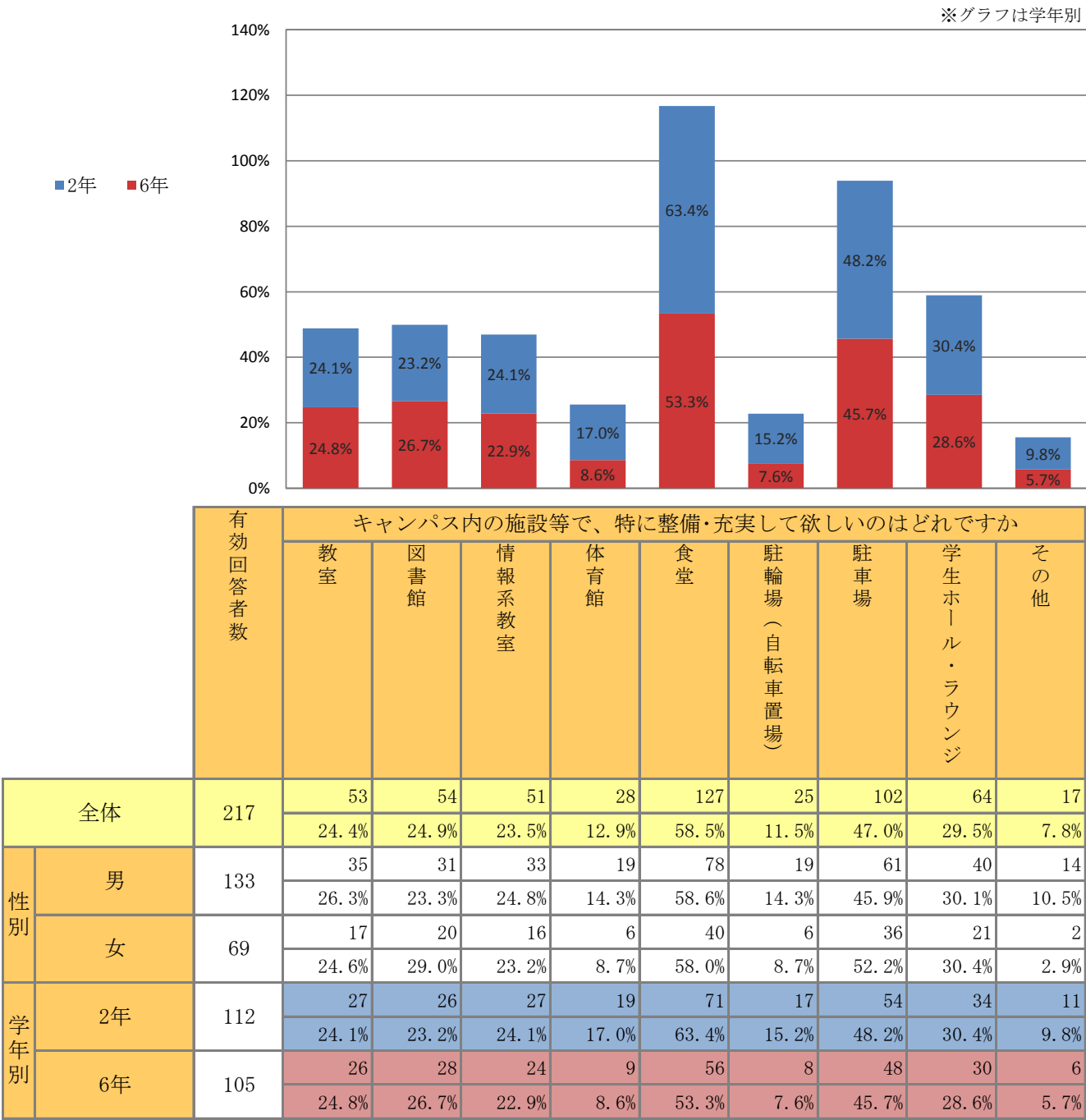
食堂に関する要望が男女とも約60%と最も多い結果でした。学内には学生食堂、職員食堂、病院食堂、コンビニ、パン屋、コーヒーショップがありますが、学生専用の食堂の充実が必要と考えます。弁当の販売も拡充する必要があると考えます。昼休みが短く、他の学部と時間帯が異なることも問題です。学内で勉強している学生が多いため、夕食の食べれる場所も充実が必要です。次に、車通学の学生が多いためか駐車場に対する要望も多く、女子の方で多い結果でした。学生ホール・ラウンジに関する要望も男女ともに約30%と比較的多く、今後充実が必要です。



27. キャンパス設備改善要望点（複数回答3つ） - 学年別 -

食堂、駐車場に対する不満は低学年の方が多い。

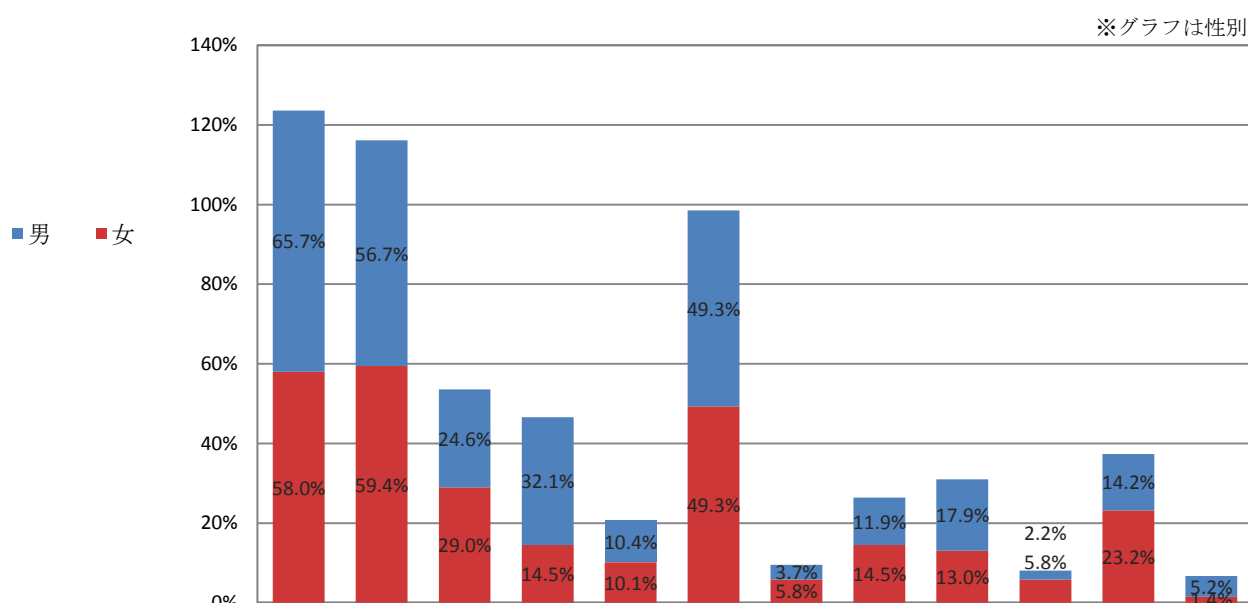
食堂に関する要望が低学年で多いのは、病院実習の高学年に比べ昼休みが短く、他の学部と時間帯が異なるためと考えられます。駐車場の要望も低学年で多いのは、低学年は車通学が許可されないためと考えられます。そのため自転車通学の学生も低学年で多く、駐輪場に対する要望も低学年で多くなったと考えられます。体育館に対する要望が低学年の方で多いのは、部活の生活に占めるウエートが低学年が多いからかもしれません。



28. 大学全体要望点（複数回答3つ） - 性別 -

男女とも大学に期待するのは優秀な教師と設備。

大学全体要望点について、男子は優秀な教師65.7%、施設・設備の改善56.7%、食堂や学生ホール・ラウンジの充実49.3%、女子は優秀な教師58.0%、施設・設備の改善59.4%、食堂や学生ホール・ラウンジの充実49.3%であり、男女ともに日々の大学生活に関する事項が多いです。4番目の多かった要望点は、男子は運動施設の充実と設備32.1%、女子は図書館の充実と整備29.0%でした。

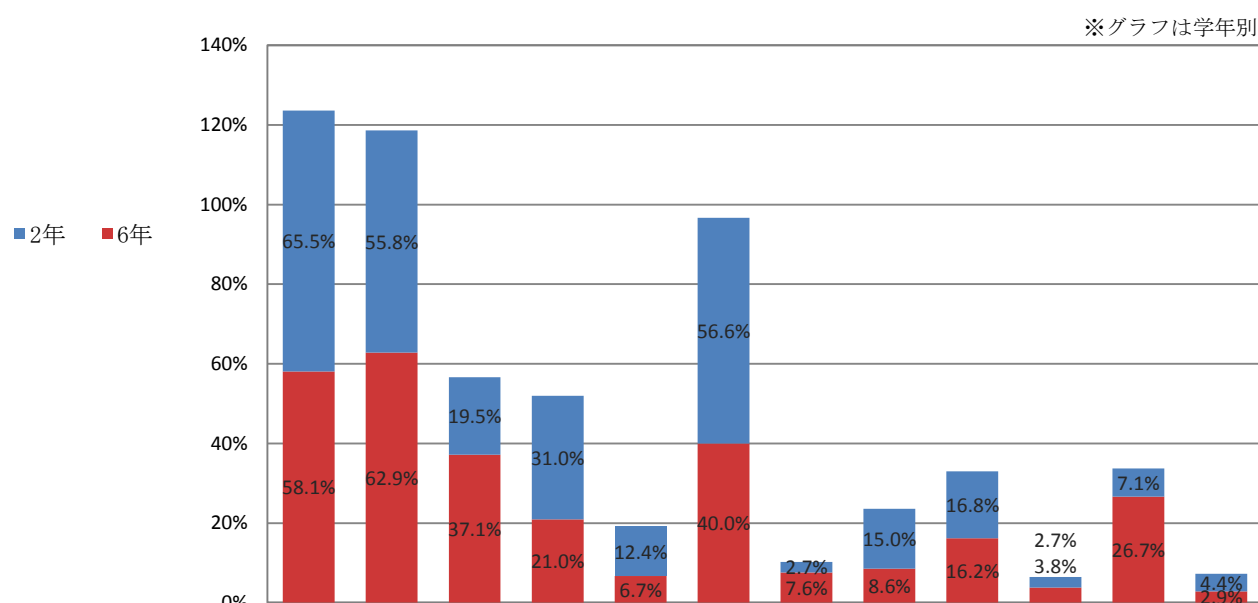


		有効回答者数	大学（又は看護専門学校）に対して要望したいことや期待することは何ですか											
			優秀な教師がそろっていること	教室・設備などの改善	図書館の充実と整備	運動施設の充実と整備	課外活動の設備の充実と整備	食堂や学生ホール・ラウンジ等の充実	資格取得講座（対策授業）の充実	奨学金の新設や増額	学内において「いい場所」を増やすこと	学生自治活動（学友会組織）の尊重	期待することは何もない	その他
全体		218	135	129	61	57	21	106	11	26	36	7	36	8
			61.9%	59.2%	28.0%	26.1%	9.6%	48.6%	5.0%	11.9%	16.5%	3.2%	16.5%	3.7%
性別	男	134	88	76	33	43	14	66	5	16	24	3	19	7
			65.7%	56.7%	24.6%	32.1%	10.4%	49.3%	3.7%	11.9%	17.9%	2.2%	14.2%	5.2%
	女	69	40	41	20	10	7	34	4	10	9	4	16	1
			58.0%	59.4%	29.0%	14.5%	10.1%	49.3%	5.8%	14.5%	13.0%	5.8%	23.2%	1.4%
学年別	2年	113	74	63	22	35	14	64	3	17	19	3	8	5
			65.5%	55.8%	19.5%	31.0%	12.4%	56.6%	2.7%	15.0%	16.8%	2.7%	7.1%	4.4%
	6年	105	61	66	39	22	7	42	8	9	17	4	28	3
			58.1%	62.9%	37.1%	21.0%	6.7%	40.0%	7.6%	8.6%	16.2%	3.8%	26.7%	2.9%

28. 大学全体要望点（複数回答3つ） - 学年別 -

2年は優秀な教師, 6年は施設・設備の改善要望が最多。

大学全体要望について、2年は優秀な教師65.5%、食堂や学生ホール・ラウンジ等の充実56.6%、施設・設備の改善55.8%の3項目が50%以上を占めています。次いで運動施設の充実と設備31.0%、であり、余暇の時間への要望も少なからずあります。6年は施設・設備の改善62.9%、優秀な教師58.1%の2項目が50%以上です。食堂や学生ホール・ラウンジ等の充実40.0%に次いで図書館の充実と整備37.1%であり、6年では自主学習の時間が多くなっていることとも関連しているかもしれません。

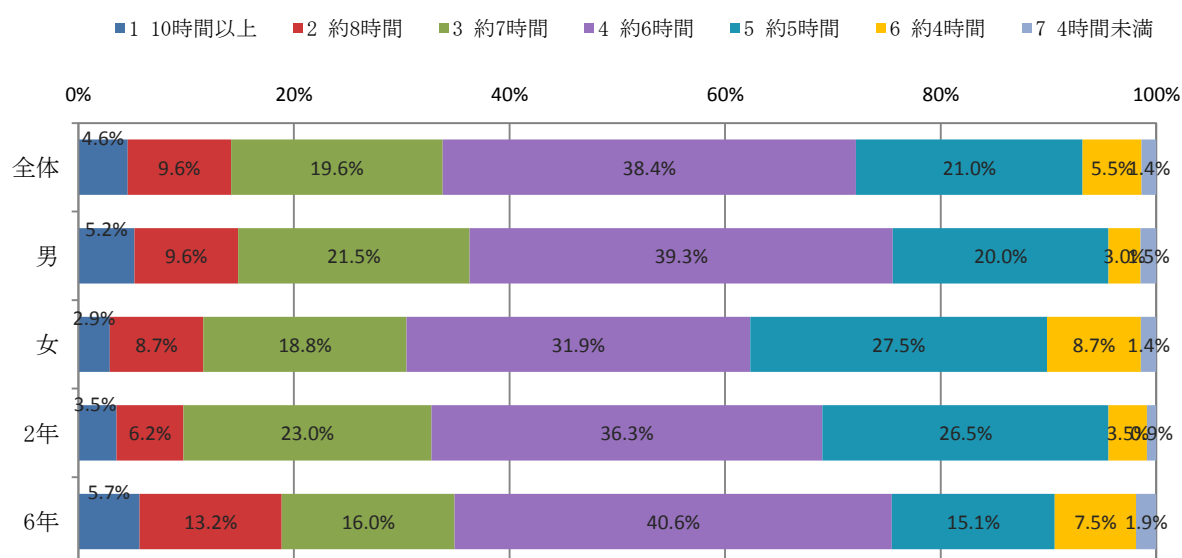


		有効回答者数	大学（又は看護専門学校）に対して要望したいことや期待することは何ですか											
			優秀な教師がそろっていること	教室・設備などの改善	図書館の充実と整備	運動施設の充実と整備	課外活動の設備の充実と整備	食堂や学生ホール・ラウンジ等の充実	資格取得講座（対策授業）の充実	奨学金の新設や増額	学内において「いいこの場」を増やすこと	学生自治活動（学友会組織）の尊重	期待することは何もない	その他
全体		218	135 61.9%	129 59.2%	61 28.0%	57 26.1%	21 9.6%	106 48.6%	11 5.0%	26 11.9%	36 16.5%	7 3.2%	36 16.5%	8 3.7%
性別	男	134	88 65.7%	76 56.7%	33 24.6%	43 32.1%	14 10.4%	66 49.3%	5 3.7%	16 11.9%	24 17.9%	3 2.2%	19 14.2%	7 5.2%
			女	69	40 58.0%	41 59.4%	20 29.0%	10 14.5%	7 10.1%	34 49.3%	4 5.8%	10 14.5%	9 13.0%	4 5.8%
	2年	113			74 65.5%	63 55.8%	22 19.5%	35 31.0%	14 12.4%	64 56.6%	3 2.7%	17 15.0%	19 16.8%	3 2.7%
			6年	105	61 58.1%	66 62.9%	39 37.1%	22 21.0%	7 6.7%	42 40.0%	8 7.6%	9 8.6%	17 16.2%	4 3.8%

29. 睡眠時間

6時間睡眠が最多。

睡眠時間は、全体では6時間38.4%、5時間21.0%、7時間19.6%の順です。4時間以下の短時間睡眠者は6.9%ですが、この回答者が眠る時間をとることができないのか不眠症であるかについての実態調査も別途必要かもしれません。

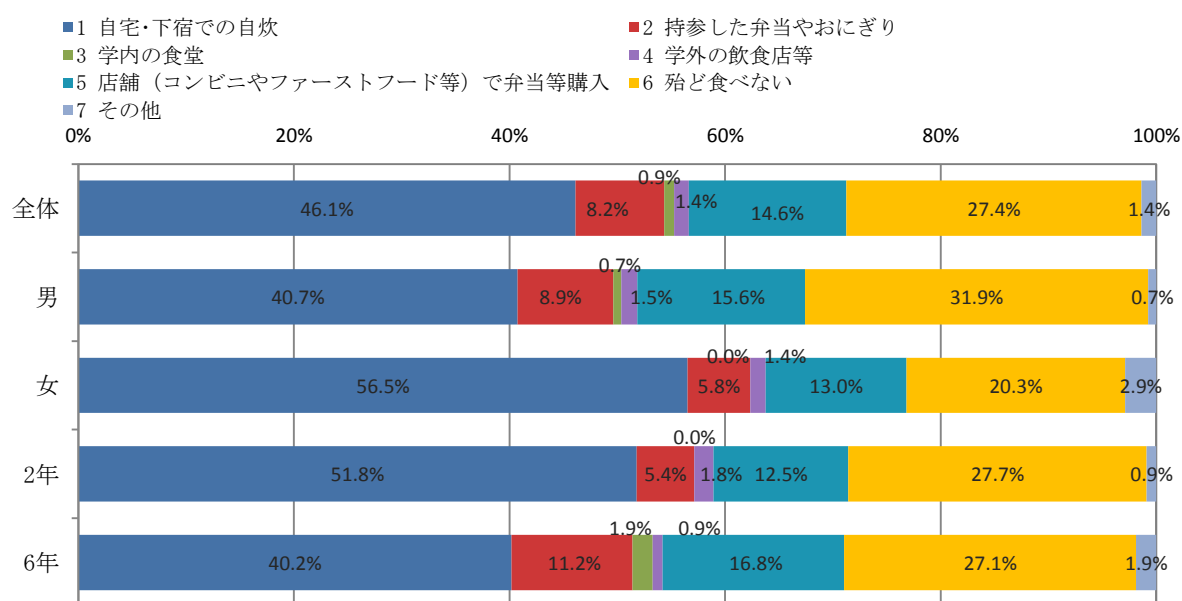


		有効回答者数	平均睡眠時間はどれくらいですか						
			1 0 時 間 以 上	約 8 時 間	約 7 時 間	約 6 時 間	約 5 時 間	約 4 時 間	4 時 間 未 満
全体		219	10	21	43	84	46	12	3
			4. 6%	9. 6%	19. 6%	38. 4%	21. 0%	5. 5%	1. 4%
性別	男	135	7	13	29	53	27	4	2
			5. 2%	9. 6%	21. 5%	39. 3%	20. 0%	3. 0%	1. 5%
	女	69	2	6	13	22	19	6	1
			2. 9%	8. 7%	18. 8%	31. 9%	27. 5%	8. 7%	1. 4%
学年別	2年	113	4	7	26	41	30	4	1
			3. 5%	6. 2%	23. 0%	36. 3%	26. 5%	3. 5%	0. 9%
	6年	106	6	14	17	43	16	8	2
			5. 7%	13. 2%	16. 0%	40. 6%	15. 1%	7. 5%	1. 9%

30. 食事について…朝食

27.4%は朝食をほとんど食べない。

朝食をほとんど食べないは、全体で27.4%、男性31.9%、女性20.3%であり、男性の方が朝食を食べない頻度が高いです。朝食の方法は自宅・下宿での自炊が46.1%と最多です。

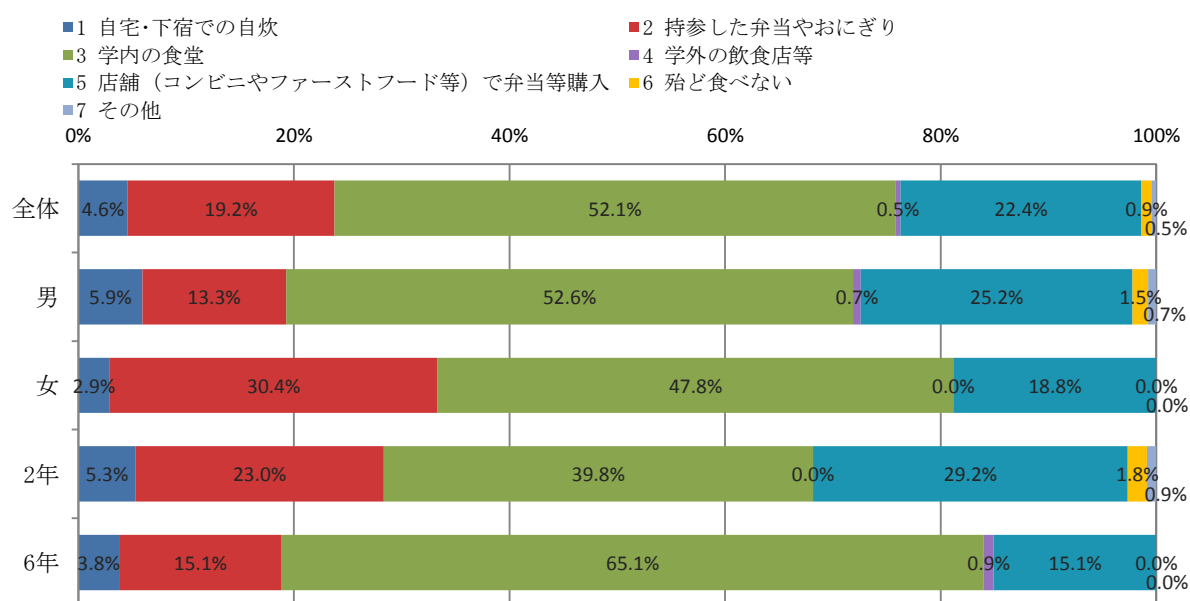


		有効回答者数	食事は主にどのようにして摂っていますか…朝食						
			自宅・下宿での自炊	持ち参した弁当やおにぎり	学内の食堂	学外の飲食店等	店舗（コンビニやファーストフード等）で弁当等購入	殆ど食べない	その他
全体		219	101	18	2	3	32	60	3
			46.1%	8.2%	0.9%	1.4%	14.6%	27.4%	1.4%
性別	男	135	55	12	1	2	21	43	1
			40.7%	8.9%	0.7%	1.5%	15.6%	31.9%	0.7%
	女	69	39	4	0	1	9	14	2
			56.5%	5.8%	0.0%	1.4%	13.0%	20.3%	2.9%
学年別	2年	112	58	6	0	2	14	31	1
			51.8%	5.4%	0.0%	1.8%	12.5%	27.7%	0.9%
	6年	107	43	12	2	1	18	29	2
			40.2%	11.2%	1.9%	0.9%	16.8%	27.1%	1.9%

30. 食事について…昼食

学内食堂での昼食が最多。

昼食について、全体では学内食堂52.1%、店舗での弁当等購入22.4%、持参した弁当やおにぎり19.2%の順の比率です。学内食堂は2年39.8%、6年65.1%と利用率に学年差がみられます。

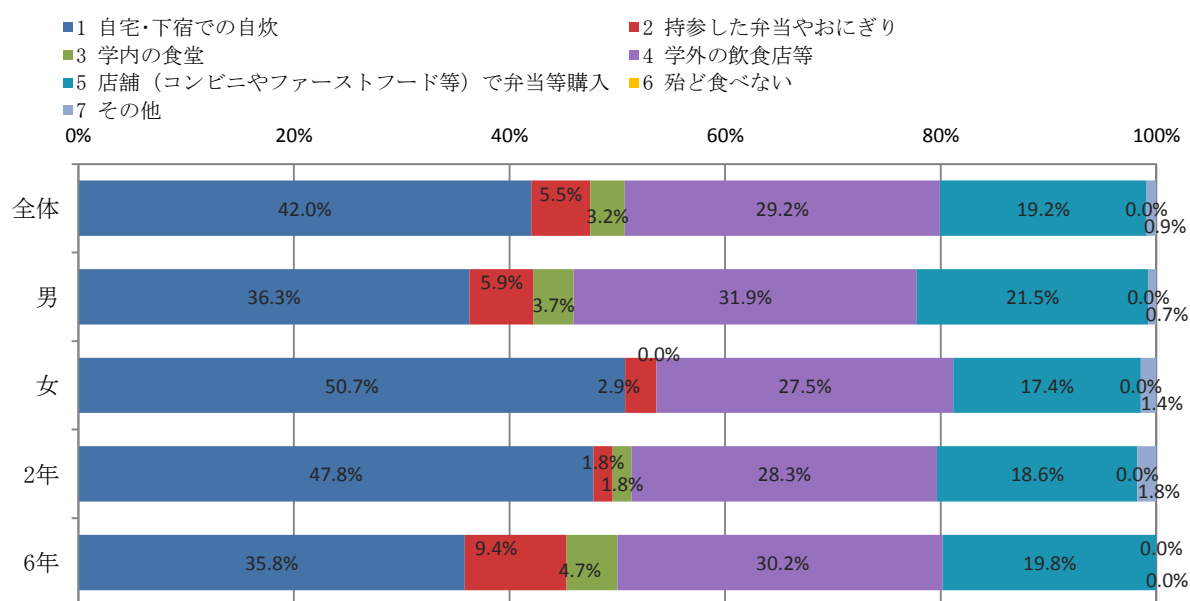


		有効回答者数	食事は主にどのようにして摂っていますか…昼食						
			自宅・下宿での自炊	持ち参した弁当やおにぎり	学内の食堂	学外の飲食店等	店舗（コンビニやファーストフード等）で弁当等購入	殆ど食べない	その他
全体		219	10 4.6%	42 19.2%	114 52.1%	1 0.5%	49 22.4%	2 0.9%	1 0.5%
性別	男	135	8 5.9%	18 13.3%	71 52.6%	1 0.7%	34 25.2%	2 1.5%	1 0.7%
			女	69	2 2.9%	21 30.4%	33 47.8%	0 0.0%	13 18.8%
	2年	113			6 5.3%	26 23.0%	45 39.8%	0 0.0%	33 29.2%
			6年	106	4 3.8%	16 15.1%	69 65.1%	1 0.9%	16 15.1%

30. 食事について…夕食

夕食は外食と弁当等購入合わせて過半数であり、自宅・下宿での夕食自炊は42%。

夕食について、自宅・下宿での自炊42.0%、学外の飲食店29.2%、店舗で弁当等購入21.5%の頻度です。過半数は自宅・下宿以外での夕食になっています。

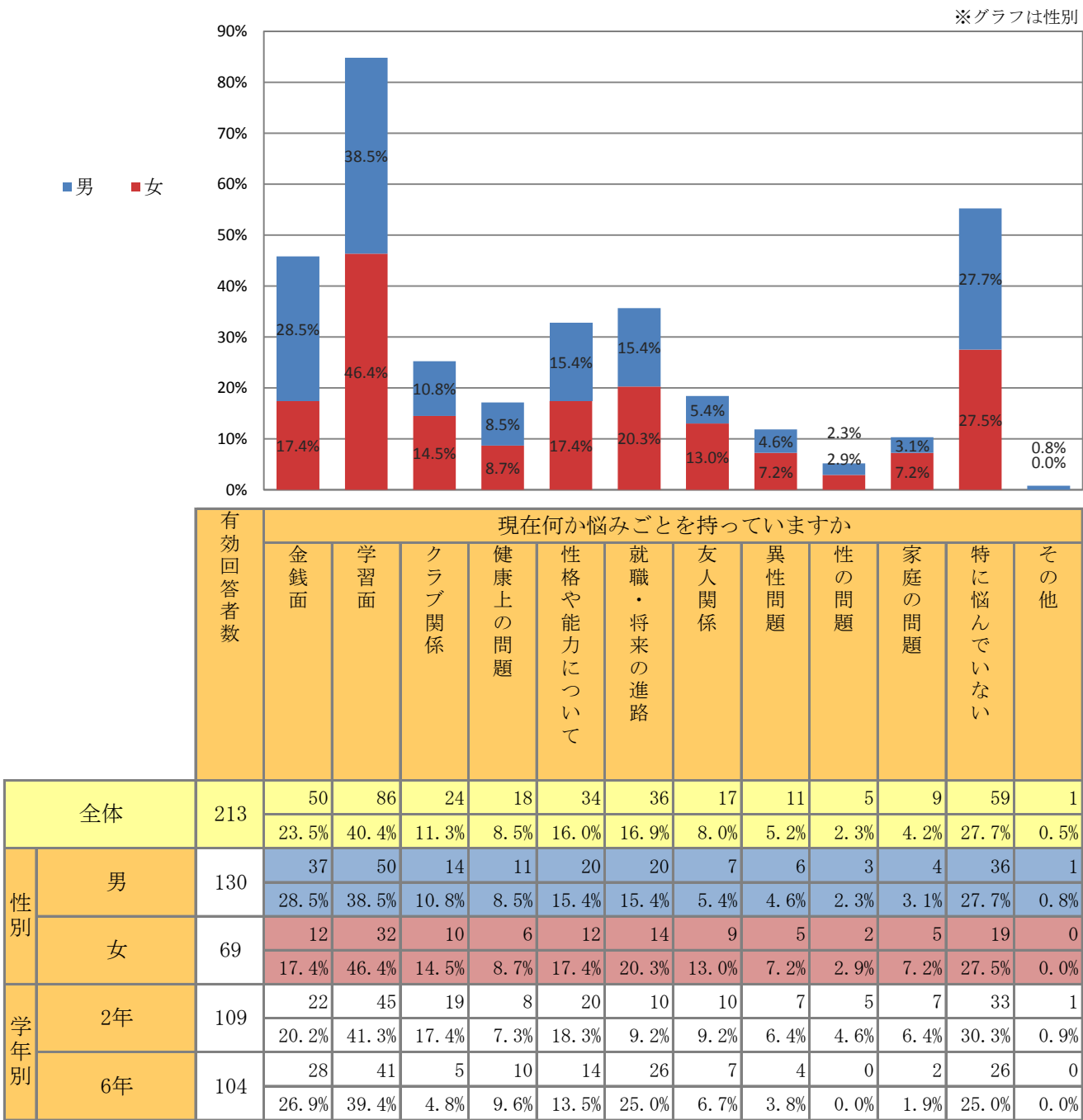


		有効回答者数	食事は主にどのようにして摂っていますか…夕食						
			自宅・下宿での自炊	持参した弁当やおにぎり	学内の食堂	学外の飲食店等	店舗（コンビニやファーストフード等）で弁当等購入	殆ど食べない	その他
全体		219	92	12	7	64	42	0	2
			42.0%	5.5%	3.2%	29.2%	19.2%	0.0%	0.9%
性別	男	135	49	8	5	43	29	0	1
			36.3%	5.9%	3.7%	31.9%	21.5%	0.0%	0.7%
	女	69	35	2	0	19	12	0	1
			50.7%	2.9%	0.0%	27.5%	17.4%	0.0%	1.4%
学年別	2年	113	54	2	2	32	21	0	2
			47.8%	1.8%	1.8%	28.3%	18.6%	0.0%	1.8%
	6年	106	38	10	5	32	21	0	0
			35.8%	9.4%	4.7%	30.2%	19.8%	0.0%	0.0%

31. 悩み事（複数回答） - 性別 -

男女とも学習面の悩みが最多。

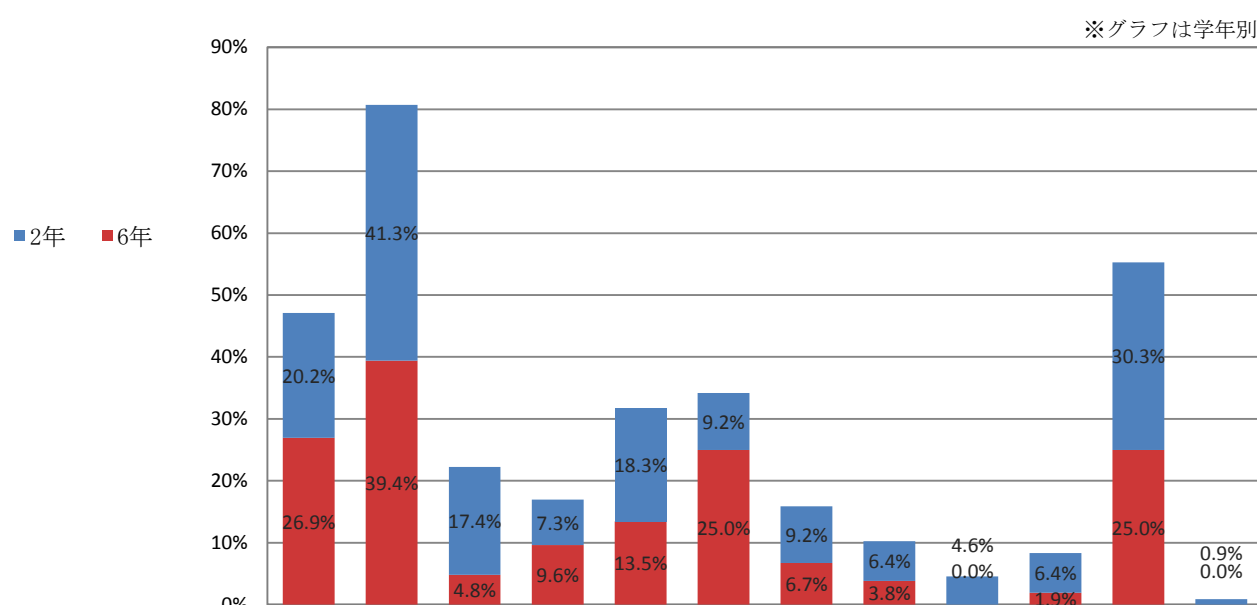
性別の悩み事は、頻度が高い順に、男性は学習面38.5%、金銭面28.5%、性格や能力について15.4%、就職・将来の進路15.4%、クラブ関係10.8%、女性は学習面46.4%、就職・将来の進路20.3%、金銭面17.4%、性格や能力について17.4%、クラブ関係14.5%、友人関係13.0%です。男女ともに学習面の悩みが最多です。



31. 悩み事（複数回答） - 学年別 -

6年は学習面、金銭面に次いで就職・将来の進路についての悩みが多い。

学年別の悩み事は、頻度が高い順に2年は学習面41.3%、金銭面20.2%、性格や能力について18.3%、クラブ関係17.4%、6年は学習面39.4%、金銭面26.9%、就職・将来の進路25.0%、性格や能力について13.5%です。学習面、金銭面、性格や能力については2年と6年で共通してますが、2年ではクラブ関係の悩みもあり、一方6年になると就職・将来の進路に関する悩みの頻度が高くなっています。

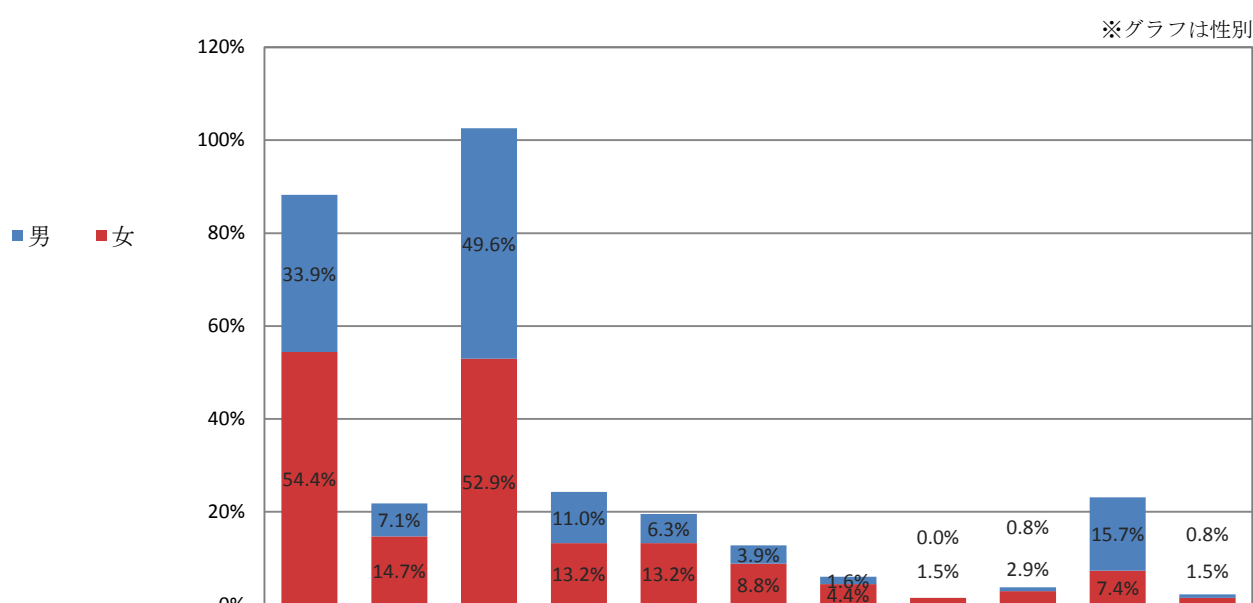


		有効回答者数	現在何か悩みごとを持っていますか											
			金銭面	学習面	クラブ関係	健康上の問題	性格や能力について	就職・将来の進路	友人関係	異性問題	性の問題	家庭の問題	特に悩んでいない	その他
全体		213	50	86	24	18	34	36	17	11	5	9	59	1
			23.5%	40.4%	11.3%	8.5%	16.0%	16.9%	8.0%	5.2%	2.3%	4.2%	27.7%	0.5%
性別	男	130	37	50	14	11	20	20	7	6	3	4	36	1
			28.5%	38.5%	10.8%	8.5%	15.4%	15.4%	5.4%	4.6%	2.3%	3.1%	27.7%	0.8%
	女	69	12	32	10	6	12	14	9	5	2	5	19	0
			17.4%	46.4%	14.5%	8.7%	17.4%	20.3%	13.0%	7.2%	2.9%	7.2%	27.5%	0.0%
学年別	2年	109	22	45	19	8	20	10	10	7	5	7	33	1
			20.2%	41.3%	17.4%	7.3%	18.3%	9.2%	9.2%	6.4%	4.6%	6.4%	30.3%	0.9%
	6年	104	28	41	5	10	14	26	7	4	0	2	26	0
			26.9%	39.4%	4.8%	9.6%	13.5%	25.0%	6.7%	3.8%	0.0%	1.9%	25.0%	0.0%

32. 相談相手（複数回答）－性別－

男性は同級生, 女性は親への相談が最多。

性別相談相手について、男性は同級生49.8%、親33.9%、先輩・後輩11.0%、兄弟7.1%、学外の友人6.3%、女性は親54.4%、同級生52.9%、兄弟14.7%、先輩・後輩13.2%、学外の友人13.2%であり、男性は同級生が最多、女性は親と同級生がほぼ同程度の比率です。男女ともに教員、職員、保健室への回答率は極めて少ないです。

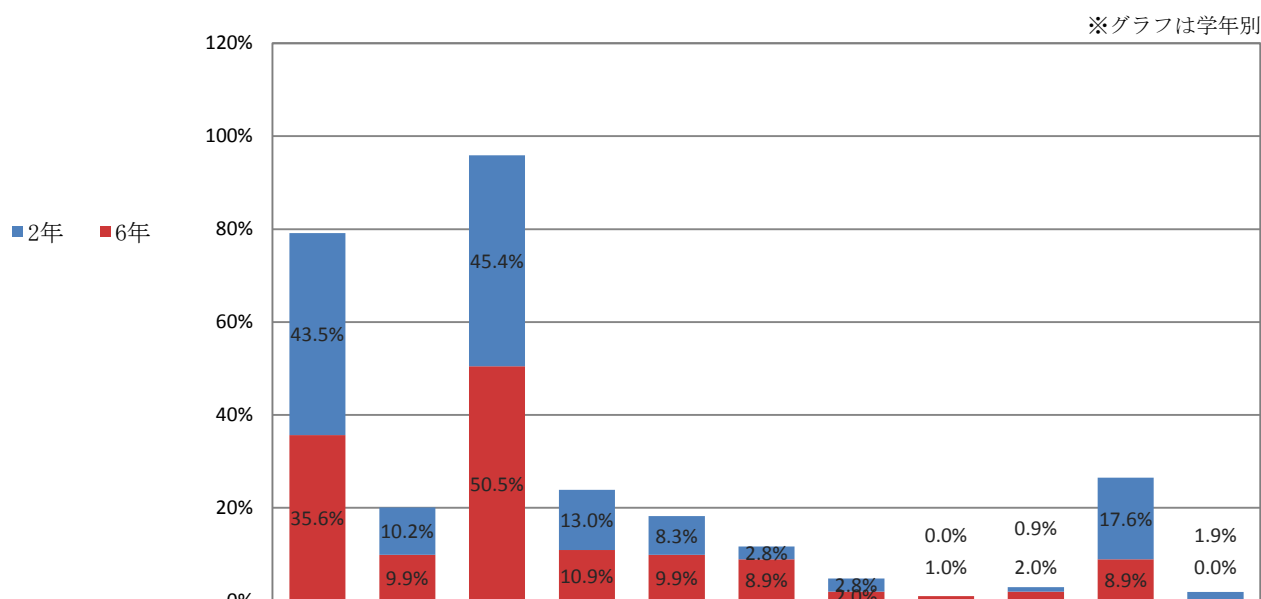


		有効回答者数	学生生活上の悩みや不安、困ったときに相談し易いのはどなたですか										
			親	兄弟	同級生	先輩・後輩	学外の友人	恋人	教員	職員	保健室（カウンセラー含む）	特に相談相手がない	その他
全体		209	83 39.7%	21 10.0%	100 47.8%	25 12.0%	19 9.1%	12 5.7%	5 2.4%	1 0.5%	3 1.4%	28 13.4%	2 1.0%
性別	男	127	43 33.9%	9 7.1%	63 49.6%	14 11.0%	8 6.3%	5 3.9%	2 1.6%	0 0.0%	1 0.8%	20 15.7%	1 0.8%
	女	68	37 54.4%	10 14.7%	36 52.9%	9 13.2%	9 13.2%	6 8.8%	3 4.4%	1 1.5%	2 2.9%	5 7.4%	1 1.5%
学年別	2年	108	47 43.5%	11 10.2%	49 45.4%	14 13.0%	9 8.3%	3 2.8%	3 2.8%	0 0.0%	1 0.9%	19 17.6%	2 1.9%
	6年	101	36 35.6%	10 9.9%	51 50.5%	11 10.9%	10 9.9%	9 8.9%	2 2.0%	1 1.0%	2 2.0%	9 8.9%	0 0.0%

32. 相談相手（複数回答） - 学年別 -

2年6年ともに同級生への相談が最多。

学年別相談相手について、2年は同級生45.4%、親43.5%、先輩・後輩13.0%、兄弟10.2%、学外の友人8.3%、6年は同級生50.5%、親35.6%、先輩・後輩10.9%、兄弟9.9%、学外の友人8.9%であり、いずれも同級生が最多です。6年は親への相談率が2年に比して減っています。2年6年ともに教員、職員、保健室は極めて少ないです。

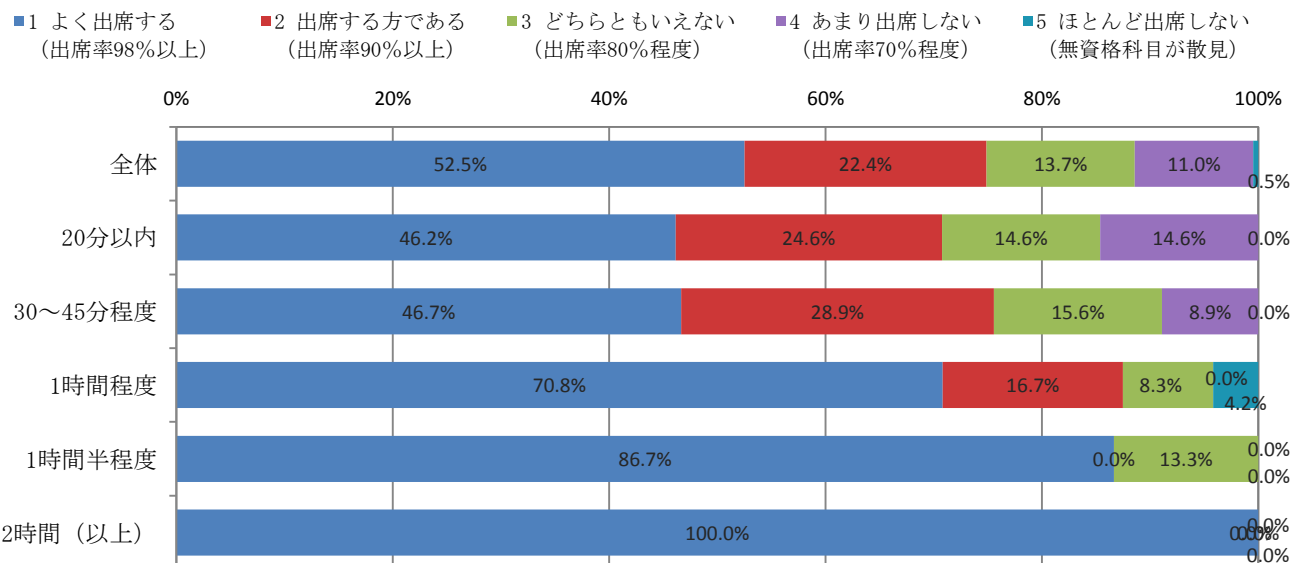


		有効回答者数	学生生活上の悩みや不安、困ったときに相談し易いのはどなたですか										
			親	兄弟	同級生	先輩・後輩	学外の友人	恋人	教員	職員	保健室（カウンセラー含む）	特に相談相手がない	その他
全体		209	83	21	100	25	19	12	5	1	3	28	2
			39.7%	10.0%	47.8%	12.0%	9.1%	5.7%	2.4%	0.5%	1.4%	13.4%	1.0%
性別	男	127	43	9	63	14	8	5	2	0	1	20	1
			33.9%	7.1%	49.6%	11.0%	6.3%	3.9%	1.6%	0.0%	0.8%	15.7%	0.8%
	女	68	37	10	36	9	9	6	3	1	2	5	1
			54.4%	14.7%	52.9%	13.2%	13.2%	8.8%	4.4%	1.5%	2.9%	7.4%	1.5%
学年別	2年	108	47	11	49	14	9	3	3	0	1	19	2
			43.5%	10.2%	45.4%	13.0%	8.3%	2.8%	2.8%	0.0%	0.9%	17.6%	1.9%
	6年	101	36	10	51	11	10	9	2	1	2	9	0
			35.6%	9.9%	50.5%	10.9%	9.9%	8.9%	2.0%	1.0%	2.0%	8.9%	0.0%

3. 授業出席率 × 9. 通学時間別

通学時間が短いほど、出席率が悪い傾向

「あまり出席しない」など出席率が70%程度未満の学生の割合は、通学時間が20分以内では14.6%、30～45分程度では8.9%であったのに対し、通学時間が1時間程度以上では5%未満でした。通学時間の長い学生の多くは自宅生であると予想されますので、自宅生は欠席しない傾向があると言えます。一方、通学時間の短い学生の多くは下宿生と考えられますが、通学時間が20分以内（すなわち、恐らく下宿生）の130名のうち60名の学生は出席率98%以上と回答しており、必ずしも下宿生の全てが欠席しやすい訳ではありません。したがって、下宿生のうち一部の者の出席状況が悪くなっていることが考えられました。

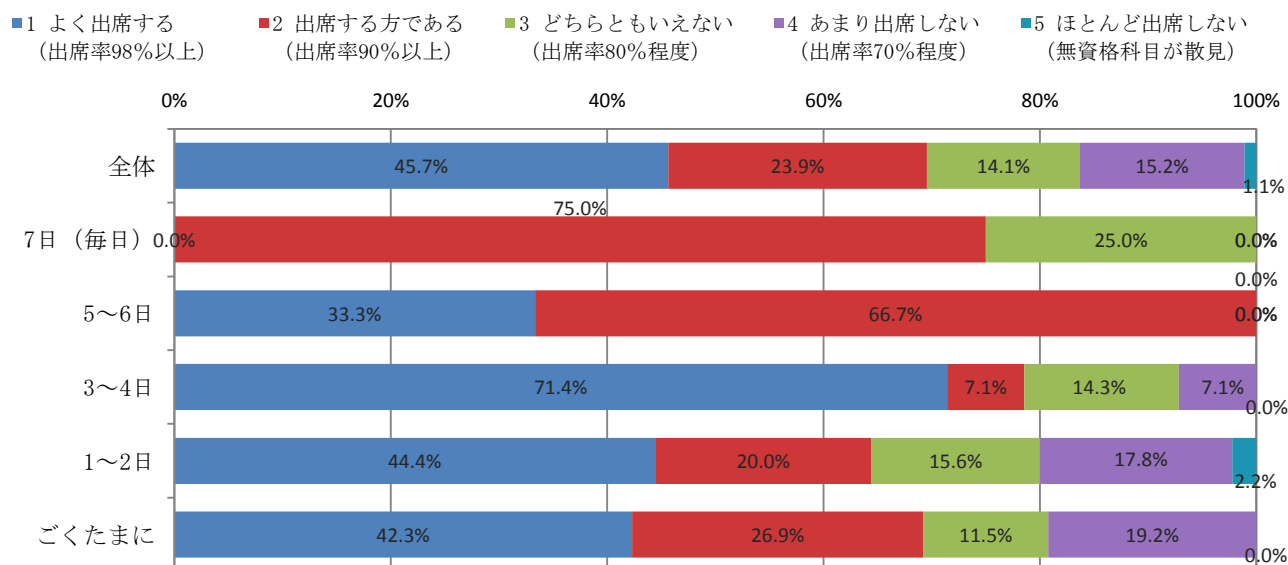


		有効回答者数	授業出席率				
			よく出席する (出席率98%以上)	出席する方である (出席率90%以上)	どちらともいえない (出席率80%程度)	あまり出席しない (出席率70%程度)	ほとんど出席しない (無資格科目が散見)
全体		219	115	49	30	24	1
			52.5%	22.4%	13.7%	11.0%	0.5%
通学時間別	20分以内	130	60	32	19	19	0
			46.2%	24.6%	14.6%	14.6%	0.0%
	30～45分程度	45	21	13	7	4	0
			46.7%	28.9%	15.6%	8.9%	0.0%
	1時間程度	24	17	4	2	0	1
			70.8%	16.7%	8.3%	0.0%	4.2%
	1時間半程度	15	13	0	2	0	0
			86.7%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
	2時間（以上）	2	2	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

3. 授業出席率 × 13. アルバイト日数別

アルバイトをしている学生の方が若干出席率が悪い。

出席率が80%程度未満の学生の割合は、アルバイトをしている学生（92名）では30.4%であったのに対し、全体（219名）では25.2%と、アルバイトをしている学生の方が若干出席率が悪い傾向がありました。アルバイト日数と出席率の間にははっきりとした関係はわかりませんでした。



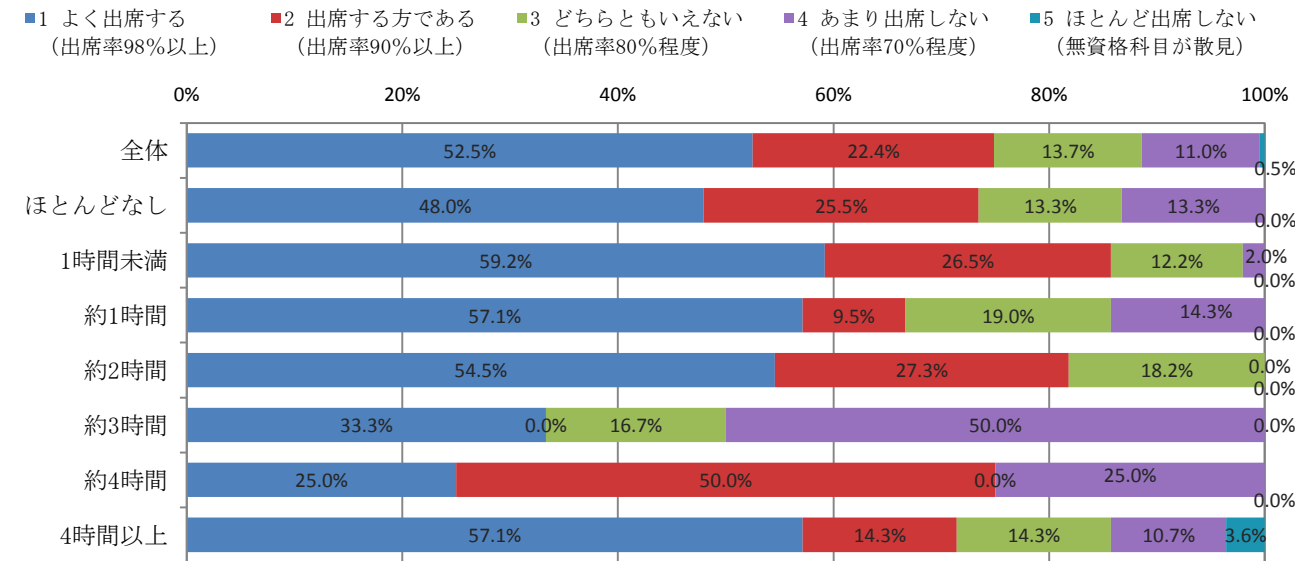
		有効回答者数	授業出席率					
			(よく出席する 98%以上)	(出席する方である 90%以上)	(どちらともいえない 80%程度)	(あまり出席しない 70%程度)	(ほとんど出席しない (無資格科目が散見))	
※アルバイトをしている人のみ回答								
全体		92	42 45.7%	22 23.9%	13 14.1%	14 15.2%	1 1.1%	
アルバイト日数別	7日（毎日）	4	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	5～6日	3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
			33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
	3～4日	14	10 71.4%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	
			71.4%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	
	1～2日	45	20 44.4%	9 20.0%	7 15.6%	8 17.8%	1 2.2%	
			44.4%	20.0%	15.6%	17.8%	2.2%	
ごくたまに	26	11 42.3%	7 26.9%	3 11.5%	5 19.2%	0 0.0%		
		42.3%	26.9%	11.5%	19.2%	0.0%		

※アルバイトをしている人のみ回答

3. 授業出席率 × 20. 予習時間別

予習時間と出席率に関係はない

予習時間がほとんどなし（98名）、1時間未満（49名）の学生における、出席率が80%程度未満と回答した者の割合は、それぞれ26. 6%、14. 2%でした。一方、予習時間が1時間以上の学生70名のうち、出席率が80%程度未満の学生は22名でその割合は31. 4%でした。予習時間は学年とも関係しており、学年も出席率と関係することから、より詳細な分析は学年別を実施する必要があるかもしれません。

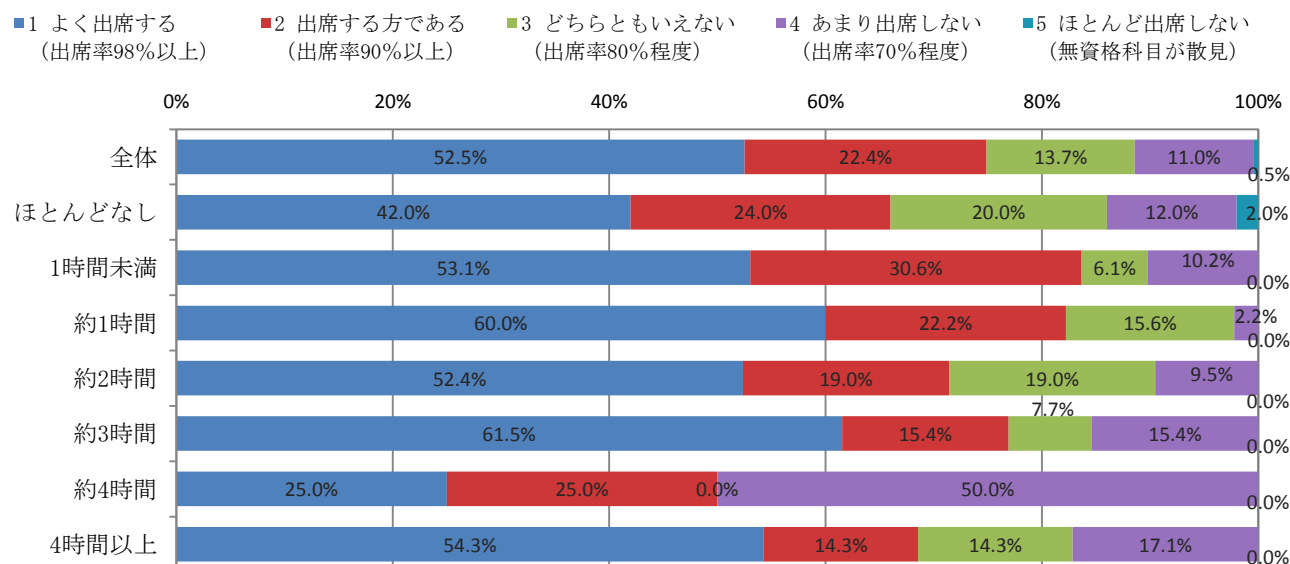


		有効回答者数	授業出席率				
			よく出席する (出席率98%以上)	出席する方である (出席率90%以上)	どちらともいえない (出席率80%程度)	あまり出席しない (出席率70%程度)	ほとんど出席しない (無資格科目が散見)
全体		219	115	49	30	24	1
			52.5%	22.4%	13.7%	11.0%	0.5%
予習時間別	ほとんどなし	98	47	25	13	13	0
			48.0%	25.5%	13.3%	13.3%	0.0%
	1時間未満	49	29	13	6	1	0
			59.2%	26.5%	12.2%	2.0%	0.0%
	約1時間	21	12	2	4	3	0
			57.1%	9.5%	19.0%	14.3%	0.0%
	約2時間	11	6	3	2	0	0
			54.5%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%
	約3時間	6	2	0	1	3	0
			33.3%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%
	約4時間	4	1	2	0	1	0
			25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%
4時間以上	28	16	4	4	3	1	
		57.1%	14.3%	14.3%	10.7%	3.6%	

3. 授業出席率 × 21. 復習時間別

復習時間と出席率に関係はない

復習時間がほとんどなし、または1時間未満の学生99名のうち、出席率が80%程度未満の学生は24名と約24%でした。一方、復習時間が1時間以上の学生120名のうち、出席率が80%程度未満の学生は30名で、その割合は25%でした。復習時間は学年とも関係することから、より詳細については学年を考慮した分析が必要と考えられました。

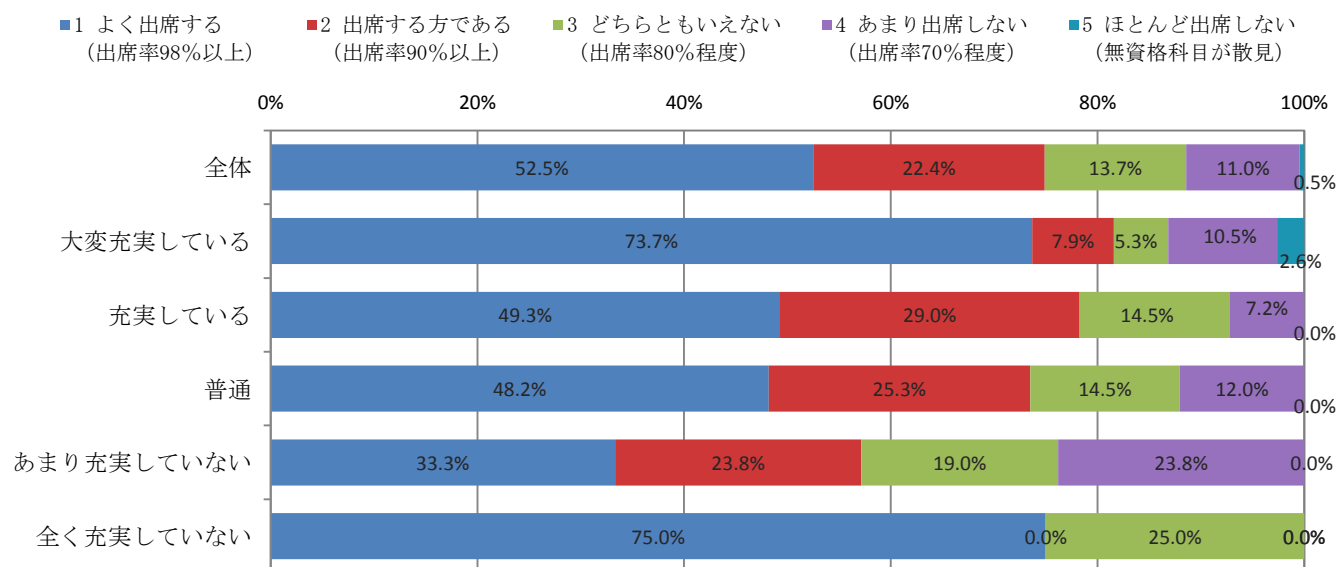


		有効回答者数	授業出席率				
			よく出席する (出席率98%以上)	出席する方である (出席率90%以上)	どちらともいえない (出席率80%程度)	あまり出席しない (出席率70%程度)	ほとんど出席しない (無資格科目が散見)
全体		219	115	49	30	24	1
			52.5%	22.4%	13.7%	11.0%	0.5%
復習時間別	ほとんどなし	50	21	12	10	6	1
			42.0%	24.0%	20.0%	12.0%	2.0%
	1時間未満	49	26	15	3	5	0
			53.1%	30.6%	6.1%	10.2%	0.0%
	約1時間	45	27	10	7	1	0
			60.0%	22.2%	15.6%	2.2%	0.0%
	約2時間	21	11	4	4	2	0
			52.4%	19.0%	19.0%	9.5%	0.0%
	約3時間	13	8	2	1	2	0
			61.5%	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%
	約4時間	4	1	1	0	2	0
			25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	4時間以上	35	19	5	5	6	0
			54.3%	14.3%	14.3%	17.1%	0.0%

3. 授業出席率 × 4. 学習面での充実度別

学習面で大変充実している学生におけるよく出席する者の割合は高い

学習面で大変充実している学生38名中、授業によく出席する（出席率98%以上）者の割合は73.7%と、充実している、普通、あまり充実していない学生におけるよく出席する者の割合（それぞれ49.3%、48.2%、33.3%）より高かったです。

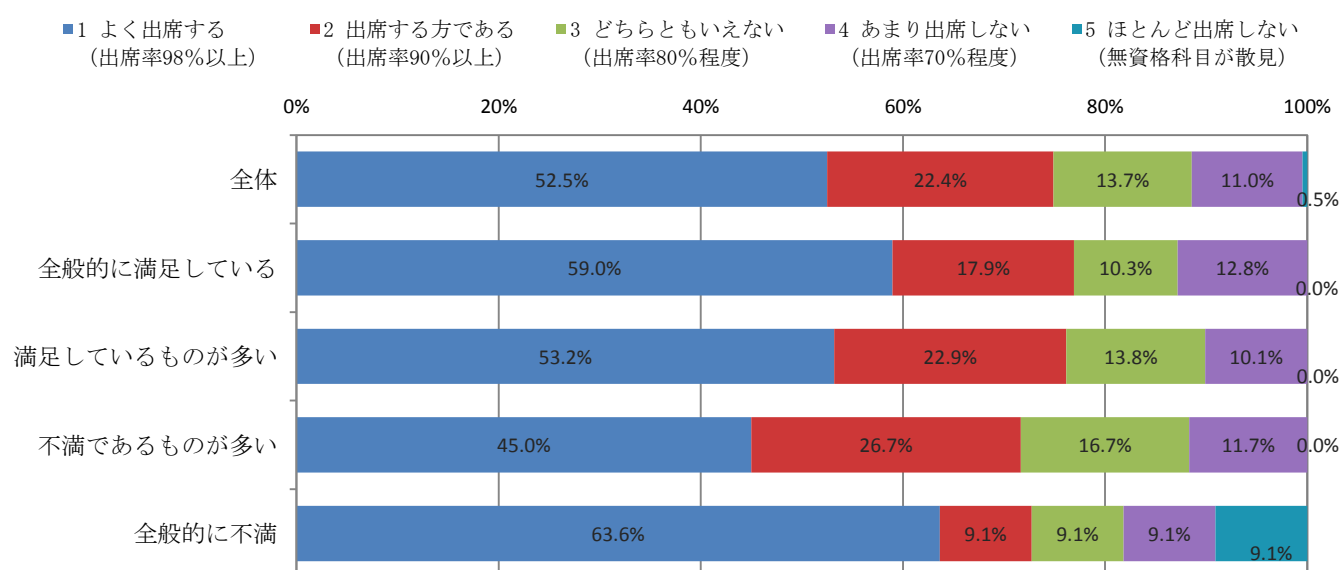


		有効回答者数	授業出席率				
			よく出席する (出席率98%以上)	出席する方である (出席率90%以上)	どちらともいえない (出席率80%程度)	あまり出席しない (出席率70%程度)	ほとんど出席しない (無資格科目が散見)
全体		219	115	49	30	24	1
			52.5%	22.4%	13.7%	11.0%	0.5%
学習面での充実度別	大変充実している	38	28	3	2	4	1
			73.7%	7.9%	5.3%	10.5%	2.6%
	充実している	69	34	20	10	5	0
			49.3%	29.0%	14.5%	7.2%	0.0%
	普通	83	40	21	12	10	0
			48.2%	25.3%	14.5%	12.0%	0.0%
	あまり充実していない	21	7	5	4	5	0
			33.3%	23.8%	19.0%	23.8%	0.0%
全く充実していない	8	6	0	2	0	0	
		75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	

3. 授業出席率 × 25. 講義実習満足度別

講義実習に概ね満足かつ出席率90%以上の学生が過半数

有効回答数219名のうち、講義実習の満足度が「全般的に満足」または「満足しているものが多い」で、出席率が90%以上の学生は合計113名で51.6%でした。一方、出席率が98%以上の学生115名のうち、講義実習の満足度が「全般的に満足」、「満足しているものが多い」と回答した者はそれぞれ23名、58名の計81名、70.4%でした。

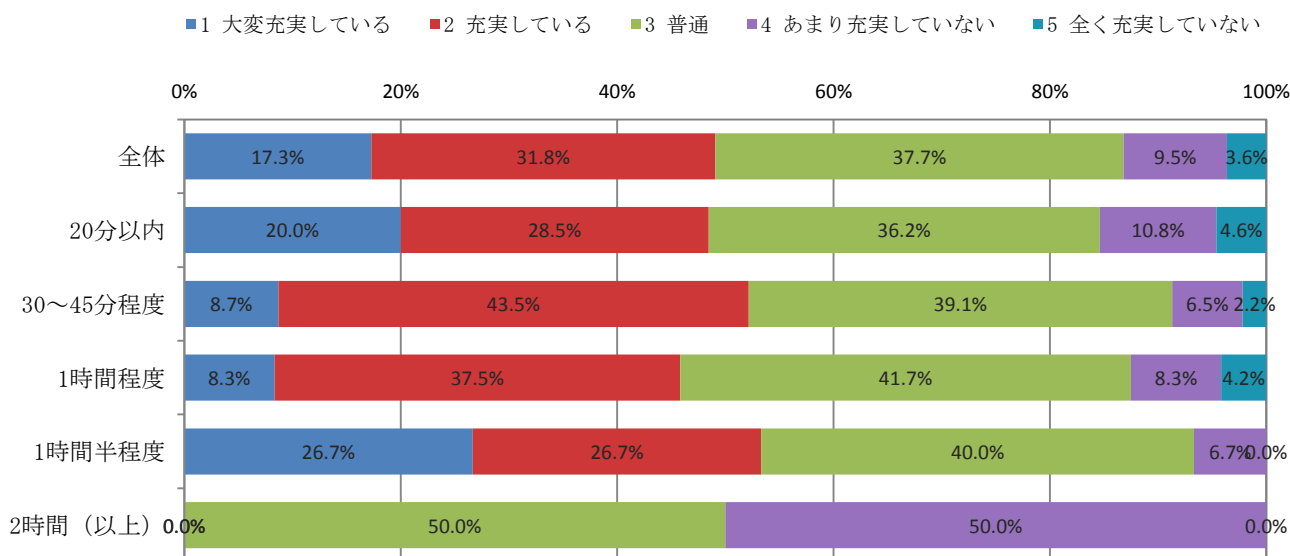


		有効回答者数	授業出席率				
			よく出席する (出席率98%以上)	出席する方である (出席率90%以上)	どちらともいえない (出席率80%程度)	あまり出席しない (出席率70%程度)	ほとんど出席しない (無資格科目が散見)
全体		219	115	49	30	24	1
			52.5%	22.4%	13.7%	11.0%	0.5%
講義実習満足度別	全般的に満足している	39	23	7	4	5	0
			59.0%	17.9%	10.3%	12.8%	0.0%
	満足しているものが多い	109	58	25	15	11	0
			53.2%	22.9%	13.8%	10.1%	0.0%
	不満であるものが多い	60	27	16	10	7	0
			45.0%	26.7%	16.7%	11.7%	0.0%
	全般的に不満	11	7	1	1	1	1
63.6%			9.1%	9.1%	9.1%	9.1%	

4. 学習面での充実度 × 9. 通学時間別

通学時間が20分以内の学生の学習面での充実度は二極化

通学時間が20分以内、すなわち下宿していると考えられる学生の学習面での充実度は、「大変充実している」が20.0%、「あまり充実していない」または「全く充実していない」が計15.4%とそれぞれ、通学時間が30～1時間の学生に比べ高く、二極化している可能性があると推察されました。

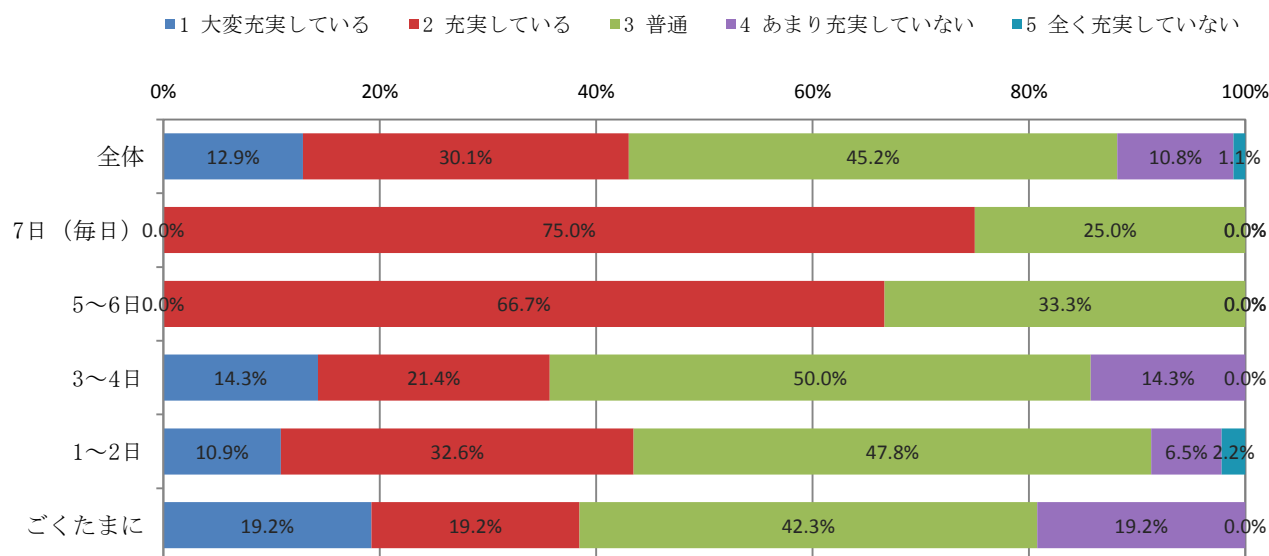


		有効回答者数	学習面での充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	38	70	83	21	8
			17.3%	31.8%	37.7%	9.5%	3.6%
通学時間別	20分以内	130	26	37	47	14	6
			20.0%	28.5%	36.2%	10.8%	4.6%
	30～45分程度	46	4	20	18	3	1
			8.7%	43.5%	39.1%	6.5%	2.2%
	1時間程度	24	2	9	10	2	1
			8.3%	37.5%	41.7%	8.3%	4.2%
	1時間半程度	15	4	4	6	1	0
			26.7%	26.7%	40.0%	6.7%	0.0%
2時間（以上）	2	0	0	1	1	0	
		0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

4. 学習面での充実度 × 13. アルバイト日数別

アルバイトをしている学生の学習面充実度はやや低め

アルバイトをしている学生全体（93名）で学習面で大変充実していると回答した者は12名（12.9%）で、全回答者（219名）におけるその割合（38名、17.3%）よりやや低い値でした。アルバイトの日数と学習面での充実度にははっきりとした関連性は認められませんでした。



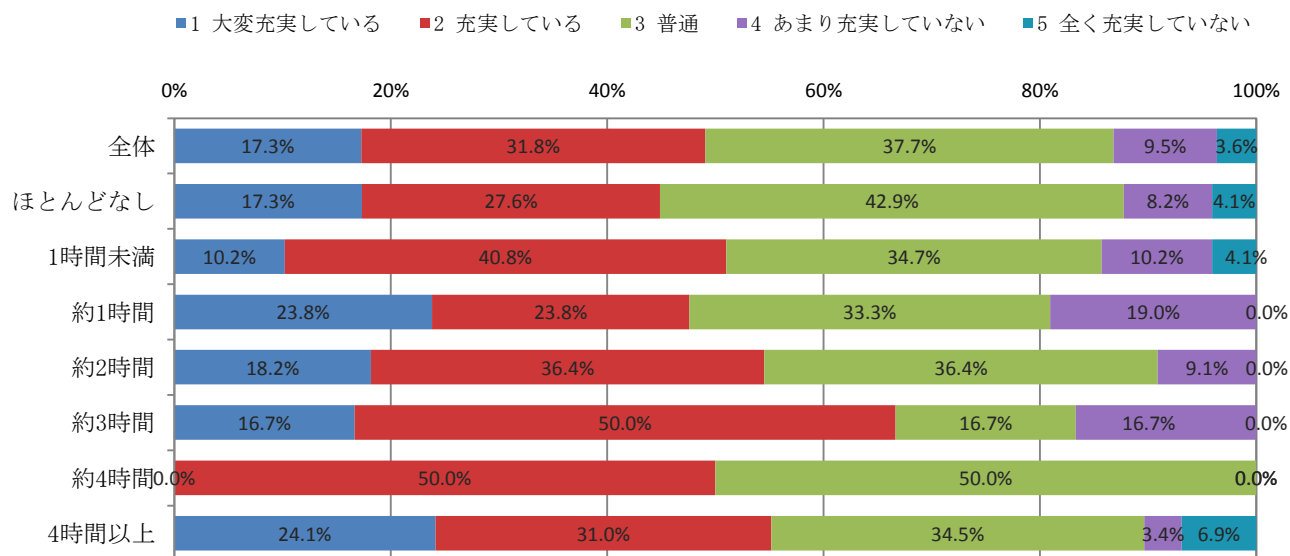
		有効回答者数	学習面での充実度					
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない	
※アルバイトをしている人のみ回答								
全体		93	12	28	42	10	1	
			12.9%	30.1%	45.2%	10.8%	1.1%	
アルバイト日数別	7日（毎日）	4	0	3	1	0	0	
			0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
	5～6日	3	0	2	1	0	0	
			0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	
	3～4日	14	2	3	7	2	0	
			14.3%	21.4%	50.0%	14.3%	0.0%	
	1～2日	46	5	15	22	3	1	
			10.9%	32.6%	47.8%	6.5%	2.2%	
ごくたまに	26	5	5	11	5	0		
		19.2%	19.2%	42.3%	19.2%	0.0%		

※アルバイトをしている人のみ回答

4. 学習面での充実度 × 20. 予習時間別

予習時間と学習面での充実度に明確な関連なし

予習時間「1時間未満」または「ほとんどなし」の計147名中、学習面で「大変充実している」は22名（15.0%）、「充実している」は47名（32.0%）、「普通」は59名（40.1%）でした。この割合は対象者全体での割合とほとんど同じでした。

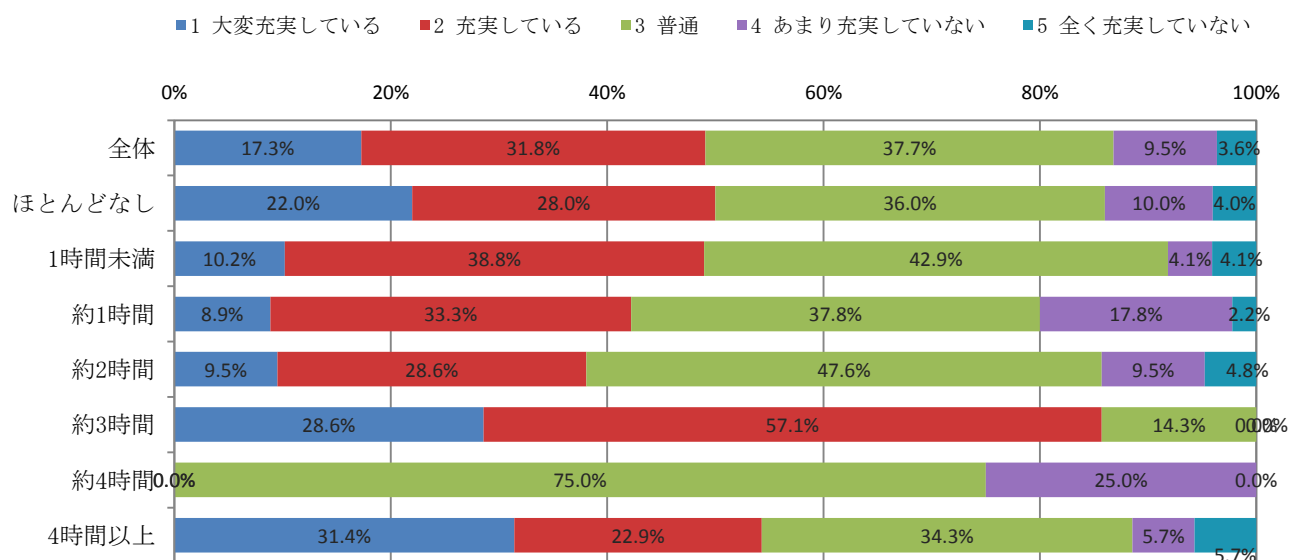


		有効回答者数	学習面での充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	38	70	83	21	8
			17.3%	31.8%	37.7%	9.5%	3.6%
予習時間別	ほとんどなし	98	17	27	42	8	4
			17.3%	27.6%	42.9%	8.2%	4.1%
	1時間未満	49	5	20	17	5	2
			10.2%	40.8%	34.7%	10.2%	4.1%
	約1時間	21	5	5	7	4	0
			23.8%	23.8%	33.3%	19.0%	0.0%
	約2時間	11	2	4	4	1	0
			18.2%	36.4%	36.4%	9.1%	0.0%
	約3時間	6	1	3	1	1	0
			16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%
	約4時間	4	0	2	2	0	0
			0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	4時間以上	29	7	9	10	1	2
			24.1%	31.0%	34.5%	3.4%	6.9%

4. 学習面での充実度 × 21. 復習時間別

復習時間と学習面での充実度に明確な関連なし

復習時間が「1時間未満」、「ほとんどなし」の計99名中、学習面で「大変充実している」、「充実している」の者は計49名で49.4%でした。一方、復習時間が1時間以上の計121名中、学習面で「大変充実している」、「充実している」の者は計58名で47.9%でした。

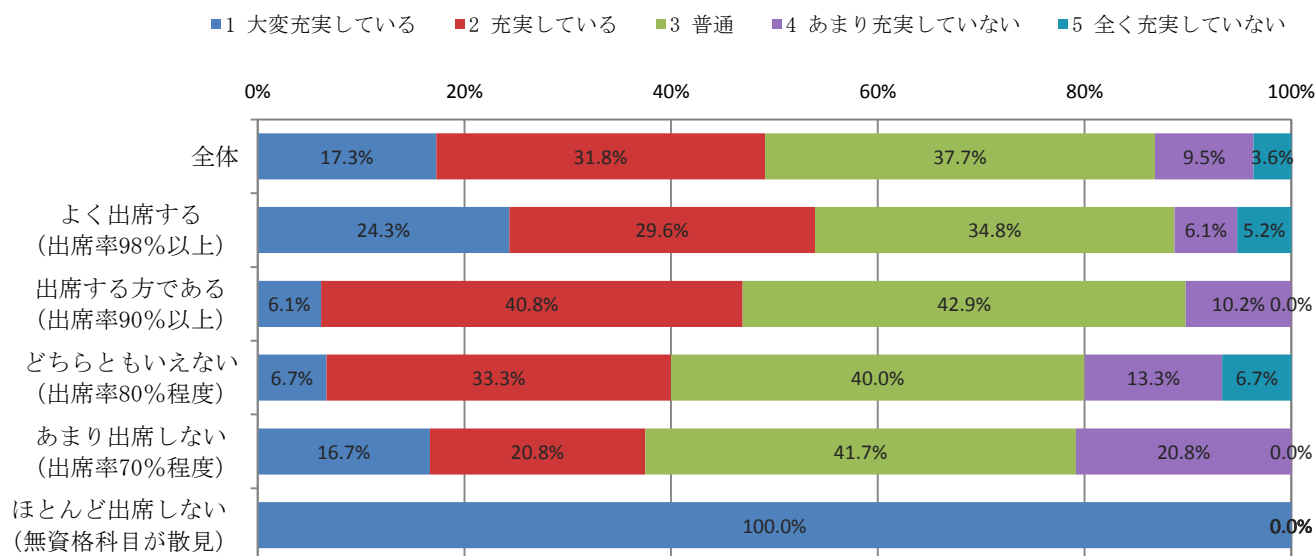


		有効回答者数	学習面での充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	38 17.3%	70 31.8%	83 37.7%	21 9.5%	8 3.6%
復習時間別	ほとんどなし	50	11 22.0%	14 28.0%	18 36.0%	5 10.0%	2 4.0%
			1時間未満	49	5 10.2%	19 38.8%	21 42.9%
	約1時間	45			4 8.9%	15 33.3%	17 37.8%
			約2時間	21	2 9.5%	6 28.6%	10 47.6%
	約3時間	14			4 28.6%	8 57.1%	2 14.3%
			約4時間	4	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%
	4時間以上	35			11 31.4%	8 22.9%	12 34.3%

4. 学習面での充実度 × 3. 授業出席率別

良く出席する学生の学習面での充実度は他の出席率の学生に比べ高い

よく出席する学生115名において、学習面の充実度は普通（40名、34.8%）、充実している（34名、30.0%）、大変充実している（28名、24.3%）の順に割合が高く、他の出席率の学生に比べ「大変充実している」の割合は高いですが、よく出席する学生全員の充実度が必ずしも大変充実しているわけではないこともわかりました。

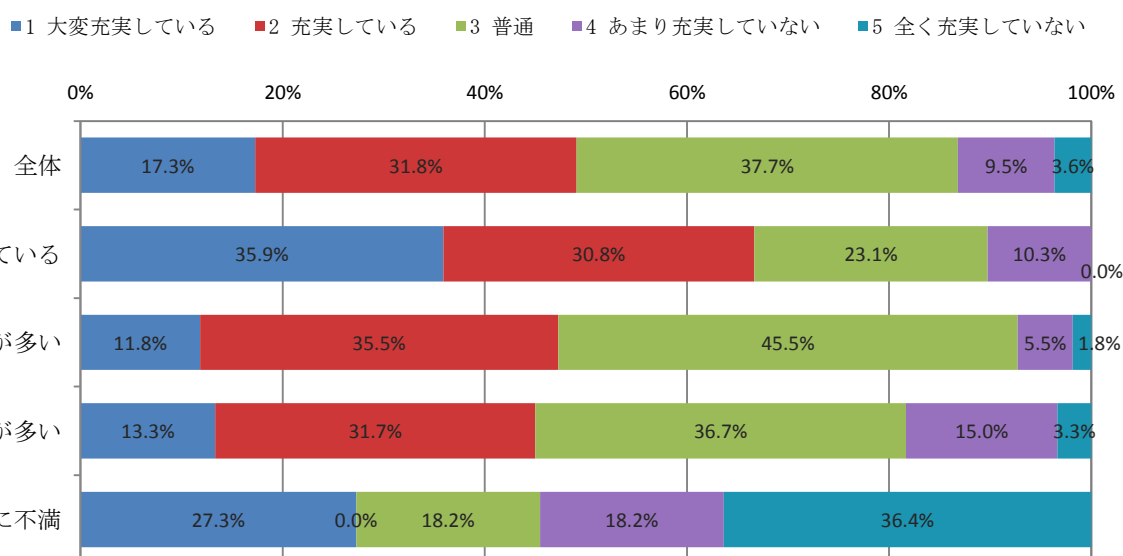


		有効回答者数	学習面での充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	38	70	83	21	8
			17.3%	31.8%	37.7%	9.5%	3.6%
授業出席率別	よく出席する (出席率98%以上)	115	28	34	40	7	6
			24.3%	29.6%	34.8%	6.1%	5.2%
	出席する方である (出席率90%以上)	49	3	20	21	5	0
			6.1%	40.8%	42.9%	10.2%	0.0%
	どちらともいえない (出席率80%程度)	30	2	10	12	4	2
			6.7%	33.3%	40.0%	13.3%	6.7%
	あまり出席しない (出席率70%程度)	24	4	5	10	5	0
			16.7%	20.8%	41.7%	20.8%	0.0%
ほとんど出席しない (無資格科目が散見)	1	1	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

4. 学習面での充実度 × 25. 講義・実習満足度

学習面での充実度の高さと講義実習満足度の高さには関連がある

講義実習に「全般的に満足している」学生39名のうち、学習面での充実度が「大変充実している」者は14名でその割合は35.9%と他の講義実習満足度の学生より高い値でした。一方、講義実習に「全般的に不満」と回答した学生11名中、学習面での充実度が「全く充実していない」と回答した者は4名（36.4%）と他の講義実習満足度におけるその割合より高い傾向が認められました。

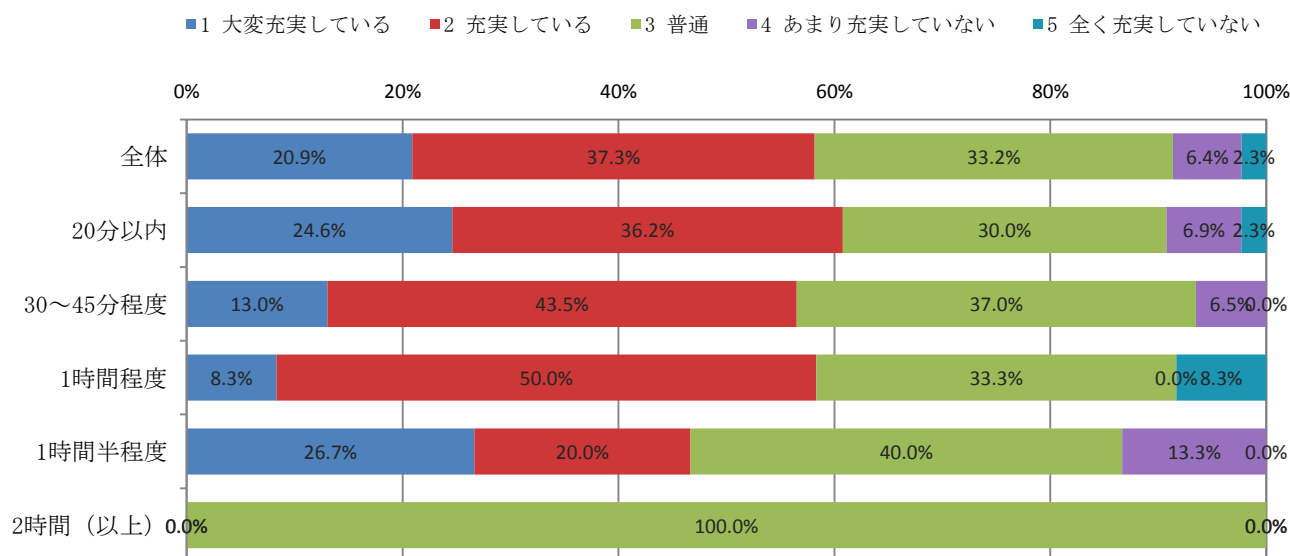


		有効回答者数	学習面での充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	38 17.3%	70 31.8%	83 37.7%	21 9.5%	8 3.6%
講義・実習満足度	全般的に満足している	39	14 35.9%	12 30.8%	9 23.1%	4 10.3%	0 0.0%
			満足しているものが多い	110	13 11.8%	39 35.5%	50 45.5%
	不満であるものが多い	60			8 13.3%	19 31.7%	22 36.7%
			全般的に不満	11	3 27.3%	0 0.0%	2 18.2%

5. クラブ学外充実度 × 9. 通学時間別

通学時間とクラブ活動や学外での活動の充実度は相関なし。

全体としてクラブや学外活動に対する充実度は高いようです。通学時間が1時間半を超えると、充実度が「充実している」または「大変充実している」という回答が5割を切りますが、通学時間が長い学生数は多くないため、これ以上の厳密な評価は困難でした。



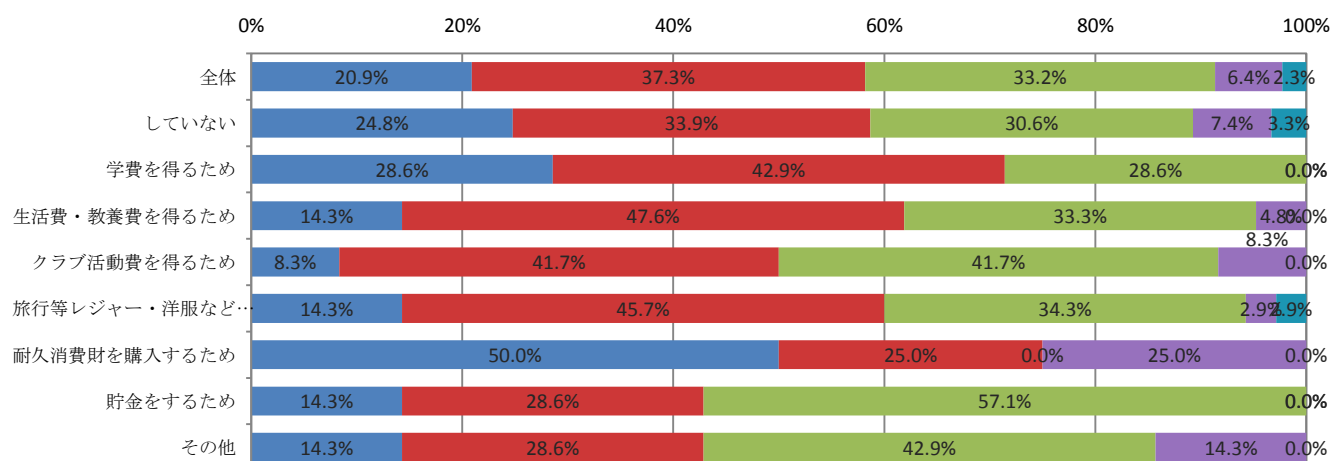
		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	46	82	73	14	5
			20.9%	37.3%	33.2%	6.4%	2.3%
通学時間別	20分以内	130	32	47	39	9	3
			24.6%	36.2%	30.0%	6.9%	2.3%
	30～45分程度	46	6	20	17	3	0
			13.0%	43.5%	37.0%	6.5%	0.0%
	1時間程度	24	2	12	8	0	2
			8.3%	50.0%	33.3%	0.0%	8.3%
	1時間半程度	15	4	3	6	2	0
			26.7%	20.0%	40.0%	13.3%	0.0%
2時間（以上）	2	0	0	2	0	0	
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

5. クラブ学外充実度 × 12. アルバイト有無目的別

アルバイトの目的とクラブや学外活動の充実度は学費目的のグループに正の相関。

アルバイトをしている集団の中で学費のためにしている学生は7人と少ないながらも、クラブや学外活動の充実度が高い傾向があるのは、忍耐ゆえの発散の喜びを表しているかもしれません。それ以外は特に明らかな関連は認められません。

■ 1 大変充実している ■ 2 充実している ■ 3 普通 ■ 4 あまり充実していない ■ 5 全く充実していない

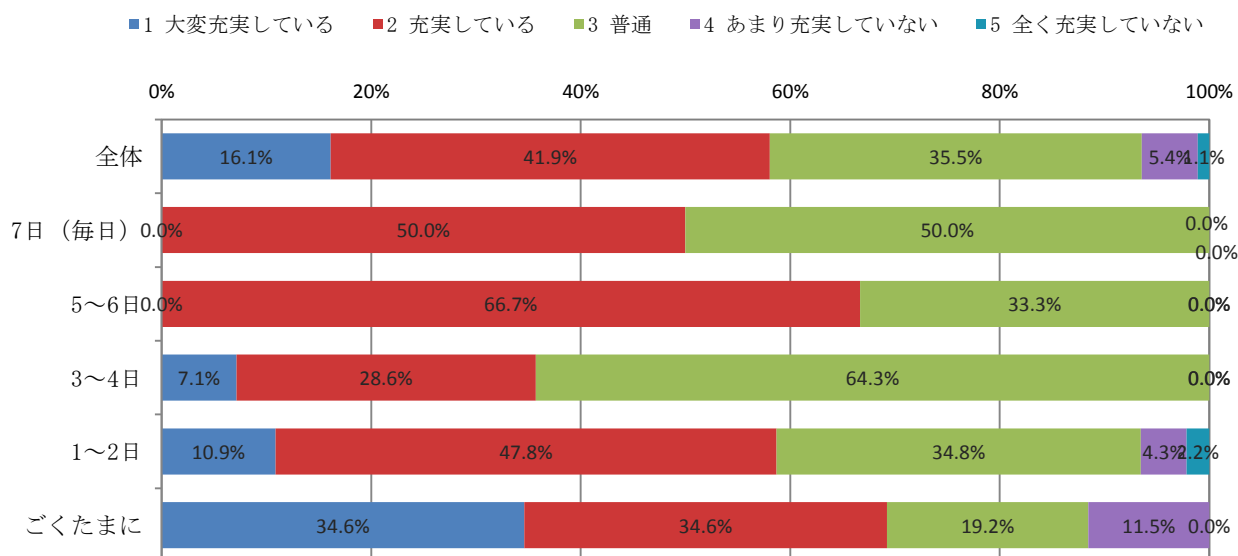


		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	46	82	73	14	5
			20.9%	37.3%	33.2%	6.4%	2.3%
アルバイト有無目的別	していない	121	30	41	37	9	4
			24.8%	33.9%	30.6%	7.4%	3.3%
	学費を得るため	7	2	3	2	0	0
			28.6%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%
	生活費・教養費を得るため	21	3	10	7	1	0
			14.3%	47.6%	33.3%	4.8%	0.0%
	クラブ活動費を得るため	12	1	5	5	1	0
			8.3%	41.7%	41.7%	8.3%	0.0%
	旅行等レジャー・洋服などの資金を得るため	35	5	16	12	1	1
			14.3%	45.7%	34.3%	2.9%	2.9%
	耐久消費財を購入するため	4	2	1	0	1	0
			50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	貯金をするため	7	1	2	4	0	0
			14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%
	その他	7	1	2	3	1	0
			14.3%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%

5. クラブ学外充実度 × 13. アルバイト日数別

アルバイトの日数と学外活動充実度の相関は不明。

アルバイトの日数とクラブや学外活動の充実度は、アルバイトをしている学生の総数が少なく、またその多くも週に2日以下の日数となっているため、クラブや学外活動との関連についての評価は困難と考えられました。



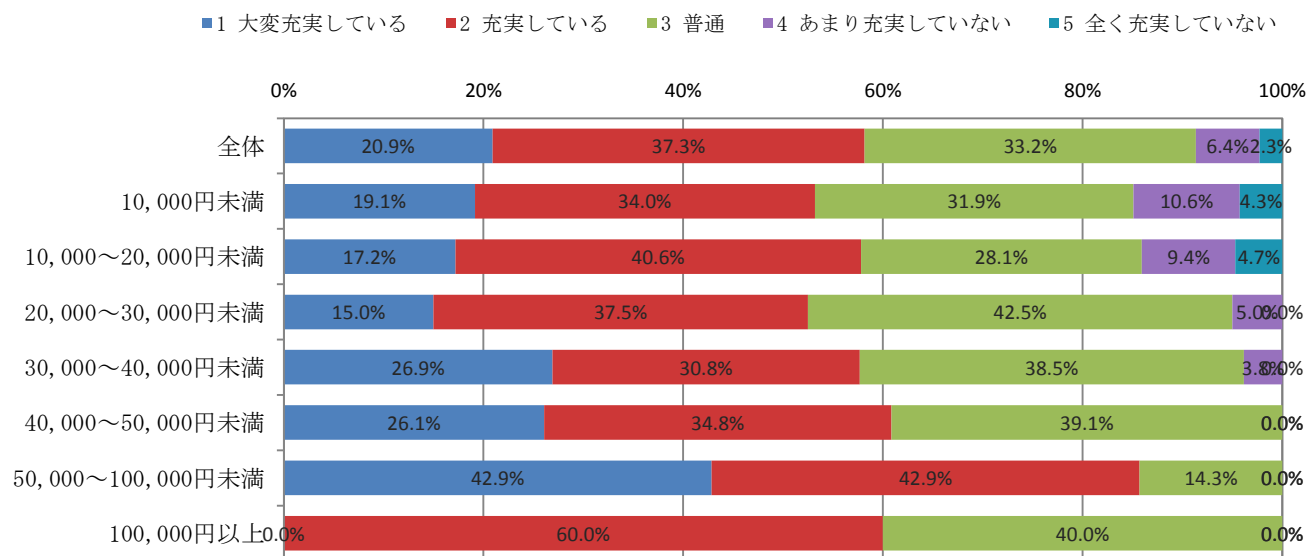
		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
※アルバイトをしている人のみ回答							
全体		93	15	39	33	5	1
			16. 1%	41. 9%	35. 5%	5. 4%	1. 1%
アルバイト日数別	7日（毎日）	4	0	2	2	0	0
			0. 0%	50. 0%	50. 0%	0. 0%	0. 0%
	5～6日	3	0	2	1	0	0
			0. 0%	66. 7%	33. 3%	0. 0%	0. 0%
	3～4日	14	1	4	9	0	0
			7. 1%	28. 6%	64. 3%	0. 0%	0. 0%
	1～2日	46	5	22	16	2	1
			10. 9%	47. 8%	34. 8%	4. 3%	2. 2%
ごくたまに	26	9	9	5	3	0	
		34. 6%	34. 6%	19. 2%	11. 5%	0. 0%	

※アルバイトをしている人のみ回答

5. クラブ学外充実度 × 10. お小遣い額別

お小遣いの額と学外活動充実度は一定の正の相関。

お小遣いの額とクラブや学外活動の充実度には、正の相関が認められました。



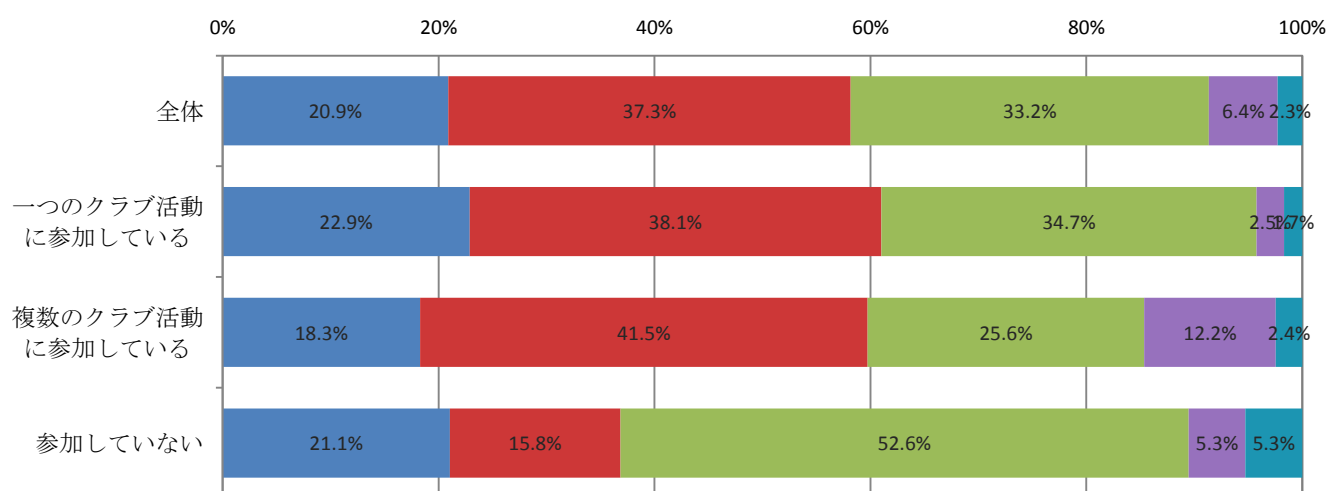
		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	46 20.9%	82 37.3%	73 33.2%	14 6.4%	5 2.3%
お小遣い額別	10,000円未満	47	9 19.1%	16 34.0%	15 31.9%	5 10.6%	2 4.3%
			10,000～20,000円未満	64	11 17.2%	26 40.6%	18 28.1%
	20,000～30,000円未満	40			6 15.0%	15 37.5%	17 42.5%
			30,000～40,000円未満	26	7 26.9%	8 30.8%	10 38.5%
	40,000～50,000円未満	23			6 26.1%	8 34.8%	9 39.1%
			50,000～100,000円未満	14	6 42.9%	6 42.9%	2 14.3%
	100,000円以上	5			0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%

5. クラブ学外充実度 × 16. クラブ活動参加有無別

クラブ所属と学外活動充実度は正の相関。

クラブに所属しないグループのクラブや学外活動の充実度は低い傾向があり、クラブへの所属がクラブや学外活動の充実度と関連しているものと思われます。所属クラブの数と充実度には明らかな違いは認めません。

■ 1 大変充実している ■ 2 充実している ■ 3 普通 ■ 4 あまり充実していない ■ 5 全く充実していない

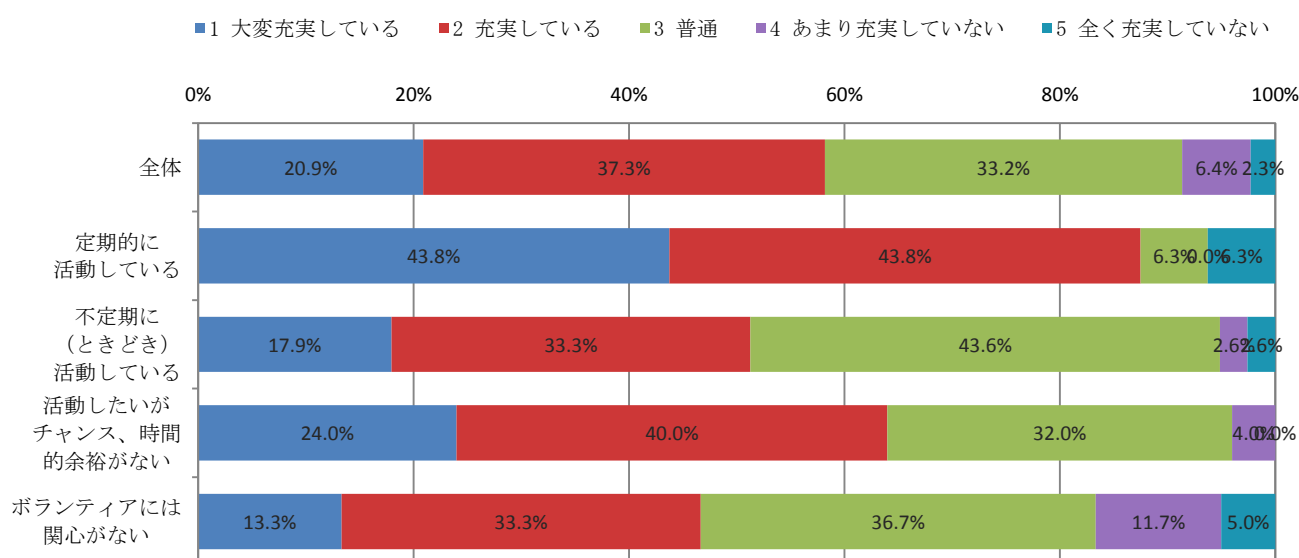


		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	46	82	73	14	5
			20.9%	37.3%	33.2%	6.4%	2.3%
クラブ活動参加有無別	一つのクラブ活動に参加している	118	27	45	41	3	2
			22.9%	38.1%	34.7%	2.5%	1.7%
	複数のクラブ活動に参加している	82	15	34	21	10	2
			18.3%	41.5%	25.6%	12.2%	2.4%
	参加していない	19	4	3	10	1	1
			21.1%	15.8%	52.6%	5.3%	5.3%

5. クラブ学外充実度 × 19. ボランティア活動参加有無

ボランティア活動と学外活動充実度は限定的ながら正の相関。

ボランティア活動とクラブや学外活動充実度の関連をみると、定期的にボランティア活動を行っているグループは16人と人数が少ないながらもクラブや学外活動の充実度が高い傾向が認められました。定期的な活動はその者の意欲の高さとも関連すると考えられ、元々の関心の強さが背景にある可能性もあると思われます。

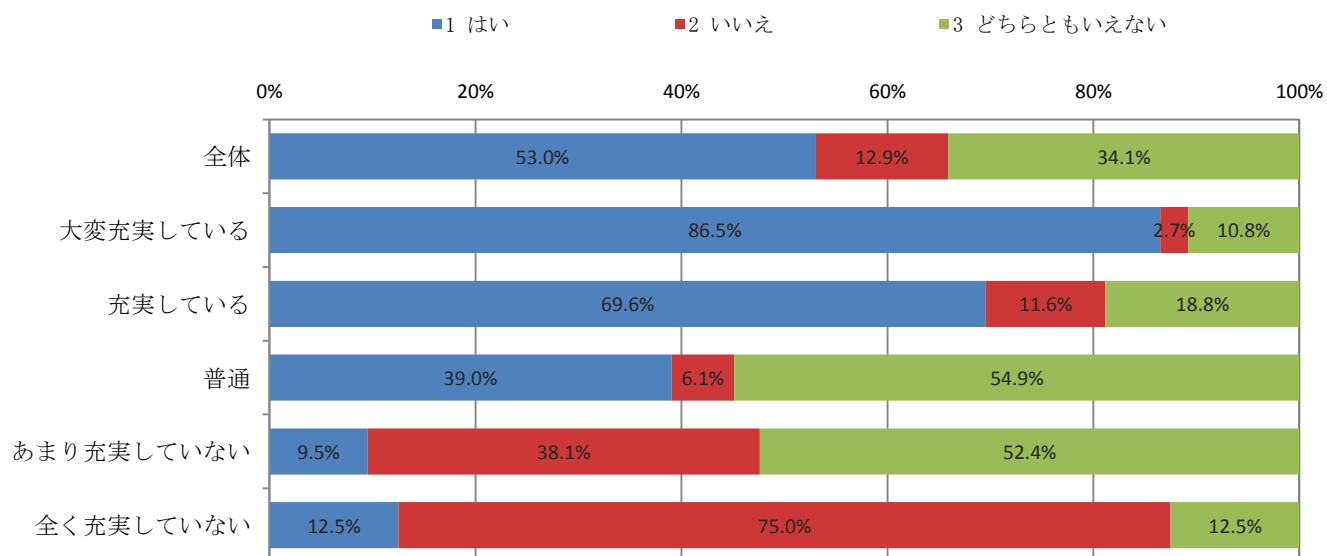


		有効回答者数	クラブ学外充実度				
			大変充実している	充実している	普通	あまり充実していない	全く充実していない
全体		220	46	82	73	14	5
			20.9%	37.3%	33.2%	6.4%	2.3%
ボランティア活動参加有無	定期的に活動している	16	7	7	1	0	1
			43.8%	43.8%	6.3%	0.0%	6.3%
	不定期に（ときどき）活動している	39	7	13	17	1	1
			17.9%	33.3%	43.6%	2.6%	2.6%
	活動したいがチャンス、時間的余裕がない	75	18	30	24	3	0
			24.0%	40.0%	32.0%	4.0%	0.0%
	ボランティアには関心がない	60	8	20	22	7	3
			13.3%	33.3%	36.7%	11.7%	5.0%

6. 総合満足度 × 4. 学習面での充実度別

学習面での充実度と総合満足度はかなり高い正の相関。

学習面での充実度と総合的な学生生活の充実度にはかなり高い正の相関が認められ、勉学での達成感を求めている傾向がみられます。

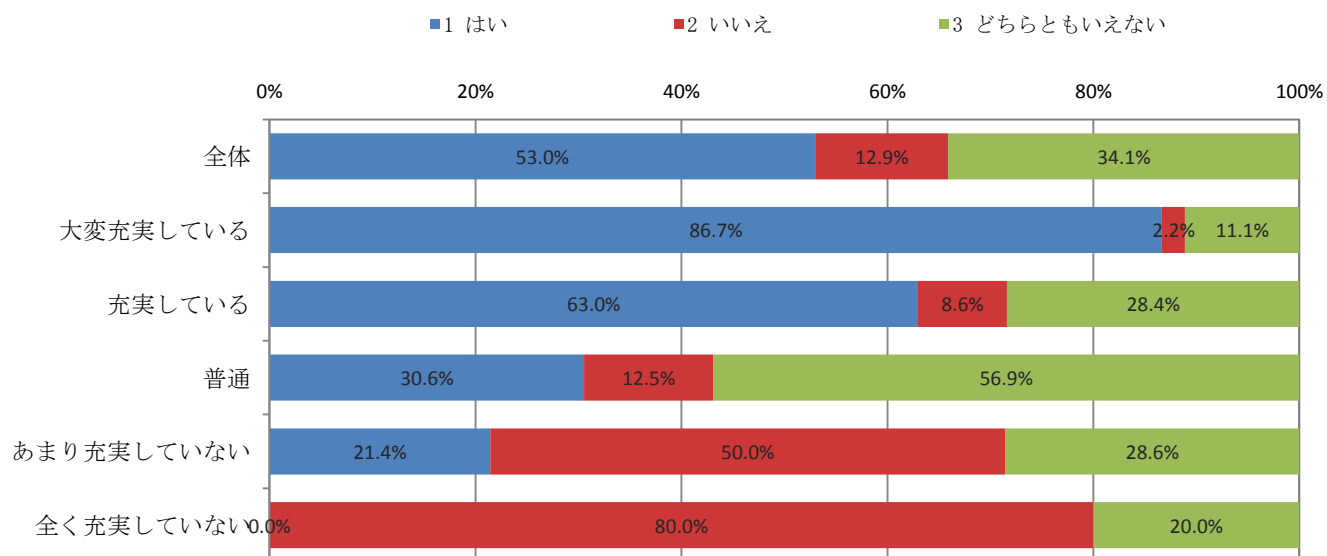


		有効回答者数	総合満足度		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		217	115	28	74
			53.0%	12.9%	34.1%
学習面での充実度別	大変充実している	37	32	1	4
			86.5%	2.7%	10.8%
	充実している	69	48	8	13
			69.6%	11.6%	18.8%
	普通	82	32	5	45
			39.0%	6.1%	54.9%
	あまり充実していない	21	2	8	11
			9.5%	38.1%	52.4%
全く充実していない	8	1	6	1	
		12.5%	75.0%	12.5%	

6. 総合満足度 × 5. クラブ等での充実度別

クラブ等での充実度と総合満足度はかなり高い正の相関。

クラブや学外活動での充実度と総合的な学生生活の満足度にもかなり高い正の相関が認められ、学生生活の満足度を向上させていくためには、クラブ活動面での充実度なども重視していく必要があると言えます。



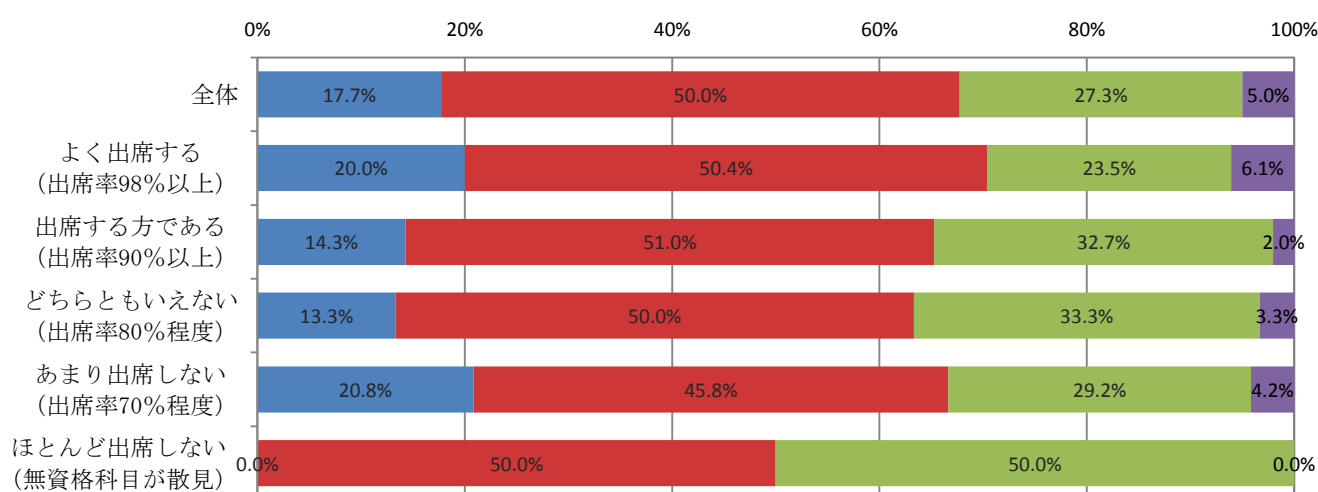
		有効回答者数	総合満足度		
			はい	いいえ	どちらともいえない
全体		217	115 53.0%	28 12.9%	74 34.1%
クラブ等での充実度別	大変充実している	45	39 86.7%	1 2.2%	5 11.1%
			充実している	81	51 63.0%
	普通	72			22 30.6%
			あまり充実していない	14	3 21.4%
	全く充実していない	5			0 0.0%

25. 講義実習満足度 × 3. 授業出席率別

授業出席率と講義実習満足度は相関なし。

授業への出席率と講義実習の満足度は、ほとんど出席しない学生で不満であるものが多い者が多い傾向はありますが、それ以外の出席率と満足度には明確な関連は認められませんでした。

■1 全般的に満足している ■2 満足しているものが多い ■3 不満であるものが多い ■4 全般的に不満



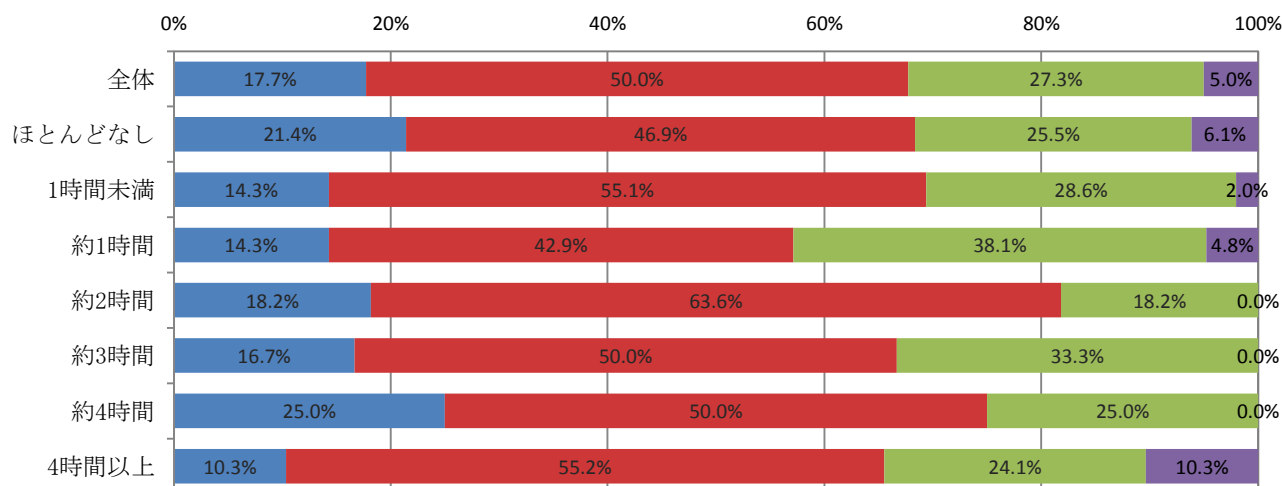
		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
全体		220	39 17.7%	110 50.0%	60 27.3%	11 5.0%
授業出席率別	よく出席する (出席率98%以上)	115	23 20.0%	58 50.4%	27 23.5%	7 6.1%
			出席する方である (出席率90%以上)	49	7 14.3%	25 51.0%
	どちらともいえない (出席率80%程度)	30			4 13.3%	15 50.0%
			あまり出席しない (出席率70%程度)	24	5 20.8%	11 45.8%
	ほとんど出席しない (無資格科目が散見)	4			0 0.0%	2 50.0%

25. 講義実習満足度 × 20. 予習時間別

予習時間と講義実習満足度は限定的な正の相関。

予習時間が2時間と回答した学生は11名と少ないものの講義や実習の満足度が高い傾向があり、主体的に学ぶ姿勢を持った学生は、講義実習を有意義ととらえている可能性があります。

■1 全般的に満足している ■2 満足しているものが多い ■3 不満であるものが多い ■4 全般的に不満



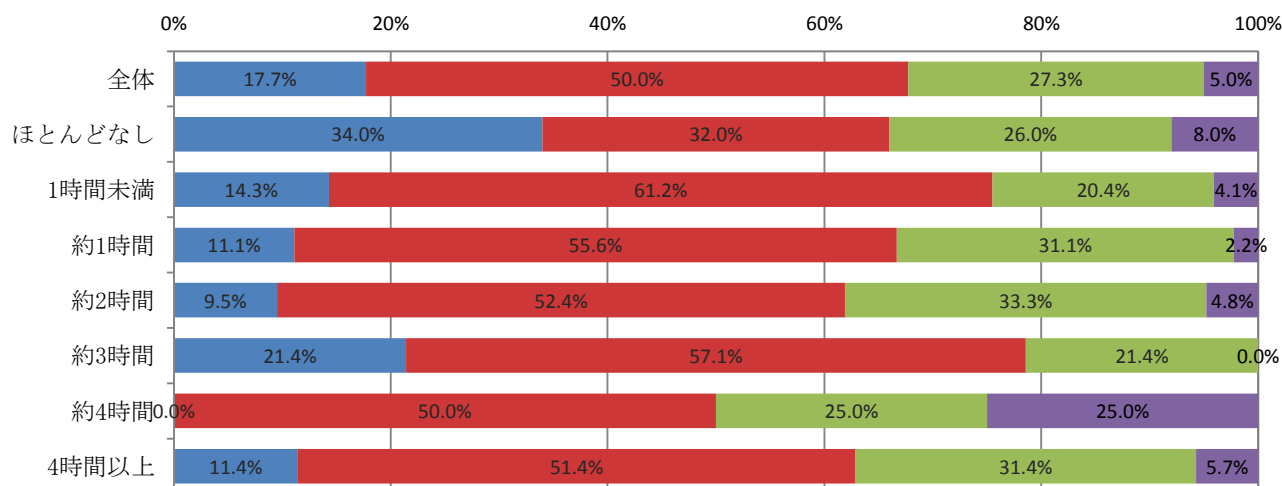
		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
全体		220	39 17.7%	110 50.0%	60 27.3%	11 5.0%
予習時間別	ほとんどなし	98	21 21.4%	46 46.9%	25 25.5%	6 6.1%
			1時間未満	49	7 14.3%	27 55.1%
	約1時間	21			3 14.3%	9 42.9%
			約2時間	11	2 18.2%	7 63.6%
	約3時間	6			1 16.7%	3 50.0%
			約4時間	4	1 25.0%	2 50.0%
	4時間以上	29			3 10.3%	16 55.2%

25. 講義実習満足度 × 21. 復習時間別

復習時間と講義実習満足度は限定的な正の相関。

復習時間が3時間と回答した学生も14名（0.5%）と大変少ないものの、授業や実習の満足度が高い傾向があり、復習時間と授業や実習の満足度に若干の相関がある可能性もあると考えられます。

■1 全般的に満足している ■2 満足しているものが多い ■3 不満であるものが多い ■4 全般的に不満



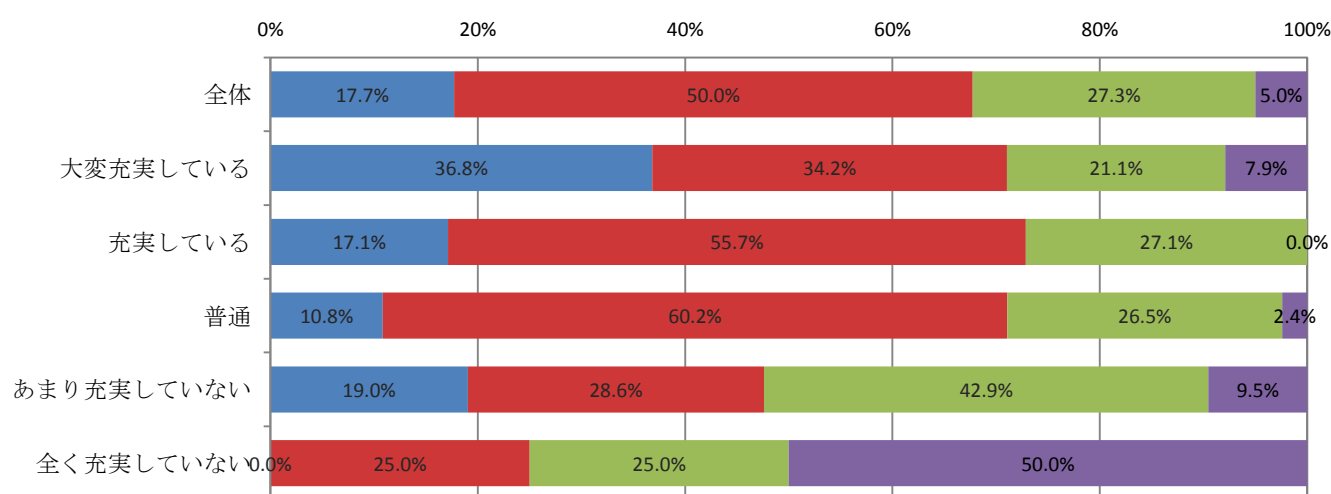
		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
全体		220	39 17.7%	110 50.0%	60 27.3%	11 5.0%
復習時間別	ほとんどなし	50	17 34.0%	16 32.0%	13 26.0%	4 8.0%
			1時間未満	49	7 14.3%	30 61.2%
	約1時間	45			5 11.1%	25 55.6%
			約2時間	21	2 9.5%	11 52.4%
	約3時間	14			3 21.4%	8 57.1%
			約4時間	4	0 0.0%	2 50.0%
	4時間以上	35			4 11.4%	18 51.4%

25. 講義実習満足度 × 4. 学習面での充実度別

授業出席率と講義実習満足度は一定の正の相関。

学習面での充実度が最も高いグループが、講義実習に対して全体的に満足している比率が高く、学習面での充実度が低いグループの講義実習に対する満足度が低い傾向があります。すなわち、学習面での充実度と講義や実習の満足度は重複する概念と考えられました。学習に対する主体性の欠如などが、講義の意義の過小評価につながっている可能性もあるかもしれません。

■1 全般的に満足している ■2 満足しているものが多い ■3 不満であるものが多い ■4 全般的に不満



		有効回答者数	講義実習満足度			
			全般的に満足している	満足しているものが多い	不満であるものが多い	全般的に不満
全体		220	39 17.7%	110 50.0%	60 27.3%	11 5.0%
学習面での充実度別	大変充実している	38	14 36.8%	13 34.2%	8 21.1%	3 7.9%
		充実している	70	12 17.1%	39 55.7%	19 27.1%
	普通		83	9 10.8%	50 60.2%	22 26.5%
		あまり充実していない	21	4 19.0%	6 28.6%	9 42.9%
	全く充実していない		8	0 0.0%	2 25.0%	2 25.0%